

黒部市美術館10年のあゆみ

2015－2024

黒部市美術館

黒部市美術館10年のあゆみ

2015－2024

黒部市美術館

美術館の基本方針

刊行にあたって

黒部市美術館 館長 野入 潤

基本的性格

創造の芽を育てる親しみやすい美術館を目指す

・多彩な美術活動を行う親しみやすい美術館

郷土色豊かな展覧会から全国的視野に立つ美術展覧会を開催し、柔軟で親しみやすい展覧会活動を行う企画運営を中心とする美術館とする。

・特色ある美術館

黒部を中心に富山県内作家の作品を収集・展示するとともに、国内における近・現代版画作品の収集・展示を行う特色ある美術館とする。

・創造の芽を育てる美術の普及

企画展に関連した制作講座や講演会、子どもたちが企画展に参加する作品制作会の開催など、美術と親しむ、作ることの楽しさを感じることができる学習機会となるよう幅広く活動する。

黒部市美術館は、開館30周年を迎えました。この節目にあたり『黒部市美術館 10年のあゆみ 2015～2024』を刊行・発行いたします。ここ10年間に開催した企画展の内容を中心に館の基本方針、新収蔵作品のリスト、美術館の概要等を記録した冊子です。

本美術館は、黒部市制施行35周年を記念し市内の篤志家の寄付をもとに建設され、平成6年(1994)4月に開館しました。以来、地域に根差した美術館として、郷土作家の業績の顕彰や本館コレクションの中核をになう国内近現代版画の紹介を様々な工夫を重ねながら少しずつ前進して来ました。最近では国内外で活躍する現代美術の作家紹介なども本館の新たな特色となっております。また創造の芽を育む普及活動にも力点を置き、美術の啓蒙と創作体験にも熱心に取り組み、地域の活性化と時代の趨勢とのバランスを考慮しながら館の企画・運営を図って参りました。

このような折、30周年の大きな節目に「令和6年度 地域創造大賞(総務大臣賞)」の栄誉を授かりました。これもひとえに美術館を愛して下さった多くの市民の皆様、企画展などにご出品くださいました諸作家の皆様、館の運営を支えて下さった関係各位の皆様の深いご理解とご協力のおかげであると心より感謝申し上げます。

美術やアートは必ずしも社会課題の解決策を提示するものではありません。ただし、人が人間らしくあるための意識や記憶を呼び覚ます力を有しています。時代はどんどん変化しますが、美術館としてはそれらの状況を受け止め、本来の役割をどう果たすべきか試行錯誤していくしか道はありません。今後とも多くの市民に愛される館として～40周年、～50周年を目指し、日々の活動を続けて参りたいと思います。

目次

刊行にあたって

黒部市美術館 館長 野入 潤 003

企画展事業 004～106

2015年度	004	2020年度	051
2016年度	013	2021年度	056
2017年度	021	2022年度	071
2018年度	030	2023年度	082
2019年度	041	2024年度	093

新収蔵品一覧 107

管理 109

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	テクニク・モデル(吉村昭『高熱隧道』)	2015	28×12×5	文庫本
2	アーキテクチャ(ゴキブリホイホイ)	2012	12×21×12	ゴキブリホイホイ・時計
3	アウト・オブ・ディスオーダー(峡谷)	2015	58×180×180	タオル・浴衣・着物・制服・作業着
4	アウト・オブ・ディスオーダー(カゴ)	2012	25×43×31	“Deals”の買い物カゴ・バスタオル
5	アウト・オブ・ディスオーダー(ピンクデッキブラシ)	2013	122×23.5×7.5	デッキブラシ
6	アウト・オブ・ディスオーダー(世界の数々)	2015	60×110×13 60×90×13 60×45×13	歯ブラシ・棚
7	アウト・オブ・ディスオーダー(生命の風景)	2015	65×360×360	塩・素麺・うどん・冷麦・ビーフン
8	ランドスケープ・シリーズ(三ツ子島)	2015	各43×54.5	デジタルCタイププリント(2点)
9	ランドスケープ・シリーズ(立山)	2015	各43×54.5	インクジェットプリント(2点)
10	リフレクション・モデル(瑠璃)	2014	302×67×67	檜・シナベニア・ワイヤー
11	フェノタイプピック・リモデリング(黒部)	2015	サイズ可変	広告・パッケージ
12	アウト・オブ・ディスオーダー(レールウェイ)	2015	サイズ可変	パーカー
13	アウト・オブ・ディスオーダー(ミラージュランド)	2015	39×317×238.5	大漁旗

企画展事業

2015年度 / 2016年度
2017年度 / 2018年度
2019年度 / 2020年度
2021年度 / 2022年度
2023年度 / 2024年度
入館者数

2015年度 企画展 ①

北陸新幹線開業記念 黒部市美術館・小山市立車屋美術館共同企画

岩崎貴宏展 山も積もればチリとなる



岩崎貴宏は、日用品に手を加え鉄塔などの巨大な構造物を極小サイズで制作する〈アウト・オブ・ディスオーダー〉や、歴史的建築物の実像と水面に映る虚像を融合させた〈リフレクション・モデル〉などの立体作品で知られ、近年、国内外で高い評価を受けている。

岩崎の国内初となる美術館での個展を、3月に開業する北陸新幹線の開業記念として、黒部市美術館と小山市立車屋美術館の共同で開催した。本展は、巡回展でありながら、黒部市美術館では『山も積もればチリとなる』、小山市立車屋美術館では『埃(10⁻¹⁰)と刹那(10⁻¹⁸)』とそれぞれの会場に寄り添うタイトルが付けられ、各々の展示空間や風土に合わせた作品が発表された。

黒部市美術館の展覧会タイトルである『山も積もればチリとなる』は、聞き慣れたことわざに少し手を加えたものであるが、よく考えると物理法則やスケール感があべこべで奇妙な感覚を覚える。岩崎の作品〈アウト・オブ・ディスオーダー〉にも、見慣れた日用品に少し手を加えることで全くスケールの異なる世界を垣間見ることができる。黒部市美術館の背後にそびえる立山連峰のもつ、雄大なスケールを転覆させるような万物の流転性、あるいは時間の可逆性を感じさせる。岩崎がこれまで一貫して行っているスケールや時間、境界への揺さぶりは、鑑賞者に新たな出会いを誘った。

【会 期】2015年4月25日(土)～6月28日(日)

【開催日数】54日

【主 催】黒部市美術館・小山市立車屋美術館共同企画展実行委員会

【共 催】北日本新聞社

【後 援】黒部市、黒部市教育委員会、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【助 成】公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

【協 力】鹿苑寺、アラタニウラノ、TRNK、CONCENT,inc.、宇奈月温泉旅館協同組合、黒部峡谷トロッコ電車、桜井建設株式会社、丸中水産株式会社、ミラージュランド、銀盤酒造株式会社

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：4月25日(土) 11:00～

学芸員によるギャラリートーク

日 時：5月3日(日)、17日(日)、6月7日(日)、21日(日)
各日13:30～(30分程度)

【印刷物】

カタログA5 72ページ

別冊A5 16ページ



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

2015年度 企画展 ②

北陸新幹線開業記念
恋スル工芸展

本展では、北陸新幹線の開業を記念して、東京・北陸にゆかりのある若手工芸作家6名を紹介した。近年、金工・陶芸・ガラスの部門において富山・石川出身の若手作家、またこの地で技術を学んだ作家の全国的な活躍が見られる。

この6名に共通しているのが、「工芸」という素材や技術、制作工程において一定の制約がある中で、自由で柔軟な発想を持ち、制作をしている点だ。瑞々しい感性と手業から1点1点生み出される作品は、私たちに驚きと新しい発見を与え、日常生活に新たな視点を持たせる機会となった。



【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	備考
1	青木良太	黒銀陶金瓷BOWL	2012	17.9×20.0×11.8	磁器	
2	青木良太	赤金瓷BOWL	2012	21.0×22.2×8.0	磁器	
3	青木良太	大地瓷BOWL	2012	18.4×19.2×10.0	磁器	
4	青木良太	緑乳瓷BOWL	2012	17.1×20.2×9.8	磁器	

【会 期】2015年7月11日(土)～8月30日(日)

【開催日数】43日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【協 力】waitingroom、株式会社能作、有限会社品品

【関連企画】

オープニングレセプション

日 時：7月10日(金) 17:00～

学芸員によるギャラリートーク

日 時：7月25日(土)、8月8日(土)、8月15日(土)
各日13:30～

銅のキーホルダーを作る

日 時：8月1日(土) 10:00～12:00

講 師：青木有理子

対 象：小学生以上

定 員：10名

参加料：1,500円

銀のネックレスを作る

日 時：8月1日(土) 13:00～15:00

講 師：青木有理子

対 象：小学生以上

定 員：10名

参加料：2,000円

【印刷物】

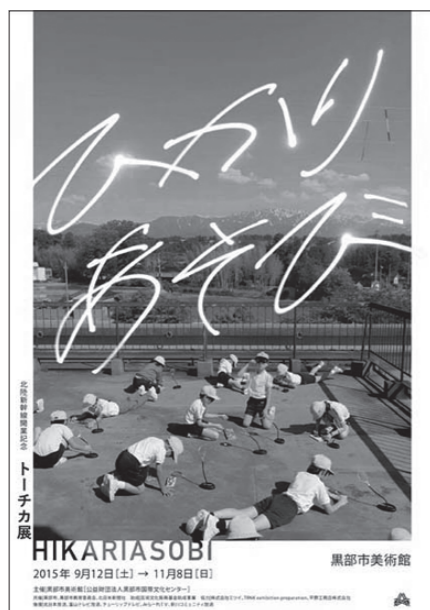
パンフレットA5 16ページ

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	備考
5	青木良太	いぶし銀瓷BOWL	2012	17.6×19.4×9.8	磁器	
6	青木良太	鏡瓷BOWL	2012	18.0×19.5×10.0	磁器	
7	青木良太	Luxury瓷BOWL	2012	19.4×19.8×10.5	磁器	
8	青木良太	黄金瓷BOWL	2012	18.0×20.3×9.5	磁器	
9	青木良太	ピンク瓷BOWL	2012	18.5×20.5×10.5	磁器	
10	青木良太	黒陶金瓷BOWL	2012	17.5×19.2×11.8	磁器	
11	青木良太	黒いぶし銀陶金瓷BOWL	2012	19.0×19.2×9.8	磁器	
12	青木良太	白乳瓷BOWL	2012	16.0×19.0×10.7	磁器	
13	青木良太	ホワイトレモン瓷BOWL	2012	16.2×19.8×10.2	磁器	
14	青木良太	白乳瓷BOWL	2012	16.2×18.8×9.5	磁器	
15	青木良太	Jewelry瓷BOWL	2012	16.8×18.5×10.6	磁器	
16	青木有理子	コパンガエル	2013	4.9×3.1×2.8	青銅	
17	青木有理子	新種:陸ヒトデ	2009	17.0×9.0×9.0	鉄	
18	青木有理子	ヒツジ	2007	8.2×6.0×5.3	真鍮	器製作:(株)能作 苔:(有)品品
19	青木有理子	11years(惟)	2013	4.5×4.5×4.5	青銅	
20	青木有理子	秋の空	2015		銅	
21	青木有理子	日照対策	2007	7.2×14.8×6.0	青銅・銅	
22	青木有理子	ハリネズミ	2005	12.2×6.6×8.0	青銅	器製作:(株)能作 苔:(有)品品
23	青木有理子	唾蟬(小)	2009	6.0×6.5	青銅・銅	
24	尾崎迅	マイアーチ	2011	35.0×30.0×25.0	真鍮	
25	尾崎迅	蝶の火	2011	100.0×100.0×60.0	真鍮	
26	尾崎迅	歩く森	2012	70.0×70.0×80.0	真鍮	
27	尾崎迅	プリミティブの光	2014	40.0×35.0×35.0	ブロンズ	
28	尾崎迅	CAVE	2014	9.0×11.0×33.0	真鍮	
29	尾崎迅	Unknown Bone	2014	23.0×14.0×16.0	真鍮	
30	上出恵悟	SHOW CASE	2015	45.0×121.0×161.0	磁器等	
31	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #1	2015	8.5×7.5×6.7	ガラス	
32	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #2	2015	12.5×11.0×8.0	ガラス	
33	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #3	2015	12.3×12.5×11.7	ガラス	
34	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #4	2015	10.5×9.8×6.0	ガラス	
35	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #5	2015	10.5×13.0×5.5	ガラス	
36	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #6	2015	10.0×9.2×5.0	ガラス	
37	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #7	2015	10.5×12.5×7.3	ガラス	
38	小曾川瑠那	溜まってゆく闇夜 #8	2015	8.3×7.8×7.3	ガラス	
39	小曾川瑠那	闇の残像	2014	42.0×38.0×24.5	ガラス	
40	小曾川瑠那	泡沫	2015	12.5×11.2×9.6	ガラス	
41	小曾川瑠那	眩景	2015	25.7×7.5×36.4 29.7×21.0	ガラス・パネル・油彩・鉛筆・紙・ インクジェットプリント(13点)	
42	増村真実子	MATTE	2014	23.0×33.0×3.0	漆・麻布・顔料	
43	増村真実子	MATTE	2014	66.5×46.5×5.5	漆・麻布・顔料	
44	増村真実子	オカ	2012	90.0×33.0×23.0	漆・麻布・顔料・木	
45	増村真実子	ハル	2015	11.0×14.0×37.0	漆・麻布・和紙・木(桧・桂)・顔料	
46	増村真実子	Knit	2013	11.5×18.5×27.0	漆・麻布・顔料・桂・朴	
47	増村真実子	チュウ	2012	100.0×30.0×19.0	漆・麻布・顔料・木	
48	増村真実子	ミル	2012	65.0×20.0×30.0	漆・麻布・顔料・木	
49	増村真実子	モノオモイ	2012	22.0×30.0×20.0	漆・麻布・顔料・和紙・木・金	
50	増村真実子	アカ	2012	15.0×13.0×50.0	漆・麻布・木・金	

2015年度 企画展 ③

北陸新幹線開業記念

トーチカ展 ーひかりあそび



ペンライトの光で絵を描く代表作《PiKAPiKA》シリーズは、仲間同士の集まりの中での「あそび」から生まれた作品で、動画共有サイトへの投稿がきっかけとなり世界的な広まりをみせた。このようにトーチカの制作は、偶発的に発生した物事を積極的に取り入れることを楽しみ、大切にしている。そして「あそび」には、「歯車と歯車を噛み合わせるときに少し隙間をつくる」というような意味も含まれる。どんな精密機械も「あそび」の部分がなくてはうまく動かないように、例えば、日常生活の中でもふと空を見上げてみるような心のゆとりが、私たちの営みを支えているのかもしれない。作家は本展を通してそのような「あそび」を表現したいと考えた。

本展では、初期の映像作品、《PiKAPiKA》シリーズや東日本大震災以降に太陽の光で制作されたPiKAPiKA作品《ReBuild》等これまでの代表的な映像作品が一堂に会した。そして、黒部市内の小学生とのワークショップ「太陽の光で絵を描こう」を通して制作する立山連峰をモチーフとしたインスタレーション作品を含む新作数点が加わり、自然エネルギーへの関心を軸として、活動当初の作品から現在のトーチカの活動を併せて紹介する機会となった。



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	備考
1	ひかりあそび	2015	写真 150×360・100×100(10枚)・120×100(2枚)・12.2×8.9(200枚)	インクジェットプリント・木材・机・椅子・虫眼鏡・ペンキ	撮影 柳原良平
2	ReBuild	2012	映像(5'30")	映像・ステレオ音声	音楽 Peace-K、U-zhaan
3	Build	2001	映像(5'30")	映像・ステレオ音声	
4	パタパタ 雲	2015	38×26×25	MDF・シナベニヤ・鉄・ペンキ	
5	パタパタ 雨	2015	38×26×23	MDF・シナベニヤ・鉄・机・椅子・ペンキ	
6	パタパタ 鳥	2015	38×26×25	MDF・シナベニヤ・鉄・ペンキ	
7	たてやまさんみやくより	2015	サイズ可変	窓ガラス・チョーク	
8-1	PiKA PiKA Lightning Doodle Project	2006	映像(4'00")	映像・ステレオ音声	
8-2	PiKA PiKA 2007 Digest	2007	映像(0'30")	映像・ステレオ音声	
8-3	IKEBANA	2008	映像(0'30")	映像	
8-4	STEPS	2010	映像(2'00")	映像・ステレオ音声	
8-5	V hole	1999	映像(0'30")	映像・ステレオ音声	
8-6	DROP	2000	映像(0'30")	映像・ステレオ音声	
8-7	MILK JET 前後編	2001	映像(1'00")	映像・ステレオ音声	
8-8	Green Fairy	2011	映像(2'10")	映像・ステレオ音声	
8-9	Blue Ice	2011	映像(2'10")	映像・ステレオ音声	
8-10	ReBuild Trailer	2012	映像(1'10")	映像・ステレオ音声	
8-11	教祖 村田峰紀	2012	映像(0'50")	映像	
8-12	MAZE	2012	映像(2'10")	映像・ステレオ音声	
8-13	Peace Dream	2014	映像(0'30")	映像	
8-14	TRACK	2015	映像(4'00")	映像・ステレオ音声	
8-15	PIKA PIKA in Kanazawa 2008	2008	映像(10'30")	HD-CAM・ワークショップ・プログラム	

* 8の作品は、トーチカフィルムアーカイヴとして八木良太(Book of Light)(2003-2015)で展示した。



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

2015年度 企画展 ④

コレクション展 建物と人々



美術作品には建物の表現が多く見られる。それらは建物自体に焦点を当てて表現されたものもあれば、風景画の中にさりげなく登場することもある。懐かしい家々、あるいは幻想的な想像上の建物を表現した作品からは、人間の構築物への関心の高さが伺える。またそれらと同時に表現された人々の姿に視線を向けることによって、無機質である建物が何かしらの意味を持ち、作品から感情や息遣いが感じられるようになる。

本展では黒部市美術館の所蔵作品の中から「建物」に着目し表現された作品と、それらを取りまく人々の生活まで視点を広げた作品を展示した。

(※前期と後期で全ての作品を展示替え)

【会 期】 前期:2015年11月21日(土)~12月27日(日)
後期:2016年2月2日(火)~3月21日(月・祝)

【開催日数】 前期:25日
後期:42日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

木版画教室 -年賀状を作ろう-

日 時: 11月28日(土) 彫り/29日(日) 刷り
各日10:00~16:00

講 師: 住吉由佳子(木版画家、日展会友)

定 員: 8名

参加料: 2,500円(年賀状10枚つき)

デッサン教室 自画像を描こう -自分を見つめる-

日 時: 12月5日(土) 9:30~16:00

講 師: 安達博文(洋画家、富山大学芸術文化学部教授)

定 員: 15名

参加料: 2,000円

銅版画教室 -エッチングで建物を描こう-

日 時: 3月12日(土) 9:30~16:00

講 師: 杉本あかり(銅版画家)

定 員: 10名

参加料: 2,000円



【出品リスト】(前期)

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	浅井景一	運河と昭電	1955	60.6×72.7	キャンバス・油絵具
2	岩井中敬二	雪の山里	1990	130.3×162.0	キャンバス・油絵具
3	岡鹿之助	砲台	不明	33.2×45.4	紙・平版(リトグラフ)

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
4	織田一磨	大阪風景の内「京町堀川」	1919	29.5×44.5	紙・平版(石版)
5	織田一磨	数寄屋橋風景	1929	16.8×28.0	紙・平版(石版)
6	織田一磨	日本名山画譜 黒部峡谷宇奈月温泉夜景	1935	47.6×33.0	紙・平版(リトグラフ)
7	織田一磨	日本名山画譜 河内金剛山	1936	52.3×38.7	紙・平版(リトグラフ)
8	織田一磨	日本名山画譜 筑波山春雨	1937	39.8×53.2	紙・平版(リトグラフ)
9	織田一磨	東劇	1943	23.0×32.0	紙・木版
10	川瀬巴水	水木乃曇り日(茨城県)	1946	24.3×33.3	紙・木版
11	川端豊次	荒涼	2000	162.0×130.3	紙・墨
12	北岡文雄	北陸の漁村	1971	40.0×55.0	紙・木版
13	斎藤清	鳥居元 京都(C)	1967	38.0×52.4	紙・木版
14	斎藤清	日光(1)	1976	37.5×52.4	紙・木版
15	斎藤清	会津の冬(111)柳津	1995	38.0×53.0	紙・木版
16	関野準一郎	唐寺	1972	47.0×65.2	紙・木版
17	橋本興家	桜田門附近	1952	37.5×54.0	紙・木版
18	橋本興家	濠端の朝(東京)	1956	39.3×54.3	紙・木版
19	福井良之助	『福井良之助孔版画集第1集』より 1.こわれた家(やせはてた青春の思い出)	1957	8.6×10.5	紙・孔版(謄写版)
20	福井良之助	『福井良之助孔版画集第1集』より5.建設	1957	11.6×12.2	紙・孔版(謄写版)
21	福井良之助	『福井良之助孔版画集第1集』より10.汽車の家	1957	7.5×11.7	紙・孔版(謄写版)
22	福井良之助	『福井良之助孔版画集第1集』より12.教会	1957	9.3×11.0	紙・孔版(謄写版)
23	松井利昭	北辺の風景	1988	162.0×162.0	キャンバス・油絵具
24	松井利昭	北辺の風景(初冬)	1994	60.6×72.7	キャンバス・油絵具
25	松倉唯司	時	1980	130.3×162.0	キャンバス・油絵具
26	松倉唯司	村・ソニア・時	1995	145.5×145.5	キャンバス・油絵具
27	森義利	暮の市(藍)	1957	87.5×109.8	紙・孔版(合羽版・型染版)
28	森義利	収穫の庭	1958	58.0×76.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
29	森義利	暮の市B(赤)	1958	53.0×60.5	紙・孔版(合羽版・型染版)
30	森義利	魚彩市場	1964	94.0×65.5	紙・孔版(合羽版・型染版)
31	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「俯瞰(ゼコビア)」	1970	35.0×53.1	肉筆
32	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「カテドラル(ゼコビア)」	1970	28.1×38.8	肉筆
33	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「古い家(ゼコビア)」	1970	29.6×38.7	肉筆
34	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「フローレンス街道」	1970	37.8×28.4	肉筆
35	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「フローレンス街道」	1970	28.2×37.4	肉筆
36	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「ベニス・ゴンドラ」	1970	37.3×28.6	肉筆
37	森義利	ヨーロッパ風景スケッチ「カーディンスの町」	1970	29.6×38.9	肉筆
38	森義利	平家物語シリーズ「神興振り」	1972	60.4×80.1	紙・孔版(合羽版・型染版)
39	森義利	職人シリーズ「二人畳屋」	1973	34.0×29.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
40	森義利	職人シリーズ「大工」	1973	37.0×25.5	紙・孔版(合羽版・型染版)
41	森義利	職人シリーズ「機屋」	1973	32.0×27.5	紙・孔版(合羽版・型染版)
42	森義利	東大寺炎上	1973	72.0×91.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
43	森義利	源氏物語「尼と少女」	1975	65.7×50.8	紙・孔版(合羽版・型染版)
44	森義利	源氏物語「麿屋の姫」	1975	65.7×50.8	紙・孔版(合羽版・型染版)
45	森義利	のれんシリーズ「甘味」	1988	42.0×35.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
46	森義利	のれんシリーズ「呉服」	1988	42.0×35.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
47	森義利	のれんシリーズ「八百屋」	1988	42.0×35.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
48	森義利	のれんシリーズ「おでんや」	1988	42.0×35.0	紙・孔版(合羽版・型染版)
49	山高登	本郷菊坂	1978	32.3×21.5	紙・木版
50	山高登	川治いの家	1985	28.0×35.8	紙・木版

【出品リスト】(後期)

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	浅井景一	緑衣	1975	91.0×72.7	キャンバス・油絵具
2	東一雄	閑日	1970	44.0×58.0	紙・木版
3	岩井新吉	女流画家の眼	1983	130.3×97.0	キャンバス・油絵具
4	岩井新吉	第2のアトリエで	1991	130.3×97.0	キャンバス・油絵具
5	岩井新吉	ら婦	1992	91.0×116.7	キャンバス・油絵具
6	岩井新吉	モニカ	1993	130.3×97.0	キャンバス・油絵具
7	岩切裕子	Seven doors Hotel	1992	90.0×73.6	紙・木版
8	岩切裕子	月暦図〜may pole	1996	44.0×38.0	紙・木版
9	瑛九	工事場	1957	38.0×24.0	紙・平版(リトグラフ)
10	小野忠重	夜	1959	34.3×29.8	紙・木版
11	小野忠重	アムステルダム屋根	1964	24.0×45.0	紙・木版
12	河内成幸	威風(桂・v)	1998	91.3×60.4	紙・木版・凸凹摺
13	北岡文雄	巴里の窓	1957	55.0×40.0	紙・木版
14	木村光佑	現在位置-存在(C) (PRESENT SITUATION-EXISTENCE)	1971	73.5×103.0	紙・平版(リトグラフ)・ 孔版(シルクスクリーン)
15	栗田政裕	蒼空の街	1987	24.6×44.8	紙・木口木版
16	栗田政裕	プラハの春 その光と影	1997	20.0×15.0	紙・木口木版
17	栗田政裕	記憶の館	1997	25.0×20.0	紙・木口木版
18	栗田政裕	アルカディア・考	1998	17.4×17.6	紙・木口木版
19	栗田政裕	ポッティガ・工房の饒舌な夜	1999	20.4×32.2	紙・木口木版
20	小林敬生	蘇生の刻-S62・8-	1987	90.0×120.0	紙・木口木版
21	斎藤カオル	白い街(そのII)	1975	26.0×21.5	紙・銅版(メゾチント)
22	清宮賢文	5月の夜明け	1984	14.5×14.2	紙・木版
23	坪内好子	玩具運式千	1986	44.5×59.5	紙・銅版(エッチング・アクアチント) (ルーレット)
24	坪内好子	mener qu en bateau VIII	1997	45.0×101.0	紙・銅版(エッチング)・金箔
25	富山芳男	眠り	1956	130.0×162.0	キャンバス・油絵具
26	橋本文良	旧ボストン菓子会社 (The Old Boston Candy Company)	1996	70.0×52.0	土佐和紙・平版(リトグラフ)・ 孔版(シルクスクリーン)・ PS版(アルミ)
27	馬場彬	GRAY OF GRAY 8.ドア	1981	97.0×71.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
28	坂東壮一	星降る窓	1978	35.7×22.5	紙・銅版(エッチング・アクアチント)
29	秀島由己男	われらにさきかけてきたりしものv	1997	16.0×23.9	紙・銅版(エッチング・アクアチント)・ 赤染雁皮紙貼
30	平塚運一	冬のキーブリッチ・ワシントンD.C.	1967	39.0×47.5	紙・木版
31	福田将裕	IN CRACOW	2000	58.0×80.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
32	福田将裕	IN PRAGUE-VELLUDO REVOLUTION	2001	60.0×80.0	和紙・孔版(シルクスクリーン)
33	吉田博	ルガノ町	1925	24.7×37.2	紙・木版
34	吉田博	マタホルン山	1925	51.0×36.0	紙・木版
35	吉田博	マタホルン山 夜	1925	51.0×36.0	紙・木版
36	吉田穂高	白い裏木戸	1974	44.0×33.0	紙・木版
37	吉田穂高	教会のある風景G-1	1977	48.0×31.9	紙・木版
38	吉田穂高	家・緑の壁	1977	47.6×35.8	紙・木版

いわむらかずお 絵本原画展



いわむらかずおの作品には優しいタッチで描かれた動物たちが多く登場する。

世界で1,000万部のロングセラーとなった、雑木林の中に暮らす14ひきの野ねずみ一家を描いた代表作『14ひきのシリーズ』では、野ねずみたちの表情やしぐさが愛らしく描かれ、木々のきらめく様子や昆虫の姿などが繊細に色彩豊かに表現されている。本展ではその他、好奇心旺盛なこりすの3兄妹を描いた『こりすのシリーズ』や、小さなこぎすの“タンタン”の夢広がるお話『タンタンのシリーズ』等も原画で紹介した。美しい自然の描写と子供たちも大好きな動物の視点を通して、家族やいのちの温かさを感じ、豊かな心を育むことの出来る貴重な機会となった。2014年にフランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章し、国内だけでなく海外でも高い評価を得ている作家の北陸3県初となる原画展。

【会 期】2016年4月23日(土)～6月26日(日)

【開催日数】56日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】黒部市立図書館、うなづき友学館、北日本新聞社

【後 援】黒部市教育委員会、黒部市小学校校長会、
黒部市保育士会、射水市大島絵本館、北日本放送、
富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、
新川コミュニティ放送

【企画協力】いわむらかずお絵本の丘美術館

【協 力】偕成社、至光社、童心社、ひさかたチャイルド、
福音館書店、理論社

【関連企画】

いわむらかずおさんによるおはなし会とサイン会

日 時：5月14日(土) 13:30～16:00

会 場：黒部市国際文化センターコラーレ マルチホール

定 員：180名

*入場には展覧会チケットもしくは半券が必要

いわむらかずおさんによるサイン会

日 時：5月15日(日) 10:00～11:30

定 員：150名

宇奈月朗読グループ「おはなしたんぼぼ」さんによる読み聞かせ会

いわむらかずおさんの絵本のよみかかせ。

日 時：4月23日(土)、5月8日(日)、6月12日(日)

各日14:00～



【出品作品】

絵本

- 14ひきのシリーズ
 - 『14ひきのひっこし』『14ひきのあさごはん』『14ひきのびくにつく』
 - 『14ひきのこもりうた』『14ひきのとんぼいけ』
- トガリ山のぼうけんシリーズ
 - 『トガリ山のぼうけん①』『トガリ山のぼうけん②』『トガリ山のぼうけん③』『トガリ山のぼうけん④』『トガリ山のぼうけん⑤』『トガリ山のぼうけん⑦』
- こりすのシリーズ
 - 『もうはるですね』『ゆうだちのともだち』『もりのあかちゃん』
- かんがえるカエルくんシリーズ
 - 『かんがえるカエルくん』色指定原稿・印刷見本、他原画2点
- タンタンのシリーズ
 - 『タンタンのぼうし』『タンタンのずぼん』『タンタンのハンカチ』『タンタンのしろくまくん』
- 『とっくんトラックうみへぶぶー』
- 『もりのびあの』

その他

- 陶板(ふくろう・かぼちゃ・ちゃぼ)
- 陶器(宇崎はる・今野つね)



【同時開催】

「～自然を描く～いわむらかずお展」

黒部市内の図書館にていわむらさんの絵本の展示(外国語版を含む)・貸出。

4月23日(土)～5月29日(日) 黒部市立図書館にて
6月2日(木)～6月26日(日) うなづき友学館にて

【図書館でのイベント】

いわむらさんの絵本の読み聞かせ会

日 時：4月23日(土)、30日(土)、5月7日(土)、14日(土)、
21日(土)、28日(土)
各日10:00～

場 所：黒部市立図書館

いわむらさんのアニメ上映会&絵本の読み聞かせ会

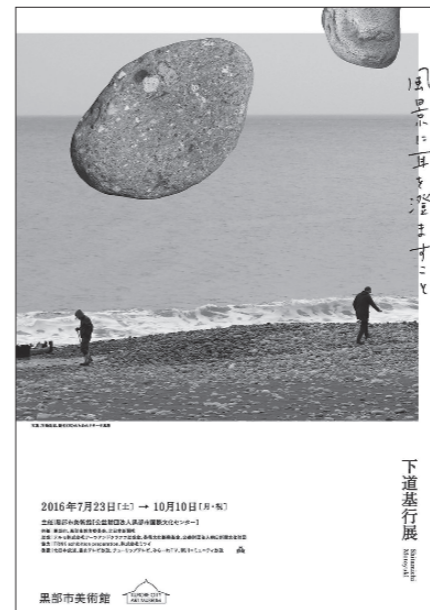
日 時：6月4日(土)、18日(土)
各日10:00～

場 所：うなづき友学館



2016年度 企画展 ②

下道基行展 ー風景に耳を澄ますこと



下道基行は、写真や映像等によって風景の中にたたずむ鳥居や石など「モノ」を提示する。そして、幾つもの作品を通してその背景に備わっている人々の物語というものに徐々に気づいてく。戦争や植民地時代の遺構の現状を調査した〈戦争のかたち〉、〈torii〉等は大きな歴史的背景を喚起する。近年は、あぜ道に掛かる木板など、橋のような風景をとらえた〈bridge〉、お茶の入った容器に小皿などで蓋をする愛らしい行為を観察した〈ははのふた〉に表れるような、日常のささやかな行為にも関心を寄せている。本展では、ものの価値や意味、そして移動、時の移り変わりについての考察を中心に、黒部近郊を取材した新作を展示し、人が物を使うことの根源的な行為を探った。そして、転用による行為についての観察は、前向きで力強い、日常の生の営みと結ばれていた。



撮影：柳原良平

- 【会 期】2016年7月23日(土)～10月10日(月・祝)
- 【開催日数】66日
- 【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
- 【共 催】黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社
- 【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送
- 【助 成】テルモ株式会社アーツアンドクラフツ助成金、芸術文化振興基金、公益財団法人朝日新聞文化財団、岡山県「氏賞」事業
- 【協 力】TRNK exhibition preparation、株式会社ミツイ

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：7月23日(土) 14:00～

下道基行トークイベント

～沖縄で制作されたガラス作品のことを聞きながら、そのコップでゆるりと飲む会～

日 時：7月23日(土) 19:00～20:30

講 師：下道基行

大人のための本気のあそび体験ツアー「太古の風景に耳を澄ます」

日 時：1日目/7月31日(日) 10:00～16:00

2日目/8月21日(日) 13:00～17:00

ガイド：下道基行、

久保貴志(黒部市吉田科学館学芸員)

講 師：縄文土器制作/川端典子(朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN学芸員)、

縄文土器野焼き/寺田雄山(陶芸家)

企画協力：黒部市吉田科学館、

朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

手作りのピンホールカメラで写真を撮ろう！

日 時：8月6日(土) 13:30～15:30

講 師：柳原良平(写真家)

塗って削って石のペーパーウェイトをつくろう！

日 時：8月28日(日) 10:00～12:00

講 師：亀永百恵(彫刻家)

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：9月18日(日)、10月9日(日)

各日13:30～

【印刷物】

カタログB5 104ページ

別紙はさみ込みB2四つ折 展示風景

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	torii	2006-2015		タイプCプリント
1-1	-テニアン アメリカ		42.7×62	
1-2	-新北 台湾		105×151	
1-3	-サイパン アメリカ		105×151	
1-4	-木浦 韓国		42.7×62	
1-5	-サハリン ロシア		105×151	
1-6	-台中 台湾		105×151	
2	漂泊之碑	2014-		
2-1	-漂着硝子	2014-2016	210×82×180	硝子食器・漂着した硝子瓶・木製テーブル・ライト
2-2	-津波石(#04)	2015-2016	8min	ビデオ
2-3	-津波石(#05)	2015-2016	8min	ビデオ
2-4	-ジュラルミン製の皿	2014	φ21	戦後の沖縄で戦闘機を再利用して作られた、制作年代不明(1945-1950頃)のジュラルミン製民具
3	石	2016		
3-1	-石	2016	各36×25.5 (25点)	インクジェットプリント
3-2	-石器 (敲石、凹石、擦石、石皿)	縄文時代	21点	石、立山町教育委員会 二ツ塚遺跡出土16点、 富山市教育委員会 史跡北代遺跡出土3点、 朝日町教育委員会 柳田遺跡出土2点



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

2016年度 企画展 ③

くろべ・そぶれたわあ〜とど くろーと、しろーと、ぐれーと モノツクリの人々展



「そぶれたわあ〜」という言葉は、黒部近郊の方言で「びっくりした〜」という意味である。本展では、プロの作家「くろーと」はもちろん、アマチュア「しろーと」でありながら、その範疇におさまりきらない「そぶれた」作品を作る人々を中間色の灰色(グレー)と掛けて「ぐれーと」(great!)と表現した。「そぶれたわあ〜」とつい声に出してしまうような作品が多数出品され、黒部を拠点に行われている様々なモノツクリの在り方を紹介した。



【会 期】2016年11月3日(木・祝)～12月27日(火)

【開催日数】46日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]、くろべ・そぶれたわあ〜とど実行委員会

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送

【出品者・出品団体】

浅野博/浅野侑陽(指物師、仏師)

生地かまぼこ(会長:中陳和悦)

池村昭夫(彫刻、流木)

柏井裕香子(染色家)

川端貴子(仏画師、木彫刻師)

川端豊次(水墨画家、バードカービング)

くろてつ会(代表:嵯峨拓也、鉄道模型)

楽しい絵手紙(講師:広瀬真理)

ちぎり絵教室(講師:白峰育代)

中村いさむ(朝顔を楽しむ)

中谷稔(絵画、アールブリュット)

野沢繁雄(割箸アート)

晴枝幸一(彫刻家)

松野健作(洋画、登山風景写真)

展示監修:加治晋(彫刻家)、広田郁世(日本画家)



【関連企画】

オープニングセレモニー

日 時：11月3日(木・祝) 13:00～
アーティストトーク：川端豊次、晴被幸一

仏画師 川端貴子 早描きパフォーマンス

日 時：11月3日(木・祝) 13:30～
講 師：川端貴子

かわいい朝顔の育て方、楽しみ方についてのお話

日 時：11月5日(土)、6日(日)
各日10:00～11:00
講 師：中村いさむ

楽しい絵手紙教室 ～ヘタでいい、ヘタがいい～ 年賀状づくり

日 時：11月12日(土)、13日(日)
各日10:00～12:00

講 師：広瀬真理

定 員：10名

参加料：500円/1回(観覧券込み)

木彫りの鳥(バードカービング)のお話と実技

日 時：11月12日(土) 13:30～14:30
講 師：川端豊次

木版画教室 ～年賀状作り～

日 時：11月19日(土) 彫り/20日(日) 摺り
各日10:00～16:00

講 師：住吉由佳子

定 員：8名

参加料：2,500円

エコクラフト(紙バンド)で作る クリスマスリース

日 時：11月26日(土) 10:00～16:00
講 師：北山美智子(彩りの会)

定 員：10名

参加料：600円(観覧券込み)

くろてつ会 鉄道模型の電車が走る日

日 時：11月27日(日)、12月11日(日)、12月18日(日)
各日10:00～15:00

ちぎり絵教室 ～季節を和紙で描く～

日 時：12月3日(土)、4日(日)
各日10:00～12:00

講 師：白峰育代

定 員：12名

参加料：1,000円/1回(観覧券込み)

水墨画 実技 ～鳥の絵を描く～

日 時：12月10日(土) 13:30～14:30
講 師：川端豊次

3色デッサンで野菜を描こう

日 時：12月18日(日) 13:00～16:00
講 師：晴被幸一

定 員：12名

参加料：500円(観覧券込み)



2016年度 企画展 ④

コレクション展 ー風景をとらえる方法



本展では当館の収蔵品である、近現代の日本の版画や、郷土作家の日本画や洋画から、風景についての作品を展示し、作家が風景をどのように見て、風景の何を描いたのかを考察することを通して、表現の豊かさに改めて思いを巡らせる機会とした。



【会 期】2017年1月28日(土)～3月26日(日)

【開催日数】49日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

銅版画教室 ーエッチングで風景を描く

日 時：3月4日(土) 9:30～16:00

講 師：杉本あかり(銅版画家)

定 員：10名

参加料：2,000 円

デッサン教室 ー美術館の窓から見える風景

日 時：3月18日(土) 9:30～16:00

講 師：安達博文(洋画家、富山大学芸術文化学部教授)

定 員：12名

参加料：2,000円

午後のトークショー

日 時：3月12日(日) 14:00～

講 師：清河恵美(日本画家)

日 時：3月25日(土) 14:00～

講 師：岩井幸子(版画家)

聞き手：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)

定 員：各日20名

*観覧券もしくは半券(再入場1回可)が必要



【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法・備考
1	炭田幸一	剣八峰	1951	115.8×90	キャンバス・油絵具
2	織田一磨	日本名山画譜 黒部峡谷宇奈月温泉夜景	1935	47.6×33	紙・平版(リトグラフ)

2017年度 企画展 ①

素材の息吹 —発展する工芸のかたち—



本展では、富山県内で制作活動をしているガラス・金属造形・木彫刻・漆作家5名の多様な造形表現を紹介した。ひとつひとつの「素材」と真摯に向き合い制作された作品からは、静かな「生命の気配」が感じられる。素材・技法の面で工芸的要素を含みつつも、その範疇におさまることなく表現の可能性を模索し制作された作品は、私たちの持つ既存の考えに揺さぶりをかけ、新たな息吹をもたらすきっかけとなった。



撮影：柳原良平

【会 期】2017年4月22日(土)～7月2日(日)

【開催日数】62日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】井波彫刻協同組合、富山ガラス作家協会、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

オープニングセレモニー

日 時：4月22日(土) 13:00～

作家による作品解説

ヤマダベン(パーカッション)と伊藤拓次(ダンス)による

「素材/作家提供による木、ガラス、金属」を使ったパフォーマンス

担当学芸員による作品解説

日 時：5月6日(土)、6月17日(土)

各日13:30～

ガラスのアクセサリーを作ろう

日 時：5月13日(土) 10:00～12:00

会 場：黒部市国際文化センターコラーレ(創作室)

講 師：岸本耕平(ガラス作家)

定 員：20名

参加料：1,300円

さくらの木からスプーンを作ろう

日 時：6月10日(土) 13:00～16:00

講 師：田中孝明(木彫刻家)

定 員：10名

参加料：1,000円

漆で遊ぼう!～水の中の不思議なオブジェ～

日 時：6月24日(土) 13:00～16:00

講 師：村田佳彦(漆作家)

定 員：10名

参加料：1,000円

【印刷物】

パンフレットB5 16ページ

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法・備考
3	門坂流	樺平	2006	23.8×17.8	紙・銅版(エンブレービング)
4	吉田博	日本アルプス十二題 黒部川	1926	37.4×25.1	紙・木版
5	吉田博	日本アルプス十二題 立山別山	1926	24.9×37.1	紙・木版
6	岩井新吉	黒部峡谷	1990	71.9×59.6	キャンバス・油絵具
7	中野常吉	遊猿黒部峡(樺平)	1992	145.5×112	キャンバス・油絵具
8	岩井新吉	石	1963	145.5×97	キャンバス・油絵具
9	富山芳男	糸引山と庭のこぶし	1980	162.1×97	キャンバス・油絵具
10	福井良之助	枯木	1959	35.8×23.4	紙・孔版(謄写版)・銅版
11	南桂子	冬	1960	33.4×22.8	紙・銅版(エッチング)
12	小野忠重	とり	1960	35.2×48.4	紙・木版
13	岩井幸子	冬の序	2005	84×158	紙・木版
14	若山八十氏	雷	1956	37.5×50.5	紙・孔版(謄写版)
15	若山八十氏	海の祭	1966	36×51	紙・孔版(謄写版)
16	小林敬生	化石-大地-	1990	19.5×47	紙・木口木版
17	今村由男	気圧圏	1996	26×31	紙・銅版(エッチング)・版画集『行』に収録
18	今村由男	水気	1996	25.7×31	紙・銅版(エッチング)・版画集『行』に収録
19	萩原英雄	星月夜I	1979	60×45	紙・木版
20	日和崎尊夫	夜のモザイク	1979	18.3×17.8	紙・木口木版
21	堀浩哉	太陽風VI	1996	65×92	紙・油性木版
22	菅井汲	紫の風	1962	62×41	紙・平版(リトグラフ)
23	山中現	地のかたち	1994	50×62	紙・木版
24	深沢幸雄	灯がともる街	1993	74.5×49.6	紙・銅版(メゾチント・アクアチント・ディープエッチング・エッチング・ソフトグランドエッチング・シュガーアクアチント)
25	瑛九	工事場	1957	38×25	紙・平版(リトグラフ)
26	瑛九	ふるさとの木	1957	37×25	紙・平版(リトグラフ)
27	清宮質文	秋の午後	1985	16×25.5	紙・木版
28	清宮質文	われむかしの日 いにしえの年をおもえり	1982	15.2×13	紙・木版
29	畦地梅太郎	凍土	1961	69×44.5	紙・木版
30	清河恵美	テープ	2001	212.7×236.5	麻紙・岩絵具・水干絵具
31	藤田和十	風花	1996	70.5×49.5	紙・木版
32	藤田和十	領地	1997	50×71	紙・木版
33	木下恵介	山道	1990	92.5×63	紙・銅版(ソフトグランドエッチング・アクアチント)
34	尾長良範	zone	2000	181.3×227.3	麻紙・岩絵具
35	尾長良範	zone	2001	90.9×116.7	麻紙・岩絵具
36	「伊年」朱文門印	四季草花図屏風	江戸時代	六曲一双	紙本著色
37	清河恵美	サンサシオン(記憶から)	1988	200×200・ 200×140・ 200×140	合板・岩絵具・水干絵具・石英砂・ケイ砂
38	小山愛人	My Landscape J-8-90	1990	48.5×72.8	紙・孔版(シルクスクリーン)
39	野上祇麿	ある日の風景	1971	66.3×31	紙・孔版(シルクスクリーン)
40	野上祇麿	記憶の風景	1999	39.1×56	紙・孔版(シルクスクリーン)
41	山中現	もうひとつの場所	1980	35.8×50	紙・木版

*No.31, 33, 34は展示期間1月28日～3月10日

No.35, 36は展示期間3月11日～3月26日

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	横山翔平	unclear 04	2017	200×150×550	ガラス
2	横山翔平	静を孕む 06	2017	80×100×75	ガラス
3	横山翔平	静を孕む 07	2017	60×72×58	ガラス
4	岸本耕平	朱の黎明	2015	61×60×10	ガラス
5	岸本耕平	凜礁	2017	22×77×82	ガラス
6	岸本耕平	凜礁(2)	2017	47×48.5×10	ガラス
7	岸本耕平	凜礁(3)	2017	60×75×50	ガラス
8	岸本耕平	終始の器	2017	41×48×11	ガラス
9	釋永維	鼓動	2016	93×82×19.5	銅・錫
10	釋永維	鼓動	2016	98.5×92×12.5	銅・錫
11	釋永維	鼓動	2016	102×88×19.5	銅・錫
12	釋永維	鼓動	2017	51.5×46×12	銅・錫
13	釋永維	屹立	2017	59.5×45×14.5	銅・錫
14	村田佳彦	結界 山眠る	2012	16×80×6	楓・漆
15	村田佳彦	シルエット-うみわたる-	2017	15×4×56	楓・漆
16	村田佳彦	シルエット-しかのなく-	2017	22.5×11.5×21	楓・漆
17	村田佳彦	シルエット-ながれゆく-	2010	24×48×12	楓・漆
18	村田佳彦	シルエット-くろいかぜ-(2点)	2017	50×14×4	楓・漆
19	村田佳彦	シルエット-そらわたる-(3点)	2017	24×9×2.5	楓・漆
20	田中孝明	Hana	2017	40×32×87	楠
21	田中孝明	ひなげし	2017	12×12×39	楠
22	田中孝明	クロッカス	2017	14×13×39	楠
23	田中孝明	Ring	2017	23×23×38	楠
24	田中孝明	赤い実	2017	16×13×39	楠



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

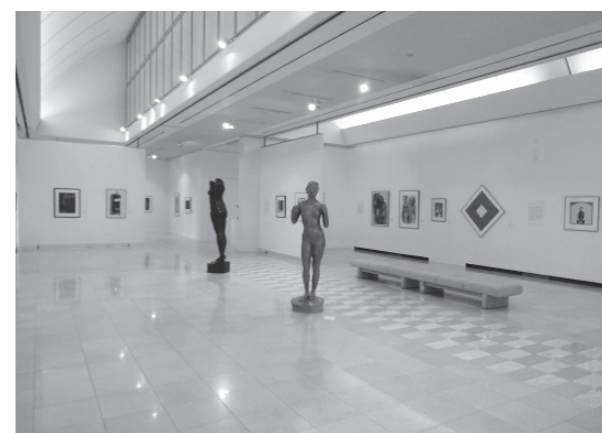
2017年度 企画展 ②

コレクション展 身体表現/リズム/記憶



黒部市美術館は1994年の開館以来、黒部を中心に富山県内作家の作品を収集・展示すると共に、国内における近・現代版画作品の収集・展示を行ってきた。

本展ではそのコレクションの中から「身体表現/リズム/記憶」を大きなテーマとし、油彩画・版画・彫刻作品等を展示した。



【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	鬘嘯	YOU-ME	1976	69.9×50.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
2	浅井景一	緑衣	1975	91.0×72.7	キャンバス・油絵具
3	東一雄	閑日	1970	44.0×58.0	紙・木版

【会 期】2017年7月15日(土)～9月3日(日)

【開催日数】43日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

デッサン教室 -古典から学ぶ人体表現-

日 時：7月29日(土) 10:00～16:00

講 師：安達博文(洋画家、富山大学芸術文化学部教授)

定 員：15名

参加料：2,000円

身体言語学/ダンスワークショップ

日 時：8月12日(土) 9:30～11:00

講 師：ニシムラヤスコ(舞踊家、ヨガ療法士)

対 象：小学校4年生以上

定 員：20名

参加料：2,000円

写真のコピーを銅版画と一緒に刷ろう! -エッチングとシンコレ-

日 時：8月26日(土) 10:00～16:00

講 師：玉分昭光(版画家)

定 員：10名

参加料：2,000円

親子で楽しもう ～夏の葉っぱで壁飾り～

日 時：8月5日(土) 9:30～11:00

講 師：若井直美(シェアリングネイチャーコーディネーター)

定 員：10組/20名

参加料：600円(1組につき)

ステンボード版画でポストカードを作ろう

日 時：8月19日(土)、20日(日)

各日10:00～12:00

講 師：美術館スタッフ

定 員：各日10名

参加料：200円

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
4	安達博文	ペディキュアの人	2001	168.0×200.0	キャンバス・テンペラ・アクリル絵具・水彩絵具
5	尼野和三	自我像(包)B	1965	83.3×46.5	紙・木版
6	池田満寿夫	シンデレラの広告	1965	45.7×40.6	紙・銅版(ドライポイント・ルーレット)
7	池田満寿夫	四つの手(Four Hands)	1966	36.3×34.0	紙・銅版(ドライポイント・ルーレット・エッチング)
8	池田満寿夫	スプリング・アンド・スプリングス	1966	40.6×45.8	紙・銅版(ドライポイント・ルーレット)
9	池田良二	Scattered Seeds散種	1979	79.0×56.2	紙・銅版(フォトエッチング・エッチング・アクアチント・メゾチント・ドライポイント)
10	岩井新吉	ら婦	1992	91.0×116.7	キャンバス・油絵具
11	岩井新吉	English teacher	1995	100.0×80.3	キャンバス・油絵具
12	内間安理	或る感情	1958	41.0×30.2	紙・木版
13	小作青史	弾かれ飛ぶ	1974	60.0×94.0	紙・銅版
14	小野忠重	夜	1959	34.3×29.8	紙・木版
15	籠瀬露風(満男)	裸婦	1984	184.0×49.0×45.0	FRP
16	籠瀬露風(満男)	トルソ	1984	206.0×52.0×46.0	木
17	北岡文雄	楽屋の芦田伸介	1985	55.0×40.0	紙・木版
18	清原啓子	詩人・クセノファネス	1981	54.3×33.4	紙・銅版(エッチング)
19	作田富幸	アルチンボルト風アクアチント I・II NO.1	1999	52.3×79.6	紙・銅版(アクアチント・エッチング・メゾチント)
20	作田富幸	一人-II	2004	60.0×90.0	紙・雁皮・銅版(エッチング・アクアチント・シュガーチント・エンブレイヴィング)
21	菅野陽	ふたり	1956	56.1×32.5	紙・銅版(エッチング・リフトグラウンド・エッチング・アクアチント)
22	菅野陽	待つ	1958	25.5×40.0	紙・銅版(ディーブ・エッチ・リフトグラウンド・エッチング・サルファチント・アクアチント)
23	関野準一郎	少年	1952	47.9×38.4	紙・木版
24	辰野登恵子	April-91	1991	102.0×76.0	紙・平版(リトグラフ)
25	釣谷幸輝	ダンブティの実験	2001	80.0×40.0	紙・銅版(メゾチント)
26	富山芳男	一枚の布を纏える女	1978	145.5×97.0	キャンバス・油絵具
27	長島充	“METAMORPHOSIS -XXXXII・Dialogue”	1996	60.0×61.6 (60.0×29.5×2枚)	紙・銅版(エッチング・雁皮紙貼り)
28	名嶋憲児	誘い(いざない)	1995	66.5×48.2	紙・木版
29	野上祇麿	ある日の風景	1971	66.3×31.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
30	野上祇麿	記憶の風景	1999	39.1×56.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
31	野田哲也	日記1969年7月19日	1969	48.0×48.0	紙・木版・孔版(シルクスクリーン)
32	野田哲也	Diary, Aug. 1976 (B)	1976	65.5×45.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
33	馬場彬	GRAY OF GRAY 1.不安の概念	1981	102.0×102.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
34	深沢幸雄	顔は迷路	1988	36.3×69.4	紙・銅版(メゾチント・アクアチント)
35	福田将裕	教皇の休息(REST OF THE POPE)	2000	60.0×80.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
36	藤江民	リトグラフ797-02赤	1997	91.0×63.0	紙・平版(リトグラフ)
37	星野美智子	記憶する視点	1995	56.5×80.0	紙・平版(リトグラフ)
38	毛利武士郎	手の中の眼	1957	66.0×20.0×12.0	ブロンズ
39	吉田穂高	教会のある風景G-1	1977	48.0×31.9	紙・木版
40	吉原英雄	女	1969	71.0×104.0	紙・平版(リトグラフ)

2017年度 企画展 ③

佐々木愛展 ー風景と物語のあいだに



佐々木愛は、ドローイングやスケッチ、油彩画、銅版画等の色彩豊かな平面作品と、お菓子の装飾技術を応用した砂糖による真っ白な壁画作品等を制作している。様々なメディアにおける場所や風景の記録、それぞれの間に存するズレに関心を寄せ、神話や伝承など人々の記憶の中で生かされてきた物語と、現実に見える風景とが接する部分に着目してきた。作家により見つけられた風景は、遠くと近くの世界を結び、多種の生き物や文化の相互関係のような普遍的な世界の在り方を教えてくれる。また、時々の景色を切り取った作品は、無駄のない色や線により、作家の知覚体験が率直に画面に引き出されていく。

本展は、佐々木の着想の源泉ともいえる絵画作品の展覧会。立山黒部近隣を描いた新作を併せて紹介した。



撮影：柳原良平

【会 期】2017年9月16日(土)～12月17日(日)

【開催日数】77日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【助 成】芸術文化振興基金助成事業、公益財団法人花王芸術・科学財団、一般財団法人おおさか創造千島財団

【協 力】TRNK exhibition preparation、株式会社ミツイ

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：9月16日(土) 11:00～11:45

オープニングツアー「大地が紡ぐ物語」

日 時：9月16日(土) 12:00～16:00

集 合：黒部市美術館

ガイド：佐々木愛、川端典子(朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN学芸員)、久保貴志(黒部市吉田科学館学芸員)

定 員：20名

共 催：朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

ワークショップ「記憶のスケッチ」

日 時：11月5日(日) 13:30～16:00

講 師：佐々木愛

対 象：小学校中学年以上

定 員：10名

参加料：1,000円

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：10月15日(日)、11月19日(日)、12月17日(日)

各日13:30～14:00

【印刷物】

カタログB5 52ページ

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	山のように	2015	46.0×46.0	油彩・カンヴァス
2	森と女の子	2013	22.0×27.4	油彩・カンヴァス
3	ドア	2017	11.7 ×10.0×3.5	木彫刻・油彩・クスノキ
4	ドア	2017	16.0×10.5×1.2	木彫刻・油彩・ホウノキ
5	くろゆり	2017	45.6×33.5	油彩・カンヴァス
6	幻の滝	2017	65.5 ×50.0	油彩・カンヴァス
7	杉林の中で	2017	130.0×195.0	油彩・カンヴァス
8	アオツノガザクラ	2017	61.0×60.5	油彩・カンヴァス
9	草原の湧水	2017	45.7×65.2	油彩・カンヴァス
10	海と空	2016	14.0×18.0	油彩・カンヴァス
11	夕暮れの月	2017	50.0×73.0	油彩・カンヴァス
12	夜明け	2014	41.0×41.0	油彩・カンヴァス
13	見つけられた山	2015	85.0×110.0	油彩・カンヴァス
14	馬	2015	31.0×41.0	油彩・紙
15	ブケコ	2015	24.0×33.3	油彩・カンヴァス
16	VOYAGE	2009	19.4×217.4	オイルパステル・アクリル・色鉛筆・紙
17	二つの家	2015	57.0×76.7	色鉛筆・アクリル・紙
18	ヨット	2012	22.0×32.0	色鉛筆・アクリル・紙
19	森	2017	32.0×41.3	アクリル・カンヴァス
20	赤い鳥	2015	27.4×19.0	油彩・カンヴァス
21	もうひとつの風景	2017	24.3×33.4	アクリル・カンヴァス
22	私の扉	2017	24.3×33.4	アクリル・カンヴァス
23	まぼろし	2008	19.7×30.0	色鉛筆・紙
24	古代のルート	2016	27.0×35.0	油彩・カンヴァス
25	無題	2015	28.0×19.5	色鉛筆・紙
26	森を運ぶ	2016	27.0 ×35.0	油彩・カンヴァス
27	塩の道	2016	12.0×18.0	油彩・カンヴァス
28	心の山	2017	27.4×27.4	アクリル・カンヴァス
29	光の通り道	2017	24.3×33.4	アクリル・カンヴァス
30	レマン湖	2017	22.0 ×27.4	アクリル・カンヴァス
31	城へ続く道	2017	32.0×41.3	油彩・カンヴァス
32	アルプスの花	2017	23.0×23.0	アクリル・カンヴァス
33	クリスマスローズ	2013	41.0×31.8	油彩・カンヴァス
34	カラマツの山にかかる橋	2017	27.4×22.0	アクリル・カンヴァス
35	過ぎし日	2017	24.3×33.4	アクリル・カンヴァス
36	house	2012	22.5×26.0	アクリル・紙
37	石器	2016	27.4×22.0	油彩・カンヴァス
38	ユーカリ	2013	36.0×45.5	油彩・カンヴァス
39	二つの扉	2014	65.0×80.0	油彩・カンヴァス
40	ゆきの日	2014	150.0×120.0	油彩・カンヴァス

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
41	帰る山	2013	50.0×65.3	油彩・カンヴァス
42	アオラキ	2013	65.5×80.5	油彩・カンヴァス
43	石の記憶(7点)	2017	18.0×14.0・ 22.8×16.0・ 18.0×14.0・ 22.6×16.0・ 22.6×16.0・ 27.4×22.0・ 18.0×14.0	油彩・カンヴァス
44	ドア	2017	10.0×38.5×3.5	木彫刻・油彩・クスノキ
45	ドア	2017	26.7×8.0×4.0	木彫刻・油彩・ケヤキ
46	ドア	2017	12.5×8.2×3.5	木彫刻・油彩・ナラ
47	ドア	2017	20.5×8.5×4.2	木彫刻・油彩・ケヤキ
48	ドア	2017	12.5×9.7×3.5	木彫刻・油彩・ナラ
49	見つけられた山	2008	26.5×38.0	色鉛筆・紙



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



CONTACT —交換する物語の部屋



芸術作品は様々なものの見方や考え方に気付かせてくれる。そして、美術館はそれらに出会い多様な価値を交換できる場所だ。言葉に変換することなく感覚として直接受け取ることも可能で、そのような交換は人から人へと広がりながら、社会へ溶け込んでいこう。本展ではその起点として、表現の中に身体的で感覚的な部分を保持し、自己と世界を行き来することで作品を制作する4人の作家と、各作家によって選択された黒部市美術館収蔵作品を併せて展示した。各作家による収蔵作品へのコンタクト、鑑賞者による展示作品へのコンタクト、様々な物語を共有し、各々が続編を紡いでいくような機会の創出を目指した。



撮影：柳原良平

【会 期】 2018年1月20日(土)～3月25日(日)
【開催日数】 54日
【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
【共 催】 北日本新聞社
【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】
 オープニングセレモニー&アーティストトーク
 日 時：1月20日(土) 11:00～11:45

おしゃべりアートカフェ
 ～お茶とお菓子付きでゆったり楽しむアート鑑賞講座～
 日 時：3月4日(日) 10:30～11:30
 講 師：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)
 定 員：8名

担当学芸員によるギャラリートーク
 日 時：2月18日(日)、3月18日(日)
 各日13:30～14:00

【印刷物】
 パンフレットB5 16ページ

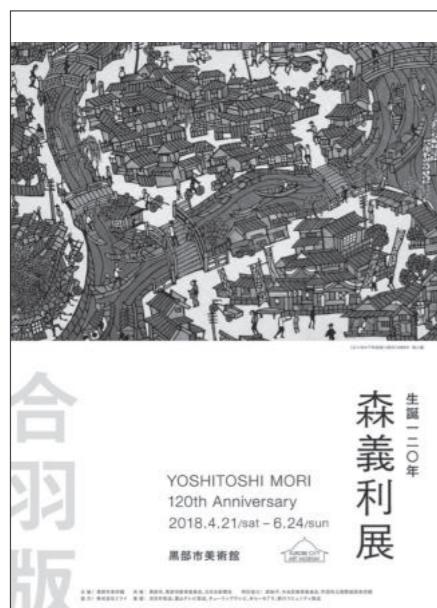


撮影：柳原良平

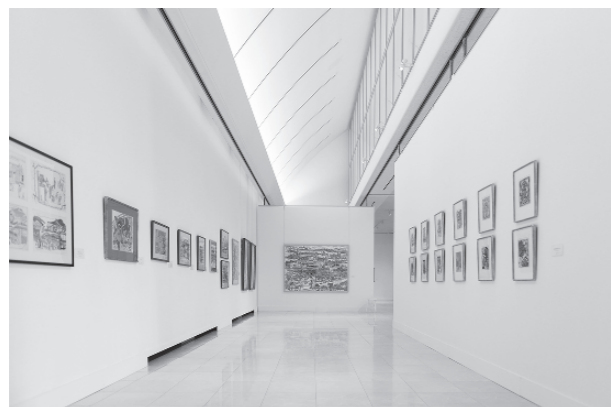
【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法・備考
1	今村文	美しい夢を思い出すために	2015	130.5×130.5×3.5	エンカウステイク(蜜蝋画)・漆喰・パネル
2	玉分昭光	富山ストーリー-水たまりの出来事-	2017	サイズ可変	陶器
3	玉分昭光	富山ストーリー-海のある風景-	2017	8.0×13.0×9.0・ 1.0×11.0×7.0	テラコッタ
4	玉分昭光	富山ストーリー-きのこ王子-	2017	10.5×8.0×7.5	陶器
5	玉分昭光	富山ストーリー-灯台-	2017	5.0×5.5×5.0	陶器
6	玉分昭光	富山ストーリー-散居村-	2017	25.5×20.0×25.0	ガラス(制作協力:本郷仁)
7	玉分昭光	富山ストーリー-夏のなごり-	2017	80.0×60.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
8	玉分昭光	富山ストーリー-きのこ王子-	2017	80.0×60.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
9	前田常作	月輪の中の菩薩	1984	30.0×25.0	シルクスクリーン・紙・黒部市美術館蔵
10	玉分昭光	跡	2017	3.5×8.0×5.5	ガラス(制作協力:本郷仁)
11	玉分昭光	富山ストーリー-少年とプロコリー-	2017	60.0×80.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
12	玉分昭光	富山ストーリー-散居村-	2017	80.0×60.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
13	玉分昭光	富山ストーリー-灯台-	2016	60.0×80.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
14	玉分昭光	富山ストーリー-落ちてきた魔女-	2016	60.0×80.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
15	玉分昭光	富山ストーリー-水たまりの出来事-	2017	80.0×60.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
16	玉分昭光	富山ストーリー-海のある風景-	2017	60.0×80.0	エッチング・アクアチント・シンコレ・ スピリットバイト・ハードグランド・紙
17	今村文	無題	2010	φ139.5×3.5	エンカウステイク(蜜蝋画)・漆喰・パネル
18	秀島由己男	paper balloon「静物考」より	1985	16.5×15.8	メゾチント・紙・黒部市美術館蔵
19	今村文	いりぐち	2017	62.0×46.0	コラージュ・水彩・紙
20	今村文	無題	2017	145.5×145.5×3.5	エンカウステイク(蜜蝋画)・漆喰・パネル
21	今村文	無題	2017	120.0×91.0	コラージュ・水彩・紙
22	今村文	地べたに歌う	2017	サイズ可変	コラージュ・水彩・紙
23	富山芳男	存在についての習作	1994	116.7×91.0	油彩・カンヴァス・黒部市美術館蔵
24	神谷麻穂	萌	2017	39.5×39.5×4.0	陶土・磁土
25	神谷麻穂	夏の匂い	2017	39.5×39.5×2.0	陶土・磁土
26	神谷麻穂	ドローイング	2018	各15.0×15.0×2.0 (64点)	陶土・磁土
27	神谷麻穂	浮花	2016	56.0×30.0×13.0	陶土・磁土
28	神谷麻穂	みち	2012	サイズ可変	陶土・磁土
29	たがゆうこ	What is your name?	2017	116.7×91.0	アクリル・ペン・クレヨン・カンヴァス
30	たがゆうこ	KO NO YO	2017	130.0×162.0	アクリル・クレヨン・ペン・水干絵具・ カンヴァス
31	たがゆうこ	Production factory	2017	145.5×145.5	アクリル・クレヨン・ペン・土絵具・ カンヴァス
32	毛利武士郎	手の中の眼	1957	66.0×20.0×12.0	ブロンズ・黒部市美術館蔵
33	たがゆうこ	A RA WR WU	2017	116.7×91.0	アクリル・岩絵具・土絵具・カンヴァス
34	たがゆうこ	Chase a triangle	2017	116.7×91.0	アクリル・岩絵具・土絵具・ チャコールクレヨン・カンヴァス

生誕120年 森義利展



本展では東京・日本橋生まれの版画家 森義利の生誕120年を記念して、没後東京都中央区に遺族より寄贈された作品および当館所蔵作品より厳選し、初期から代表作まで一堂に紹介した。元々染色工芸家として活動していた森は、60歳を超えてから版画家として立つ決意をする。そして、東京下町風物・歌舞伎・平家物語・源氏物語をテーマに、染色と版画技法を織り交ぜた独自の合羽版技法によって、躍動感あふれる世界を作り上げた。森の作品の根底には生涯を過ごした町・日本橋への深い愛情がある。時の流れとともに失われゆく景観や風習を惜しみつつも、そこに懸命に生きた人々に目を向け、常に時代の風を感じながら挑戦し続けた作家のエネルギーは私たちの心に強く響いてくる。本展は、国内外で高く評価されている森の画業と、臨場感あふれる森版画の世界観を堪能できる機会となった。



撮影：柳原良平

【会 期】2018年4月21日(土)～6月24日(日)

【開催日数】55日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【特別協力】森映子、中央区教育委員会、町田市立国際版画美術館

【協 力】株式会社ミツイ

【関連企画】

オープニングセレモニー

日 時：4月21日(土) 11:00～11:30

担当学芸員による作品解説

日 時：5月19日(土)、6月16日(土)
各日13:30～14:00

【印刷物】

パンフレットA4 6ページ



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵先
1	今も昔、隅田に住む人々	1989	70.0×103.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
2-13	夏の市12景	1955	27.5×39.5	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
14	昔、日本橋 あめ	1970代	36.0×46.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
15	大川端	1980代	27.0×34.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
16	旧水天宮	1976	31.5×40.5	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
17	五重の塔	1987	33.0×24.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
18	神田祭り	1990	40.5×32.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
19	やっちゃん場	1977	37.0×51.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
20	魚河岸	1977	37.5×51.5	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
21	オリンピック	1964	80.0×55.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
22	知盛の亡霊	1984	101.0×67.5	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
23	静乃舞	1984	101.0×67.5	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
24	思い出の東京散景	1987	140.0×193.0	肉筆	中央区立郷土天文館蔵
25	東都風物歳時記12か月(1月)	不詳	20.5×16.5	肉筆	個人蔵
26	東都風物歳時記12か月(2月)	不詳	21.5×16.5	肉筆	個人蔵
27	東都風物歳時記12か月(3月)	不詳	20.0×16.5	肉筆	個人蔵
28	東都風物歳時記12か月(4月)	不詳	21.5×16.5	肉筆	個人蔵
29	東都風物歳時記12か月(5月)	不詳	20.5×16.5	肉筆	個人蔵
30	東都風物歳時記12か月(6月)	不詳	21.5×17.0	肉筆	個人蔵
31	東都風物歳時記12か月(7月)	不詳	21.5×16.0	肉筆	個人蔵
32	東都風物歳時記12か月(8月)	不詳	22.0×16.5	肉筆	個人蔵
33	東都風物歳時記12か月(9月)	不詳	21.0×16.0	肉筆	個人蔵
34	東都風物歳時記12か月(10月)	不詳	21.0×16.0	肉筆	個人蔵
35	東都風物歳時記12か月(11月)	不詳	20.0×16.5	肉筆	個人蔵
36	東都風物歳時記12か月(12月)	不詳	20.0×16.0	肉筆	個人蔵
37	悲しみ	1958	90.0×61.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
38	神輿	1960	70.0×60.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
39	二つの面	1960	72.0×91.0	合羽版	黒部市美術館蔵
40	東都風物歳時記12か月 1～6月	1962	60.0×70.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
41	東都風物歳時記12か月 7～12月	1962	60.0×70.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
42	魚彩市場	1964	94.0×65.5	合羽版	黒部市美術館蔵
43	夏の市(藍)	1957	73.0×77.5	合羽版	黒部市美術館蔵
44	暮の市(藍)	1957	90.0×120.0	合羽版	黒部市美術館蔵
45	暮の市(赤)	1958	60.0×71.0	合羽版	黒部市美術館蔵
46	神輿振り	1972	51.5×69.5	合羽版	黒部市美術館蔵
47	東大寺炎上	1973	72.0×91.0	合羽版	黒部市美術館蔵
48	与一の二の矢	1972	70.0×60.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
49	主上都落ち	1973	72.0×91.0	合羽版	黒部市美術館蔵
50	紅型風浅草寺文様	1950	172.1×128.2	着物	中央区立郷土天文館蔵
51	紫の君	1975	70.0×52.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
52	紅葉賀の舞	1975	70.0×52.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
53	ささやき	不詳	58.5×82.5	肉筆	黒部市美術館蔵
54	ささやき	1976	72.0×91.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
55	臙姫(A)	1976	115.0×73.0	合羽版	黒部市美術館蔵
56	恪気の霊	1975	51.0×70.0	合羽版	黒部市美術館蔵
57	廃屋の姫	1975	51.5×34.5	合羽版	黒部市美術館蔵
58	尼と少女	1975	51.5×34.5	合羽版	黒部市美術館蔵
59	舞姫 道成寺	1979	52.0×70.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵先
60	歌舞伎もの「暫」	不詳	57.6×81.8	肉筆	黒部市美術館蔵
61	歌舞伎獅子(A)	1979	90.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
62	勸進帳「富樫と弁慶」	1964	91.0×69.0	合羽版	黒部市美術館蔵
63	お七	1971	70.0×60.0	合羽版	黒部市美術館蔵
64	少々昔の下町図絵	1983	72.0×91.0	合羽版	個人蔵
65	東都風物浅草寺大提灯	1978	68.0×55.0	合羽版	中央区蔵
66	仁王門	1977	52.0×70.0	合羽版	中央区蔵
67	国技	1987	69.0×103.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
68	日本橋	1977	70.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
69	書「描いたり飲んだり」	1991	48.7×24.3	肉筆	黒部市美術館蔵
70	傘や	1973	52.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
71	髪結い	1973	52.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
72	桶屋	1973	52.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
73	質屋	1988	42.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
74	甘味	1988	42.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
75	呉服屋	1988	42.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
76	魚屋	1988	42.0×35.0	合羽版	中央区立郷土天文館蔵
77	下町小間絵集「雑記帳(仁王・夜市)」	不詳	21.0×15.0	肉筆	黒部市美術館蔵
78	赤仁王	1960	120.0×90.0	合羽版	黒部市美術館蔵
79	青仁王	1960	120.0×90.0	合羽版	黒部市美術館蔵

2018年度 企画展 ②

コレクション展

見えないもの、いろ、かたち



当館収蔵品の約7割を占める近現代の日本の版画作品から、感覚、気配、時間、あるいは概念のように形を認識することが難しい世界を表現した作品や、色、形の重なりやリズムを通して言葉等ではとらえがたい世界を体感、想像させるような作品について紹介した。併せて、郷土作家である富山芳男の〈存在についての習作〉シリーズを展示し、表現の可能性や豊かさに改めて思いを巡らせ、様々なもの見方に気づくことができるような機会とした。

【会 期】 2018年7月7日(土)～9月2日(日)

【開催日数】 49日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

デッサン教室 細密描写 –新たな世界が見えてくる–

日 時：7月16日(月・祝) 9:30～16:00

講 師：安達博文(洋画家)

定 員：15名

参加料：2,000円(展覧会観覧料含む)

銅版画教室

1日で学べる本格的な銅版画 –エッチング、アクアチント–

日 時：7月21日(土) 9:30～16:00

講 師：玉分昭光(版画家)

定 員：8名

参加料：2,000円(展覧会観覧料含む)

クラフト教室 羊毛でつくるコサージュ

日 時：8月25日(土) 10:00～12:00

講 師：山本瑞生(繊維造形作家)

定 員：10名

参加料：1,500円(展覧会観覧料含む)

鑑賞教室 おしゃべりアートカフェ

日 時：8月5日(日) 10:00～11:30

講 師：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)

定 員：10名

参加料：500円(展覧会観覧料含む、お茶とお菓子付き)

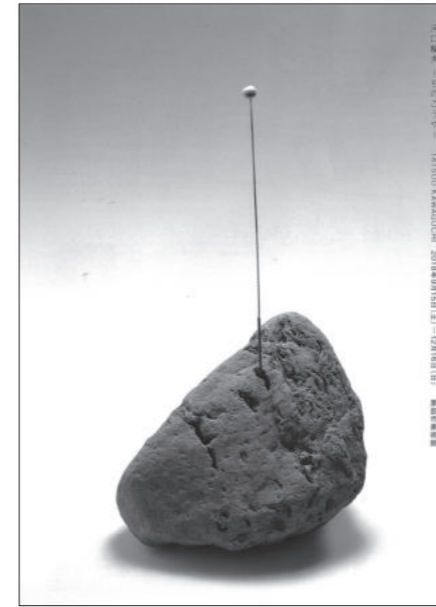


【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	小川幸一	青い球体 No.4	1982	134.0×48.0	紙・シルクスクリーン
2	深沢幸雄	愛憎	1960	36.5×32.9	紙・ディープエッチング・エッチング・ドライポイント・ソフトグラウンドエッチング・サルファチント
3	秀島由己男	霊歌〈憩い〉	1972	36.2×28.0	紙・メゾチント
4	名嶋憲児	空想	1997	47.7×33.5	紙・木版
5	内間安理	或る感情	1958	41.0×30.2	紙・木版
6	恩地孝四郎	たあいもないロマンス	1949	31.0×24.0	紙・木版・マルチブロック
7	馬場彬	GRAY OF GRAY 6.浮遊	1981	72.0×98.0	紙・シルクスクリーン
8	安芸真奈	Born	2001	91.5×60.5	紙・凸版水性木版
9	駒井哲郎	芽生え	1955	16.1×28.1	紙・アクアチント・ビュラン
10	小川幸一	赤い球体 No.12	1990	65.0×90.0	紙・シルクスクリーン
11	山口源	作品	1957	37.0×28.0	紙・木版
12	オノサト・トシノブ	作品	1967	50.0×50.0	紙・シルクスクリーン
13	前田常作	人間波動粒子	1972	41.0×27.0	紙・シルクスクリーン
14	吹田文明	開かれた世界	1967	61.5×90.5	紙・木版
15	駒井哲郎	時間の迷路	1952	24.2×22.4	紙・アクアチント・エッチング(サンドペーパー)
16	恩地孝四郎	Poème No.15 過去	1950	44.1×34.3	紙・マルチブロック
17	黒崎彰	二つの時間の間に 6	1984	79.5×55.5	紙・木版
18	木村光佑	現在位置-存在(C) (PRESENT SITUATION-EXISTENCE)	1971	73.5×103.0	紙・リトグラフ・シルクスクリーン
19	山本容子	After 我々とは何か?	1996	39.6×42.3	紙・エッチング・手彩色
20	富山芳男	存在についての習作(壺)	1968	116.7×80.3	キャンバス・油彩
21	富山芳男	存在についての習作	1984	116.7×80.3	キャンバス・油彩
22	富山芳男	存在についての習作	1994	116.7×80.3	キャンバス・油彩
23	富山芳男	存在についての習作	1988	116.7×80.3	キャンバス・油彩
24	富山芳男	存在についての習作	1994	116.7×91.0	キャンバス・油彩
25	富山芳男	存在についての習作	1980	100.0×72.7	キャンバス・油彩
26	清宮賢文	5月の夜明け	1984	14.5×14.2	紙・木版
27	畦地梅太郎	白い像	1958	69.2×44.0	紙・木版
28	山中現	The night piece IV	1985	52.2×72.2	紙・木版
29	吹田文明	重い空間	1962	51.0×51.5	紙・木版
30	二見彰一	青のトリオ	1990	22.3×29.1	紙・アクアチント
31	萩原英雄	伊豆の踊り子	1988	59.5×41.5	紙・木版
32	内間安理	FOREST BYOBU	1981	53.3×21.0	紙・木版
33	加納光於	汽水よ、ゆるやかにそして速く I	1990	80.5×54.5	紙・カラーインタリオ
34	加納光於	Circle-波打つ眉をしずめよNo.6	1996	56.5×76.0	紙・モノタイプ
35	藤田嗣治	黙示録	1960	40.5×32.0	紙・エッチング・水彩手彩色
36	藤田嗣治	黙示録	1960	40.5×32.0	紙・エッチング・水彩手彩色
37	池田満寿夫	天使のいる風景	1965	36.4×34.2	紙・ドライポイント・ルーレット・エッチング
38	清原啓子	海の男(Dandy of Sea)	1981	38.1×44.7	紙・エッチング・雁皮刷り
39	清原啓子	後日譚	1981	51.1×42.0	紙・エッチング・雁皮刷り
40	釣谷幸輝	夢	2003	40.0×20.0	紙・メゾチント
41	前田常作	古事記II日のカミの出現	1983	56.0×44.0	紙・シルクスクリーン
42	前田常作	観想図譜 青II	1974	50.0×35.0	紙・リトグラフ

2018年度 企画展 ③

河口龍夫 一ちのこうやー



日本を代表する芸術家である河口龍夫は、独自の哲学を背景に、物質への関心を根底に持ちながら、関係、闇、時間等、目に見えないものや不確かなものを可視化した数々の作品を制作してきた。その作品は、深い精神を備え、見るものに大きな創造力を与える。本展では、本や新聞等を用い、情報、知性、叡智等について思考してきた一連の作品群の新作として、情報過多な社会の中で人々がどのようにあるべきかという問題意識を起点とした。そこに、様々な情報を内包する広大な黒部近郊の自然や大地を重ね、作品と地域の環境が互いに呼応し合う「知/地」についての空間を立ち上げた。



撮影：池田ひらく

【会 期】2018年9月15日(土)～12月16日(日)

【開催日数】77日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【助 成】芸術文化振興基金助成事業、公益財団法人野村財団

【協 力】TRNK exhibition preparation、株式会社ミツイ、朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN、黒部市吉田科学館

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：9月15日(土) 15:00～15:45

闇の封印 -プラネタリアムで感じる闇と光の世界-

日 時：9月15日(土) 17:00～19:00

会 場：黒部市吉田科学館プラネタリアム

講 師：闇の封印/河口龍夫、
プラネタリアム/村井彰、中瀬公子(黒部市吉田科学館)

対 象：小学校4年生以上

参加料：一般300円、高校・大学生150円

※河口龍夫展の半券提示で無料

共 催：黒部市吉田科学館

アート&サイエンスツアー「知の広野」

日 時：9月16日(日) 8:30～17:00

講 師：河口龍夫、
久保貴志(朝日町教育委員会事務局学芸員)、
川端典子(朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN
学芸員)、
尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)

定 員：18名

参加料：700円(各館入館料)

共 催：朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

見て!感じて!作品鑑賞ツアー

日 時：10月13日(土) 8:30～15:30

講 師：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)、
長谷川憲二(黒部市吉田科学館フィールドミュージアム担当)

定 員：25名

参加料：2,000円(各館入館料、昼食代)

共 催：黒部市立中央公民館

【印刷物】

カタログB5 64ページ

別紙はさみ込みB4変形二つ折 2部 展覧会レビュー

【サテライト展示】

ヒスイの里の玉づくり展

日 時：9月15日(土)～9月30日(日)

会 場：朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

珠羅の森展

日 時：10月6日(土)～12月16日(日)

会 場：朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：10月6日(土)、11月11日(日)、12月9日(日)



撮影：高橋健児

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法・備考
1	亀の時間	2018	118.0×85.5×63.0	第三紀の亀の化石・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ・木箱・硫化カドミウム
2	ちのこや	2018	サイズ可変	800冊の本・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ・白紙
3	知の荒野ドローイング	2015	29.7×21.0	紙・鉛筆
4	水に潜る作品集	2010	30.0×40.0×50.0	本(河口龍夫作品集)・蜜蝋・透明な水槽・水
5	言葉の中の水	2010	17.0×16.5×21.6	本(広辞苑)・蜜蝋・水
6	関係-化石からの再生	2017	48.0×27.0×22.0	ジュラ紀の二枚貝の化石・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ
7	関係-縄文時代 1	2018	72.7×51.5	圧痕レプリカ(ダイズ属 子葉)・鉛・鉛筆・厚紙 *圧痕レプリカは朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN提供
8	関係-縄文時代 2	2018	72.7×51.5	圧痕レプリカ(ダイズ属 子葉)・鉛・鉛筆・厚紙 *圧痕レプリカは朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN提供
9	関係-箱のなかの時のフロッタージュ	2018	12.0×13.0×20.6	ジュラ紀の植物の種子もしくは生殖器の化石・和紙・鉛筆・蜜蝋・天然黄土・木箱
10	関係-時のフロッタージュ	2018	6.3×25.0×34.0	ジュラ紀の植物の種子もしくは生殖器の化石・和紙・鉛筆・蜜蝋・天然黄土・スチレンボード
11	関係-時のフロッタージュ	2018	4.2×36.3×46.5	ジュラ紀の球果植物の化石(珪化木)・和紙・鉛筆・蜜蝋・天然黄土・スチレンボード
12	関係-時のフロッタージュ	2018	4.2×36.3×46.5	ジュラ紀の植物の種子もしくは生殖器の化石・和紙・鉛筆・蜜蝋・天然黄土・スチレンボード
13	関係-植物の化石からの発芽	2018	40.5×25.0×15.0	ジュラ紀の球果植物の化石(珪化木)・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ
14	字引のなかの石	2017	4.0×16.0×17.0	『イロハで引ける英語の字引』(昭和2年8月20日修文社発行)・ガーネットを含む緑色片岩*・蜜蝋・銅線 *圧縮されて誕生した石
15	石からの発芽・垂直に、水平に	2017	42.0×43.0×8.6	ジュラ紀の二枚貝の化石・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法・備考
16	関係-木のなかの木の化石	2018	7.0×31.0×38.6	新第三紀の球果植物の化石(珪化木)・木
17	ちのこや そして一冊の本	2018	14.7×98.5×56.4 (模型サイズ)	本・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ・硫化カドミウム・スチレンボード
18	関係-図録空間 関係-京都	2010	18.0×78.4×39.9	「河口龍夫 関係・京都」展覧会図録(京都市美術館)・水・蜜蝋・銅線・銅パイプ・硫化カドミウム・和紙・Wクリップ・合板
19	関係-図録空間	2010	15.2×34.0×39.7	「Japan Contemporary Art-Kawaguchi Tatsuo」展覧会図録(釜山市立美術館)・水・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・Wクリップ・合板
20	部分からなる作品図録空間	2010	27.7×Φ10.6	部分からなる作品 WORK-MADE OF PARTS」展覧会パンフレット(gallery16)・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・缶・黄色塗料
21	関係-文庫本のコーナー	2010	14.5×53.0×47.0	文庫本・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・合板
22	DARK BOX	2018	35.0×56.0×37.0	鉄・闇
23	亀の時間	2018	5.5×9.5×12.0 (化石のサイズ)	第三紀の亀の化石・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ
24	亀の時間	2018	10.0×17.0×21.0 (化石のサイズ)	第三紀の亀の化石・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ
25	関係-縄文時代 3	2018	72.7×51.5	圧痕レプリカ(シソ属 果実・エゴマ)・鉛・鉛筆・厚紙 *圧痕レプリカは朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN提供
26	関係-縄文時代 4	2018	72.7×51.5	圧痕レプリカ(アズキ属 種子)・鉛・鉛筆・厚紙 *圧痕レプリカは朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN提供
27	関係-木のなかの木の化石	2018	11.0×23.0×26.0	ジュラ紀の球果植物の化石(珪化木)・木
28	関係-時のフロッタージュ	2018	4.2×36.3×46.5	ジュラ紀の植物の種子もしくは生殖器の化石・和紙・鉛筆・蜜蝋・天然黄土・スチレンボード
29	時の航海図録空間	2010	40.7×Φ16	「時の航海」河口龍夫」展覧会パンフレット(下山芸術の森 発電所美術館)・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・ペンキ缶・黄色塗料
30	関係-図録空間・呼吸する視線	2010	25.0×39.7×41.9	「呼吸する視線 河口龍夫 みえないものとの対話」展覧会図録(いわき市立美術館)・水・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・鉛・硫化カドミウム・Wクリップ・合板
31	関係-図録空間・青	2010	15.2×33.9×39.7	「河口龍夫 青」展覧会パンフレット(雅陶堂ギャラリー-竹芝)・水・蜜蝋・銅線・銅パイプ・硫化カドミウム・和紙・Wクリップ・合板
32	関係-図録空間・封印された時間	2010	17.6×78.2×39.8	「河口龍夫 封印された時間」展覧会図録(水戸芸術館)・水・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・銅パイプ・硫化カドミウム・和紙・Wクリップ・鎖・カラナビ・Sカン・合板
33	関係-図録空間・見えないものと見えるもの	2010	20.0×39.7×50.6	「河口龍夫 見えないものと見えるもの」展覧会図録(兵庫県立美術館・名古屋美術館)・水・種子(蓮)・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・Wクリップ・合板
34	関係-文庫本空間	2010	14.5×50.0×18.0	文庫本・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・合板
35	関係-文庫本	2010	14.5×140.0×18.0	文庫本・蜜蝋・銅線・硫化カドミウム・合板

寄贈記念特別展

彫刻家 中谷唯一の世界



彫刻家中谷唯一(1927-2018)の個展を開催した。氏は富山県黒部市出身で1953年に富山大学第一中等教育科図画工作専攻を卒業後、彫刻家木内克氏に師事、1962年より自由美術協会会員となる。1972年富山大学教育学部助教授に、1979年に富山大学教育学部教授となり1992年の退官まで後進の育成にあたった。富山県内において野外彫刻及び学校彫刻を多数手がけ、黒部野外彫刻展実行委員会委員長、黒部市芸術文化振興協会会長として地元黒部市の芸術文化振興にも寄与した。

氏の作品には一貫してヒューマンイズムの精神が流れている。具象から抽象へ表現方法が変化しても人間性を追求する姿勢は変わらず、独創的な作品を多く生み出してきた。

本展では昨年度黒部市へ寄贈された作品18点を中心にデッサンや野外彫刻の写真資料を交えて氏の制作活動を総合的に紹介した。



撮影：柳原良平

【会 期】2019年1月12日(土)～3月16日(土)

【開催日数】54日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】黒部市芸術文化協会、自由美術協会、富山大学、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

オープニングセレモニー

日 時：1月12日(土) 10:00～10:30

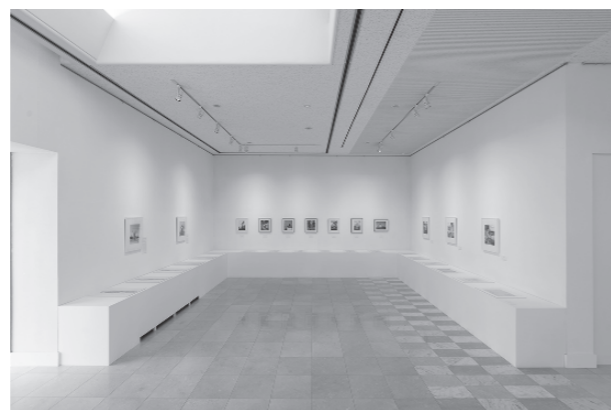
担当学芸員による解説

日 時：2月23日(土)、3月2日(土)

各日13:30～14:00

【印刷物】

カタログB5 36ページ



撮影：柳原良平

【出品リスト】(彫刻)

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵・設置場所
1	頭像	不詳	40×28×27	石膏	個人蔵
2	思-3	1960	120×80×70	石膏	黒部市立桜井小学校
3	人-62	1999	43×13.5×11	ブロンズ	個人蔵
4	相-4	1968	20×45.5×10	木	黒部市
5	M-19	不詳	65.5×40×39	木	黒部市
6	M-27	不詳	54×39×40	木	黒部市
7	M-46	1970	64×45×16	木	黒部市
8	M-50	1970	63×37×37	木	黒部市美術館
9	M-53	1971	53×43×16	木	黒部市
10	M-75	1971	105×29×22	木	黒部市
11	M-81	1973	右53×27×14/ 左53×27×14	木	個人蔵
12	M-86	1973	53×57×32	木	黒部市美術館
13	木-3	1974	94×31×31	木	黒部市
14	M-90	1974	66×44×35	木	黒部市
15	M-103	1975	69×63×30	木	黒部市
16	相-103	1978	27×18×17.5	木	黒部市
17	相-109	1979	59×99×28	木	黒部市美術館
18	Aさん	1978	57×19.5×13	テラコッタ	個人蔵
19	Aさん座像	1982	44×15×17	テラコッタ	個人蔵
20	相-195	不詳	41×52.5×20	木	黒部市
21	輪-2	1985	108×88×28	木	黒部市
22	構-90-10	1990	40.7×101×27	木	黒部市
23	構-91-Sep	1991	24×110×30	木	黒部市
24	Balance-II	1992	50×117×37	木	黒部市
25	構-92	不詳	50.5×28.7×12	木	黒部市
26	狂った日時計	不詳	50.8×37×28	木	黒部市
27	挑-1	1995	89×50×27	木	黒部市
28	マケット	不詳	22×22×5	テラコッタ	個人蔵
29	マケット	不詳	9×11×3.5	テラコッタ	個人蔵
30	制作道具(のみ)	—	—	—	個人蔵

【出品リスト】(写真・デッサン)

31	自立	1963	184	ブロンズ	富山市立岩瀬中学校
32	寛容	1963	186.5	ブロンズ	富山市立岩瀬中学校
33	のびる	1972	348	セメント	高岡市立中田小学校
34	若人の塔	1981	1500	鉄	黒部市宮野運動公園
35	雄飛	1983	200	御影石	富山県立滑川高等学校
36	伸びる	1983	200	御影石	富山市松川べり 彫刻プロムナード
37	巣立ち	1984	185	御影石	朝日町立朝日中学校
38	飛翔	1988	170	ブロンズ	砺波市立出町中学校
39	ウェーブ	1988	150	御影石	黒部市宮野運動公園
40	宙へ	1991	600	ステンレス	富山きときと空港 (旧富山空港)
41	始動	1993	165	御影石	黒部市総合公園
42	黒部・名水の里の塔	1996	中央柱1000/ 周囲柱 900	スチール・石材	黒部市総合公園

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵・設置場所
43	デッサン	不詳	25.5×36	紙・鉛筆	個人蔵
44	デッサン	不詳	36×25.3	紙・鉛筆	個人蔵
45	デッサン	不詳	25.7×36.3	紙・鉛筆	個人蔵
46	デッサン	不詳	37.5×26.7	紙・鉛筆	個人蔵
47	デッサン	不詳	26.7×37.5	紙・鉛筆	個人蔵
48	デッサン	不詳	37.5×26.7	紙・鉛筆	個人蔵
49	デッサン	不詳	36×26	紙・鉛筆	個人蔵
50	デッサン	不詳	36×26	紙・鉛筆	個人蔵
51	デッサン	不詳	36×26	紙・鉛筆	個人蔵
52	デッサン	不詳	37.5×26.8	紙・鉛筆	個人蔵
53	デッサン	不詳	36×25	紙・鉛筆	個人蔵
54	デッサン	不詳	37.5×26.8	紙・鉛筆	個人蔵
55	デッサン	不詳	38×27	紙・鉛筆	個人蔵
56	デッサン	不詳	54×38	紙・鉛筆	個人蔵
57	デッサン	不詳	54×38	紙・鉛筆	個人蔵
58	デッサン	不詳	54×38	紙・鉛筆	個人蔵
59	デッサン	不詳	54×38	紙・鉛筆	個人蔵
60	デッサン	不詳	54×38	紙・鉛筆	個人蔵
61	デッサン	1980	52.5×38	紙・木炭	個人蔵

*No.31-42寸法は高さ



撮影：柳原良平

2019年度 企画展 ①

この世界で生きる、日々のかたち —桂樹舎の民藝品とともに—



【会 期】2019年4月20日(土)～6月23日(日)

【開催日数】56日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送

【協 力】桂樹舎

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：4月20日(土) 11:00～11:45

学芸員によるギャラリートーク

日 時：5月12日(日)、6月9日(日)

【印刷物】

パンフレットB5 20ページ

桂樹舎所蔵の様々な国の民藝品あるいは生活工芸品は、現在の私たちにその文化や使用目的が分からなくても形の面白さや美しさをきっかけとした鑑賞の楽しさを与えてくれる。つまり用途や意味を超え、多角的な視点からの親しみをもたらしてくれる。鑑賞者が作品に物語や価値を見出すという点においては現代の作品にも共通している。本展では3人の作家の作品と民藝品等を併せて紹介し、かつての民藝運動が審美性のみならず同時代の社会や暮らしを重視したように、生活の背景にある思想や感性の一端に想いを馳せてみた。私たちの生き方の根本に触れるきっかけとなるような展覧会とした。



【出品リスト】

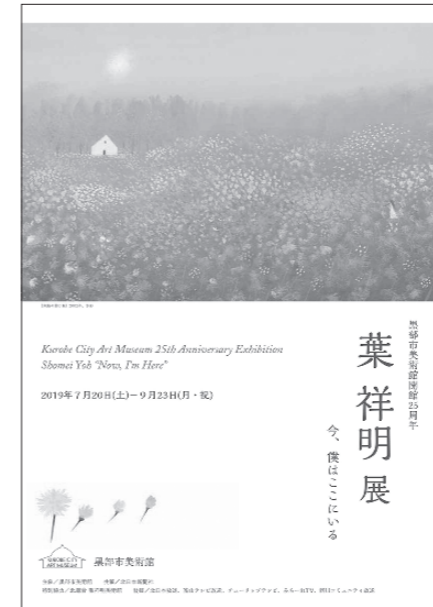
No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵
1	不詳	コーヒー袋(グアテマラ)	不詳	56.0×15.0×12.0		桂樹舎所蔵
2	不詳	灰ならし(韓国)	不詳	27.5×11.5	金属	桂樹舎所蔵
3	不詳	火鉢(韓国)	不詳	φ18.5×12.5	石	桂樹舎所蔵
4	野村瑞穂	objects	2019	18.0×30.0×23.0	陶土・他	
5	野村瑞穂	objects	2019	18.0×30.0×27.0	陶土・他	
6	セシル・アンドリュ	いま、ことば、つなぐ	2019	サイズ可変	仏語辞書の言葉を一つずつ加工したシール・名札・ネット	
7	セシル・アンドリュ	JOURNAL(日記)	1995	28.0×20.0	ノートA5・修正液	
8	不詳	グレゴリオ聖歌	不詳	82.0×58.5	羊皮紙	桂樹舎所蔵
9	不詳	貝多羅経/梵夾	不詳	上 3.0×58.0×6.0 下 4.0×59.0×5.0	パルミラヤシの葉	桂樹舎所蔵
10	不詳	ポジャギ(韓国の風呂敷)	不詳	78.0×76.0	端切れ	桂樹舎所蔵
11	不詳	ポジャギ(韓国の風呂敷)	不詳	75.0×75.5	端切れ	桂樹舎所蔵
12	不詳	紙繕蓋物(韓国)	不詳	φ14.5×11.5	紙	桂樹舎所蔵
13	不詳	イクパスイ/イクニシ(アイヌの祭具)	不詳	上 33.0×3.0 中 34.0×3.0 下 28.5×2.5	木	桂樹舎所蔵
14	不詳	木靴(韓国)	不詳	15.0×28.0×9.0	木	桂樹舎所蔵
15	野村瑞穂	objects	2019	24.0×58.0×28.0	陶土・他	
16	野村瑞穂	objects	2019	20.0×51.0×26.5	陶土・他	
17	野村瑞穂	objects	2019	24.0×38.0×37.0	陶土・他	
18	野村瑞穂	objects	2019	37.0×54.0×33.0	陶土・他	
19	野村瑞穂	objects	2019	28.5×39.0×34.0	陶土・他	
20	宮永春香	FEITICO-Remains	2011-2019	サイズ可変4点	磁土・陶土・他	
21	宮永春香	FEITICO	2009-2019	サイズ可変36点	磁土・他	
22	不詳	チェベニパポ(アイヌの腕)	不詳	14.5×52.5×31.5	木	桂樹舎所蔵
23	不詳	尾花帽子(日本)	不詳	48.0×50.0×8.0	尾花・糸	桂樹舎所蔵
24	野村瑞穂	objects	2019	19.0×24.0×22.0	陶土・他	
25	野村瑞穂	objects	2019	25.0×42.5×30.0	陶土・他	
26	セシル・アンドリュ	OVERTURE(開口)	2010	23.8×10.0×13.8	仏語辞書・木・塗料	
27	セシル・アンドリュ	VOCEM(声)- White	2010	48.0×46.0×4.2 3点	仏語辞書・金属・木・顔料	



2019年度 企画展 ②

黒部市美術館開館25周年

葉祥明展 今、僕はここにいる



開館25周年を記念して、葉祥明による北陸初の本格的個展を開催した。1973年に創作絵本『ぼくのべんちにしろういとり』でデビューした氏は、月刊誌『詩とメルヘン』や『いちごえほん』に作品が掲載されたことをきっかけに広く知られるようになった。半世紀に近い創作活動の中で、氏のまなざしは人間の心や平和、環境といった様々なテーマへ向けられていく。本展では初期メルヘン画を始めとし、絵本原画、油彩画、詩作品などを通してその活動を総合的に紹介した。自然の美しい情景や物事の本質に触れた言葉の数々と共に、心豊かなひとときを過ごせるような空間となった。



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

【会 期】2019年7月20日(土)～9月23日(月・祝)

【開催日数】55日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【特別協力】北鎌倉 葉祥明美術館

【関連企画】

オープニングセレモニー 葉祥明によるギャラリートーク&サイン会
日 時：7月20日(土) 10:00～12:30

葉祥明 講演会&サイン会
日 時：9月7日(土) 13:30～15:30
会 場：黒部市国際文化センターコラーレ
定 員：150名

葉祥明によるギャラリートーク&サイン会
日 時：9月8日(日) 10:30～12:30

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	妖精の棲む森	2002	21.0×41	水彩画
2	ひとり林に	2002	29.0×44.4	水彩画
3	旅立ちの花畑	2007	23.0×32.0	水彩画
4	春のせせらぎ	1990年代	32.0×44.0	水彩画
5	春のお迎え	1970年代	20.1×27.5	水彩画
6	Orange Forest	1990年代	20.5×41.0	水彩画
7	青い水面	1990年代	38.3×54.2	水彩画
8	トスカーナの祈り	2001	28.0×45.0	水彩画
9	羊と草原	1990年代	28.5×45.0	水彩画
10	予感	1990年代	13.7×19.2	水彩画
11	イルカの親子	1990年代	31.0×49.5	水彩画
12	夕陽の中の自転車	1990年代	30.3×42.5	水彩画
13	銀河	2001	25.0×30.0	水彩画
14	Rosy Evening	1980年代	50.0×72.7	油彩画
15	静かなる丘	1980年代	33.3×53.0	油彩画
16	『ぼくのべんちにしろいとり』(表紙・P12/13)	1972	31.5×31.5	水彩画
17	『ぼくのべんちにしろいとり』(P15)	1972	32.0×32.0	水彩画
18	『ぼくのべんちにしろいとり』(P17)	1972	32.0×32.0	水彩画
19	『風とひょう』(表紙)	1989	27.4×47.6	水彩画
20	『風とひょう』(P9)	1989	27.0×24.0	水彩画
21	『風とひょう』(P18/19)	1989	27.0×44.8	水彩画
22	『地雷ではなく花をください』(表紙)	1996	32.4×24.0	水彩画
23	『地雷ではなく花をください』(P22)	1996	32.5×23.8	水彩画
24	『ジェイクと海のなかまたち』(表紙)	1998	24.5×30.0	水彩画
25	『ジェイクと海のなかまたち』(P16/17)	1998	25.0×54.0	水彩画
26	『ジェイクと海のなかまたち』(P31)	1998	24.5×30.0	水彩画
27	『あの夏の日』(表紙)	2000	31.3×23.0	水彩画
28	『あの夏の日』(P23)	2000	31.6×23.2	水彩画
29	『あの夏の日』(P31/31)	2000	32.0×44.1	水彩画
30	『生まれた赤ちゃんとお話しようよ』(表紙)	2000	18.3×13.6	水彩画
31	『生まれた赤ちゃんとお話しようよ』(P19)	2000	22.2×18.7	水彩画
32	『ヒーリング・キャット』(表紙)	2003	21.0×17.2	水彩画
33	『ヒーリング・キャット』(P8・9)	2004	27.0×27.0	水彩画
34	『ヒーリング・キャット』(P20)	2004	20.4×15.8	水彩画
35	『ASO』(表紙)	2005	30.0×24.0	水彩画
36	『ASO』(P6/7)	2005	38.0×54.0	水彩画
37	春の翳	1972	45.5×53.0	油彩画
38	鳥	1983	27.0×38.3	鉛筆
39	青年	1983	27.0×19.2	鉛筆
40	馬	1983	19.0×26.8	鉛筆
41	鶴	1983	35.8×27.4	鉛筆
42	『星の王子様』(表紙)	2016	25.3×25.3	水彩画
43	『星の王子様』(P29)	2016	27.5×26.7	水彩画
44	『星の王子様』(P37)	2016	27.1×26.7	水彩画
45	『赤毛のアン』(表紙)	2016	22.0×21.6	水彩画
46	『赤毛のアン』(P34/35)	2016	25.0×49.8	水彩画
47	『赤毛のアン』(P37)	2016	26.3×26.0	水彩画
48	『ピーターパンとウエンディ』(表紙)	2017	27.0×27.0	水彩画

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
49	『ピーターパンとウエンディ』(P7)	2017	25.0×25.0	水彩画
50	『ピーターパンとウエンディ』(P36/37)	2017	25.0×50.0	水彩画
51	母親というものは	1983	43.0×65.7	油性鉛筆
52	感動する心が…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
53	さまざまな人生…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
54	あなたは今日…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
55	願わくば…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
56	自分自身を…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
57	どう生きるべきか…	-	25.0×27.1	油性鉛筆
58	あなたにとって…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
59	愛は無限…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
60	大切なのは…	-	25.0×27.0	油性鉛筆
61	『海からの風』(表紙)	2011	19.8×15.0	水彩画
62	『海からの風』(P7)	2011	23.0×31.0	水彩画
63	『海からの風』(P8/9)	2011	19.2×27.0	水彩画
64	『海からの風』(P28/29)	2011	23.0×31.0	水彩画
65	『海からの風』(P34/35)	2011	27.4×38.4	水彩画
66	『海からの風』(P36/37)	2011	27.0×27.0	水彩画
67	『海からの風』(P38/39)	2011	26.9×27.1	水彩画
68	Herd〜蒼き群れ	1980年代	60.6×80.3	油彩画
69	『サニーちゃん、シリアへ行く』(表紙)	2016	27.3×19.1	水彩画
70	『サニーちゃん、シリアへ行く』(P16)	2016	27.2×19.2	水彩画

*No.22, 23は展示期間7月20日～9月7日、No.69, 70は展示期間9月8日～9月23日



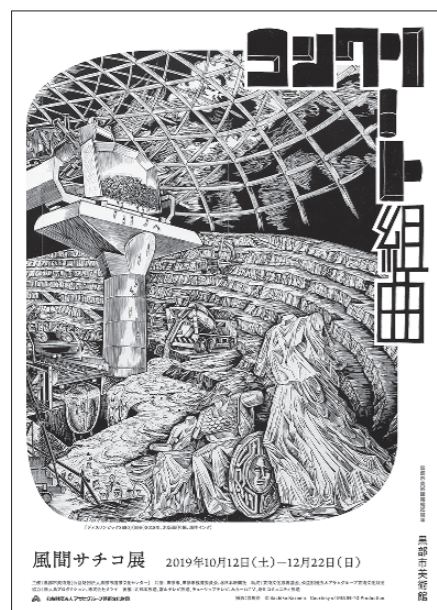
撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

黒部市美術館開館25周年

風間サチコ展 コンクリート組曲



風間サチコは、ダイナミックに表現された黒一色の木版画を主に制作する。その作品世界は鑑賞者を強く引き込んでいく。原爆の図丸木美術館での個展「ディスリンピア2680」(2018年)や、Tokyo Contemporary Art Award2019-2021受賞(2019年)等、近年においてますます注目を浴びている。風間は、近現代の社会的な事象への関心を起点として、その根源を、いくつもの過去の事例を参照することで露にしていく。批判的な精神を持ちながらも、コミカルな表現や独自の物語世界を構築することで、感傷的なところからは距離をとる姿勢が貫かれ、作品に多面性が備わっている。本展では、黒部ダム、立山信仰等のリサーチを通し、建設による近代的な新しい秩序について考察された新作《クロベゴルト》を発表した。本展を通して、改めて現在そしてこれからの世界を見つめる機会となった。

- 【会 期】 2019年10月12日(土)～12月22日(日)
- 【開催日数】 59日
- 【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
- 【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社
- 【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送
- 【助 成】 芸術文化振興基金助成事業、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団
- 【協 力】 無人島プロダクション、株式会社MITAI

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク
日 時：10月12日(土) 14:00～14:45

みんなで作ろう! 黒部ダム曼荼羅
日 時：10月27日(日) 10:00～16:00
講 師：風間サチコ
対 象：小学校5年生以上
定 員：10名
参加料：1,000円(観覧券含む)

見て!感じて!作品鑑賞ツアー
黒部市美術館での作品鑑賞及び、風間さんが取材した黒部ダムを見学するバスツアー。
日 時：10月31日(木) 8:20～18:00
講 師：久保貴志(朝日町教育委員会事務局学芸員)、尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)
定 員：25名
参加料：3,200円(観覧券、電気バス代)
共 催：黒部市立中央公民館

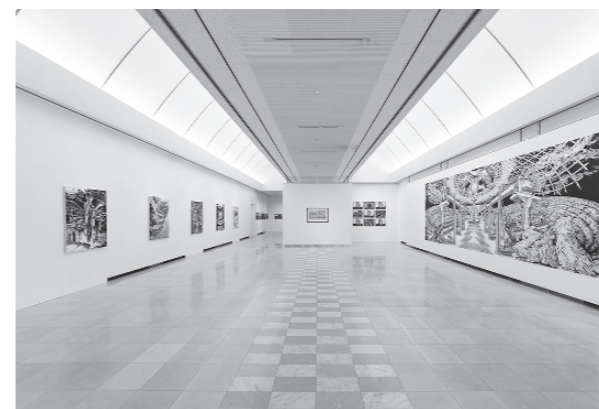
担当学芸員によるギャラリートーク
日 時：11月10日(日)、12月8日(日) 随時

【印刷物】

カタログB5 56ページ

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	クロベゴルト	2019	各130×91.5(6点)	木版画(和紙・油性インク・パネル・アルミ枠)
2	ゲートピアno.3	2019	60.5×91.5(額装作品) 60.5×91.5(版木)	木版画(和紙・油性インク・額・版木)
3	ディスリンピック2680	2018	242.4×640.5	木版画(和紙・油性インク)
4	ダイナマイトは創造の父	2002	「発破」各42×59.2(5点) 「ダム」「団地」「トンネル」 「ガスタンク」各42.2×59.4(4点)	木版画(和紙・墨・パネル)
5	ガソリンで見た夢	2001	各51.5×72.5(15点)	木版画(和紙・墨・パネル)
6	作品資料、スケッチ			
7	DAM(ふるさと)	2019	16×19	リノカット(和紙・油性インク)
8	DAM(発電所)	2019	23×16	リノカット(和紙・油性インク)
9	黒部ダム曼荼羅	2019	250×98	木版画(紙・油性インク)・ドローイング(ペン)



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

コレクション展

ひかりと風と、夜のあいだ



本展では当館が所蔵する日本の近現代版画作品より、「ひかり」「風」「夜」をキーワードに作品を紹介した。モノクロの中で見られる光の表現や、季節を感じられる風の表現、また夜という静かな時間の中で生まれる表現は、私たちに想像することの豊かさや内に秘めた繊細な感覚に改めて気づきを与えてくれる。様々な手法で表現された多彩な版画作品を展示した。



撮影：柳原良平

【会 期】2020年1月18日(土)～3月8日(日)
 【開催日数】42日
 【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
 【共 催】北日本新聞社
 【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

ステンドグラス教室 -冬の日かりを感じよう
 日 時：1月26日(日)
 1回目/10:00～12:00 2回目/13:30～15:30
 講 師：柳谷志ほ(ステンドグラス作家)
 定 員：各回8名 ※小学生以下の方は保護者同伴
 参加料：2,000円

銅版画教室 -奥深いモノクロの世界
 日 時：2月22日(土) 9:30～16:00
 講 師：谷あかり(銅版画家)
 定 員：10名
 参加料：2,000円

鉛筆デッサン教室 -光をとらえる2つの描法
 日 時：3月1日(日) 9:30～16:00
 講 師：安達博文(洋画家)
 定 員：15名
 参加料：2,000円



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	長谷川潔	玻璃球のある静物	1959	35.5×25.5	紙・銅版(マニエール・ノワール)
2	長谷川潔	コップに挿した種子草	1961	35.5×26.2	紙・銅版(マニエール・ノワール)
3	丹阿弥丹波子	さざんか92	1992	24.5×35.8	紙・銅版(メゾチント)
4	浜口陽三	緑のぶどう	1958	24.7×19.7	紙・銅版(メゾチント)
5	浜口陽三	22のさくらんぼ	1988	54.6×23.8	紙・銅版(メゾチント)
6	高慶敬子	蕨	2001	44.5×59.4	紙・銅版(メゾチント)
7	浜西勝則	Situation-work No.5	1985	50.0×60.0	紙・銅版(メゾチント)
8	清原啓子	絵画(Framed picture)	1979	28.7×21.3	紙・銅版(エッチング・アクアチント)
9	清原啓子	雨期	1980	51.8×42.1	紙・銅版(エッチング)
10	秀島由己男	風の舟A	1981	53.3×35.8	紙・銅版(メゾチント)
11	前田常作	瞑想への風景 杜の光	1978	39.0×35.0	紙・平版(リトグラフ)・銅版(エッチング)
12	中山隆右	光譜1-A	2002	60.0×60.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
13	門坂流	早朝の五竜岳	2007	24.6×17.3	紙・銅版(エンブレヴィング)
14	南桂子	夏の終わり(馬)	1988	42.5×35.0	紙・銅版(エッチング)
15	織田一磨	日本名山画譜 信州八ヶ嶽立科山	1934	38.8×53.0	紙・平版(リトグラフ)
16	織田一磨	日本名山画譜 雪の伯耆大山	1934	38.9×53.5	紙・平版(リトグラフ)
17	森岡完介	Beethoven at the beach -Message'86-10N	1986	70.0×105.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
18	森岡完介	Beethoven at the beach -Message'86-11P	1986	70.0×105.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
19	筆塚稔尚	風暦・5	1995	91.0×67.5	紙・木版・銅版(エッチング)
20	林孝彦	97-風紡-4	1997	67.7×99.0	紙・銅版(エッチング)
21	天野純治	VOICE OF WIND 98-SR-4	1998	120.0×80.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
22	藤田和十	風花	1996	70.5×49.5	紙・木版
23	前田藤四郎	薫風	1962	38.5×58.0	紙・木版
24	古谷博子	風の音	2001	90.0×61.0	紙・木版
25	住吉由佳子	月夜に徊す	2012	130.3×162.0	紙・木版
26	織田一磨	日本名山画譜 黒部峡谷宇奈月温泉夜景	1935	48.0×33.0	紙・平版(リトグラフ)
27	小野忠重	夜	1959	36.0×31.5	紙・木版
28	坂東壮一	星降る窓	1978	35.7×22.5	紙・銅版(エッチング・アクアチント)
29	深沢幸雄	月のマークのTシャツ	1993	59.4×36.1	紙・銅版(メゾチント・アクアチント・エッチング)3版カラー
30	萩原英雄	星月夜I	1979	60.0×45.0	紙・木版
31	吹田文明	星の標的	1970	92.0×72.0	紙・木版
32	白井昭子	Midnight Stars	1973	68.2×95.0	紙・銅版(エッチング・アクアチント)
33	山中現	The night piece IV	1985	67.0×97.0	紙・木版
34	清宮實文	5月の夜明け	1984	14.5×14.2	紙・木版
35	吉田博	マタホルン山 夜	1925	51.0×36.0	紙・木版
36	吉田博	マタホルン山	1925	51.0×36.0	紙・木版
37	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 1.こわれた家(やせはてた青春の思い出)	1957	8.6×10.5	紙・孔版(謄写版)
38	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 2.小さな世界	1957	11.7×9.5	紙・孔版(謄写版)
39	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 3.愛(異性)	1957	11.9×11.9	紙・孔版(謄写版)
40	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 4.海の生物	1957	10.4×6.7	紙・孔版(謄写版)

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
41	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 5. 建設	1957	11.6×12.2	紙・孔版(謄写版)
42	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 6. 小花の少女	1957	15.5×9.3	紙・孔版(謄写版)
43	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 7. いちじく	1957	12.0×14.5	紙・孔版(謄写版)
44	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 8. 枯木	1957	5.9×13.4	紙・孔版(謄写版)
45	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 9. 実(ヒマワリ)	1957	11.2×9.1	紙・孔版(謄写版)
46	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 10. 汽車の家	1957	7.5×11.7	紙・孔版(謄写版)
47	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 11. ふうせんと子供	1957	11.8×7.9	紙・孔版(謄写版)
48	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 12. 教会	1957	9.3×11.0	紙・孔版(謄写版)
49	福井良之助	『福井良之助孔版画集 第1集』より 13. 母子	1957	12.9×9.8	紙・孔版(謄写版)



2020年度 企画展 ①

ふるさと再考

—田中冬二と3人の作家たち—



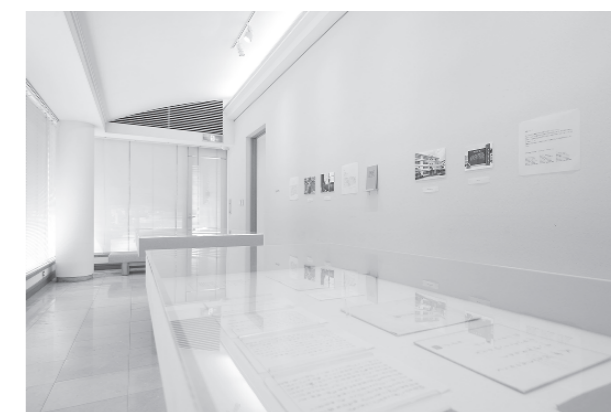
詩人 田中冬二(1894-1980)は福島県出身でありながら祖父母のいた富山県黒部市生地を“ふるさと”と呼び慕い、同地を舞台に多くの詩を残した。繊細で美しく、洗練された言葉によって紡ぎ出されるそれらの詩は、今なお新鮮な印象を私達に与える。本展では氏の詩作品や資料とともに現代に生きる3名の作家を紹介した。作家達はそれぞれ氏の姿を追うように、同地を訪れ作品を制作した。田中冬二の残した言葉を起点として、“ふるさと”の姿を多角的な視点で捉え、再考する機会となった。



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

【会 期】 2020年5月16日(土)～8月30日(日)

【開催日数】 91日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送【協 力】 黒部市立図書館、黒部市立図書館宇奈月館、
生地温泉たなかや

【出品リスト】

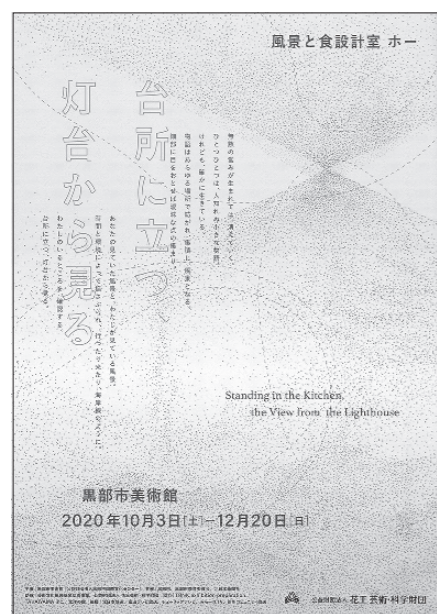
No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
1	Aaron Joseph Swards	Three houses, across river	2020	水彩
2	Aaron Joseph Swards	Long House, Bare tree	2020	水彩
3	Aaron Joseph Swards	Two houses and blue trees	2020	水彩
4	Aaron Joseph Swards	Six houses near ocean	2020	水彩
5	Aaron Joseph Swards	Two house walls	2020	水彩
6	Aaron Joseph Swards	Stone steps near ocean	2019	水彩
7	Aaron Joseph Swards	Grey walls near ocean	2020	水彩
8	Aaron Joseph Swards	Blue roof and stone	2020	水彩
9	Aaron Joseph Swards	Brown wall and Shadow	2019	水彩
10	Aaron Joseph Swards	Tall trees and low wall	2020	水彩
11	Aaron Joseph Swards	lighthouse, Ikuji	2019	水彩
12	Aaron Joseph Swards	Blossom(your hair...)	2019	水彩
13	Aaron Joseph Swards	Factory and grey road	2019	水彩
14	Aaron Joseph Swards	Onsen(the mountains...)	2020	水彩
15	Aaron Joseph Swards	Nine windows	2020	水彩
16	Aaron Joseph Swards	Three people working	2020	水彩
17	Aaron Joseph Swards	The Bathers	2020	水彩
18	Aaron Joseph Swards	Low hut	2020	水彩
19	Aaron Joseph Swards	Three roofs	2020	水彩
20	Aaron Joseph Swards	Four house and shadow	2020	水彩
21	Aaron Joseph Swards	Ikuji lighthouse	2020	水彩
22	Aaron Joseph Swards	Path and tree(ghosts are just...)	2020	水彩
23	Aaron Joseph Swards	Wall and roof(house,dark...)	2020	水彩
24	Aaron Joseph Swards	Two roofs	2020	水彩
25	Aaron Joseph Swards	Orange tree	2020	水彩
26	柏井裕香子	山のほころに雪	2013	ウール・寒冷紗・合成顔料・油性インク・真鍮
27	柏井裕香子	雲の中の燈火の色	2020	ブロード・織物接着芯・合成顔料・竹竿
28	柏井裕香子	それでカップも皿もスプーンも重い	2020	ブロード・織物接着芯・合成顔料・竹竿
29	柏井裕香子	砂丘の向うは海	2020	ブロード・織物接着芯・合成顔料・竹竿
30	柏井裕香子	黄昏に思う、桃とおしり	2013	ウール・寒冷紗・オーガンジー・ベルベット・刺繍糸・合成顔料・油性インク・竹竿
31	柏井裕香子	烏賊とラムネ壺	2020	ブロード・織物接着芯・オーガンジー・合成顔料・アクリル棒
32	オカサトシ	ぼくの心に宿る「呪い」は「ふるさと」です	2020	写真・コラージュ
33	オカサトシ	はげまされてもがんばれないだから・・そらける	2020	CD・プレーヤー・本
34	オカサトシ	ぼくはかくれていない	2020	写真・パネル
35	オカサトシ	狂気を知らない自分を知らない愛を知らない あなたを知らない	2020	写真
36	オカサトシ	ぼくはなしかけられなかった	2020	写真・パネル
37	オカサトシ	ニューヨークへ行ってもそこはバリではないし ハワイへ行ってもそこは黒部ではない サンクトペテルブルクは本当にマチュピチュではない そういう意味できみはぼくでないけれど ここは地球でしかない	2020	写真・パネル
38	オカサトシ	ふるさととはなれてみるとよくみえる	2020	写真・パネル
39	オカサトシ	「ふるさと」は「呪い」というより「祝福」でした 間違えました	2020	写真・パネル
40	オカサトシ	「今」に「ふるさと」が在り「今」が「ふるさと」に成る	2020	写真・パネル

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
41	オカサトシ	NOW/なう 上昇も下降もない「今」 比較する暇もない「今」ただ此処に開ける「今」	2020	色鉛筆・紙
42	オカサトシ	ふるさとなの 実存的ふるさと	2020	映像10分37秒 映像3分30秒
43	オカサトシ	NOW/なう	2020	色鉛筆・パネル

【資料】

No.	資料名	収蔵先等
1	田中冬二写真	個人蔵
2	ふるさと	個人蔵
3	黒部	個人蔵
4	郷愁	個人蔵
5	「走馬燈ふるさとびとの長話」色紙	個人蔵
6	『ふるさとの詩』くずの花の会	1977年・個人蔵
7	12編の詩 「くずの花」「ふるさとにて」「菩提樹のある村1.2」「越中へ」「宇奈月温泉」「親不知」 「故郷詩抄」「みぞれのする小さな町」「ふるさとの中橋の川には」「黒部温泉1.2」	個人蔵
8	「くずの花の会」短冊	個人蔵
9	「黒部」原稿	個人蔵
10	黒部	個人蔵
11	「父母」色紙	個人蔵
12	牛乳と新聞の朝霜しらく	個人蔵
13	手紙	生地温泉たなかや蔵
14	田中冬二写真 生地温泉たなかや詩碑前にて	個人蔵
15	田中冬二写真 黒部温泉にて	個人蔵
16	黒部市立鷹施中学校 外観写真	-
17	同校前庭の記念碑写真	-

風景と食設計室 ホー 台所に立つ、灯台から見る



風景と食設計室ホーは、東京都と富山県を拠点に活動する高岡友美と永森志希乃によるユニットである。「遠くの風景と、ひとときのスープ。世界とわたしの手のひらは繋がっている。」をコンセプトに、様々な風景・文化・社会と鑑賞者が、「食」を観点にして繋がるような作品を制作してきた。朗読と食事の公演やインスタレーション等による、その時その場所でしか体験できない作品及びその活動はますます注目を浴びている。本展では、黒部の山辺と海辺を中心に、かつての風景や人々の生活をリサーチし、そこから地続きにある現在の私たちの生を問うインスタレーションによる新作を発表した。



撮影：柳原良平

- 【会 期】 2020年10月3日(土)～12月20日(日)
- 【開催日数】 66日
- 【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
- 【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社
- 【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送
- 【助 成】 芸術文化振興基金助成事業、公益財団法人花王芸術・科学財団
- 【協 力】 TRNK exhibition preparation、TAKAIYAMA inc.、北洋の館、黒部市立図書館

【関連企画】

アーティストトークWeb配信
<https://www.youtube.com/watch?v=xKvWEKuABYm>

見て!感じて!作品鑑賞ツアー

本展の作品鑑賞と、作品のモデルとなった物語を知る体験ツアー、海辺の地域を巡る。

日 時：10月31日(土) 10:00～14:00

集合場所：黒部市美術館

ガイド：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)

定 員：15名

参加料：1,500円

共 催：黒部市立中央公民館

【印刷物】

カタログB5変形 56ページ

パンフレットB5 12ページ



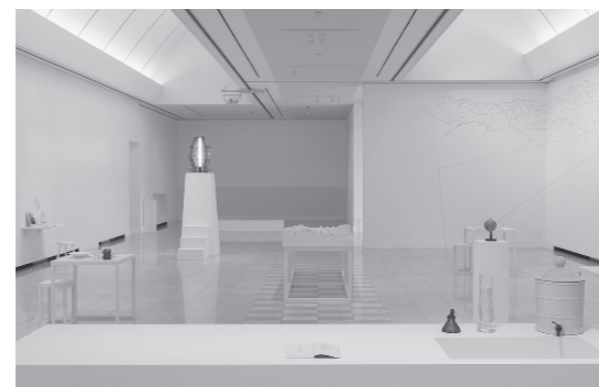
撮影：柳原良平

【出品リスト】(インスタレーション)

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
	台所に立つ、灯台から見る	2020	サイズ可変	

【詳細】

No.	オブジェクト名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	台所	2020	Kitchen 80×285×80・booklet 18×13・kitchenware 40×φ26(Tank)・12×φ10(bell)・29×φ10(pitcher)	冊子・調理器具・木・塗料
2	食事と朗読の記録	2020	映像45分	映像
3	衣装	2020	-	ポリエステル綿混・染料
4	台所に立つ、灯台から見る	2020	200×160×3	木製パネル・アクリル絵具・油性ペン
5	地形模型	2020	94×267×88	MDF・塗料
6	遠い国からの電話(87歳男性)	2020	Table 72×69×69・booklet 18×13・globe 24×φ10	食卓・冊子・地球儀
7	栃の実を拾う、免許はない(85歳女性)	2020	table 72×69×69・booklet 18×13・glass case 800ml	食卓・冊子・栃の実
8	地図をつくる(85歳男性)	2020	Table 72×69×69・booklet 18×13	食卓・冊子・紐・木炭
9	遠い北の島々で過ごした人たち(平均年齢84歳)	2020	table 72×69×69・booklet 18×13・glass case 800ml	食卓・冊子・昆布
10	北へ向かい続ける(71歳男性)	2020	Table 72×69×69・booklet 18×13・ship 4×15×4.5(15隻) steamship 34×94×14	食卓・冊子・船 石膏・蒸気船 FRP・ウレタン塗料
11	灯台	2020	240×70×145	フレネルレンズ・電球・木・塗料
12	琥珀糖	2020	1g	水・グラニュー糖・黒部の塩・寒天
13	生地鼻灯台前の海	2020	360×600	ライブ映像
14	台所に立つ、灯台から見る	2020	100×80×3	木製パネル・アクリル絵具・油性ペン
15	灯台守の机	2020	Desk 72×90×50・booklet 18×13・book 28×22×2・lanthanum 24×16×13	冊子・本(「West Coast Lighthouse」Jim Gibbs 著)・詩(「The Lighthouse」Henry Wadsworth Longfellow)・ランタン
16	資料室	-	-	-



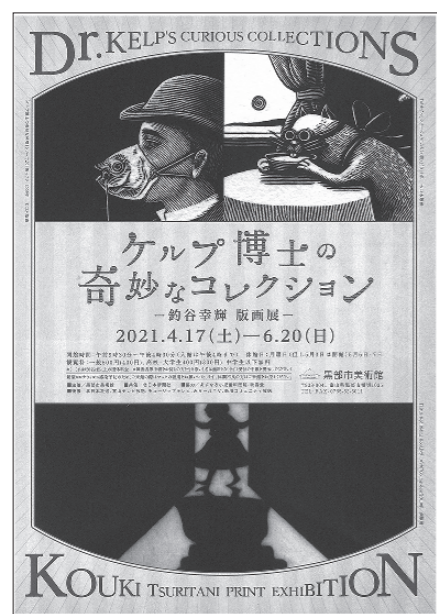
撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

ケルプ博士の奇妙なコレクション

—釣谷幸輝 版画展—



【会 期】2021年4月17日(土)～6月20日(日)
 【開催日数】55日
 【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
 【共 催】北日本新聞社
 【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
 みらーれTV、新川コミュニティ放送
 【協 力】あすなる小児歯科医院、映音堂、立山画廊

【印刷物】
 カタログA5 52ページ

本展は、版画家 釣谷幸輝による国内の美術館で初となる個展である。氏は銅版画のメゾチントやエッチング、木口木版といった版画の手法によりこれまで多くの作品を生み出してきた。豊かな創造性と西洋的な雰囲気があるこれらの作品は、伝統ある英国木口木版画協会展で協会海外部門賞を2度にわたり受賞するなど、これまで国内外において高い評価を得てきた。展覧会タイトルにもある氏の創造する架空の人物“ケルプ博士”の発明品とコレクションを軸として、釣谷氏の初期から代表作までこれまでの創作活動を総覧できるような展覧会となった。



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	魚帽子	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
2	海月傘	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
3	アンコウ靴	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
4	蛸気球	2009	9.0×7.0	WE・G・H-W
5	魚スプーン	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
6	猫ワナ	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
7	電気うなぎサスペンダー	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
8	魚マスク	2009	8.0×7.0	WE・G・H-W
9	烏賊ペン	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
10	鑑賞用ワカメ	2009	9.0×9.0	WE・G・H-W
11	カニでんわ	2010	9.0×9.0	WE・G・H-W
12	フグ型飛行船	2010	9.0×9.0	WE・G・H-W
13	コバンザメレター	2010	9.0×9.0	WE・G・H-W
14	ネコよけウニ	2010	9.0×9.0	WE・G・H-W
15	Little Red Riding Hood	2010	10.0×10.0	M・G・H-W
16	" Go, my dear "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
17	She met the Wolf.	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
18	" I'll go this way and you go that way. "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
19	She enjoyed making bouquets.	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
20	" Grandmamma will feel so much better. "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
21	He knocked at the door.	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
22	She took her time.	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
23	" Your grandchild, Little Red Riding Hood. "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
24	" Grandmamma, what big legs you have! "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
25	" Grandmamma, what big eyes you have! "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
26	" Grandmamma, what big teeth you have! "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
27	The woodcutter became concerned.	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
28	The woodcutter saw that wolf was lying in it.	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
29	" Thank you, Woodcutter. "	2010	10.5×14.8	M・G・H-W
30	『Little Red Riding Hood』版画集	-	-	-
31	影	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
32	猫の家	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
33	窓辺の女	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
34	迷宮	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
35	sleeping	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
36	A balloon	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
37	His Mountain	2008	14.0×14.0	M・G・H-W
38	夜ルの旅	2002	51.5×36.4	E・A・M・G・H-W
39	象ころがし	2002	51.5×36.4	E・A・M・G・H-W
40	女II	2003	51.5×36.4	I・H-NW
41	彼女の夢	2004	25.7×36.4	I・H-NW
42	眼差し	2005	84.1×59.4	I・H-NW
43	夢を見る男	2005	84.1×59.4	I・H-NW
44	実験	2005	25.7×18.2	M・G・H-W
45	観察	2005	25.7×18.2	M・G・H-W
46	少年とボール	2006	18.2×25.7	M・G・H-W
47	鏡	2006	25.7×18.2	M・G・H-W
48	異国の夜	2006	36.4×25.7	M・G・H-W
49	PULCINELLA	2006	25.0×20.0	M・G・H-W
50	FAUST	2006	21.5×40.0	M・G・H-W
51	Marguerite	2009	20.0×20.0	M・G・H-W
52	王女ヴィオレッタの肖像	2009	20.0×20.0	M・G・H-W

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
53	eclipse	2009	20.0×20.0	M・G・H-W
54	橋と飛行船	2013	20.0×20.0	M・G・H-W
55	箱の中の飛行機	2013	20.0×20.0	M・G・H-W
56	ようやく君に出会えた。	2013	20.0×20.0	M・G・H-W
57	月を拾うI	2013	20.0×20.0	M・G・H-W
58	鏡の国のアヒル	2014	20.0×20.0	M・G・H-W
59	冬のしごと	2014	20.0×20.0	M・G・H-W
60	予感	2015	20.0×20.0	M・G・H-W
61	月夜	2015	20.0×20.0	M・G・H-W
62	秋のしらせ	2015	20.0×20.0	M・G・H-W
63	馬と私	2016	20.0×20.0	M・G・H-W
64	紙の城	2017	20.0×20.0	M・G・H-W
65	Derby	2018	20.0×20.0	M・G・H-W
66	トロイの夢	2019	20.0×20.0	M・G・H-W
67	Children's Dream	2020	40.0×40.0	M・G・H-W
68	She has gone	2020	40.0×40.0	M・G・H-W
69	哲学者の眠り	2007	6.0×7.0	WE・G・H-W
70	鏡の国	2008	10.0×10.0	WE・G・H-W
71	A dream of Gulliver	2008	10.0×10.0	WE・G・H-W
72	Be Patient!	2011	10.0×10.0	WE・G・H-W
73	loop	2011	10.0×10.0	WE・G・H-W
74	An airplane in a box	2013	10.0×10.0	WE・G・H-W
75	彼女の願い	2015	11.0×10.0	WE・G・H-W
76	穴があつたら入りたい	2016	8.0×9.0	WE・G・H-W
77	紙の城	2017	11.0×14.0	WE・G・H-W
78	雲を掴む	2018	8.0×9.0	WE・G・H-W
79	Deep Sea	2019	19.5×10.0	WE・G・H-W
80	Curtain Fall II	2019	13.5×12.5	WE・G・H-W
81	猫の館	2019	12.5×19.0	WE・G・H-W
82	泡を出す人	2019	11.0×9.5	WE・G・H-W
83	海の底	2019	9.5×10.5	WE・G・H-W
84	満天の星	2019	29.8×14.2	WE・G・H-W
85	God only knows	2020	10.5×9.0	WE・G・H-W
86	我々は何処へ行くのか	2021	51.4×36.0	WE・G・H-W
87	少年と少女	2010	18.2×12.8	鉛筆画
88	ガムシャラ博士	2010	18.2×12.8	鉛筆画
89	3人の魔女	2010	18.2×12.8	鉛筆画
90	ミュータンス	2010	18.2×12.8	鉛筆画
91	プラーク大王	2010	18.2×12.8	鉛筆画
92	魔王	2010	18.2×12.8	鉛筆画
93	虹の女神	2010	18.2×12.8	鉛筆画
94	星の女神	2010	18.2×12.8	鉛筆画
95	月の女神	2010	18.2×12.8	鉛筆画
96	戦士	2011	18.2×12.8	鉛筆画
97	魔法使い	2011	18.2×12.8	鉛筆画
98	プリンセス	2011	18.2×12.8	鉛筆画
99	マダムムーン	2013	18.2×12.8	鉛筆画
100	Sleeping Sheep	2015	10.0×11.0	WE・G・H-W
101	羊の家	2017	11.0×13.0	WE・G・H-W

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
102	羊の輪くぐり	2017	12.0×9.0	WE・G・H-W
103	僕たちは羊雲のように	2017	10.0×12.0	WE・G・H-W
104	Rocking sheep	2017	11.0×11.0	WE・G・H-W
105	羊のおフロ	2017	12.0×10.0	WE・G・H-W
106	大きな僕と小さな僕	2017	10.5×9.0	WE・G・H-W
107	羊のピラミッド	2017	11.0×9.0	WE・G・H-W
108	羊のつなわたり	2017	9.0×11.0	WE・G・H-W
109	みんななかよし	2018	8.0×8.0	WE・G・H-W
110	遊戯	2004	18.2×12.8	M・E・G・H-W
111	Animal with wrinkle	2005	12.8×18.2	M・E・G・H-W
112	His dinner	2006	7.0×5.0	M・E・G・H-W
113	エスカルゴ氏の休息	2005	18.2×12.8	M・E・G・H-W
114	GANDA	2006	21.0×14.8	M・G・H-W
115	The Night	2006	21.0×14.8	M・G・H-W
116	The Magic	2006	21.0×14.8	M・G・H-W
117	Wishes	2006	21.0×14.8	M・G・H-W
118	gaNeza	2006	21.0×14.8	M・G・H-W
119	The trick	2007	21.0×14.8	M・G・H-W
120	Her dream	2007	21.0×14.8	M・G・H-W
121	猫のくわだて	2007	21.0×14.8	M・G・H-W
122	Flying	2007	21.0×14.8	M・G・H-W
123	Like an alien	2007	21.0×14.8	M・G・H-W
124	Labyrinth	2008	14.8×10.5	M・G・H-W
125	Last piece	2009	14.8×10.5	M・G・H-W
126	ラビット博士の計算	2010	14.8×10.5	M・G・H-W
127	夜譚	2011	14.8×10.5	M・G・H-W
128	forbidden fruit	2012	14.8×10.5	M・G・H-W
129	Watching is his delight	2013	14.8×10.5	M・G・H-W
130	It's time to sleep	2014	14.8×10.5	M・G・H-W
131	おサルの商売	2015	14.8×10.5	M・G・H-W
132	出会い	2016	14.8×10.5	M・G・H-W
133	犬も歩けば	2017	14.8×10.5	M・G・H-W
134	いのこ	2018	14.8×10.5	M・G・H-W
135	ネズミの相談	2019	14.8×10.5	M・G・H-W
136	王様の機嫌が悪くなければ	1999	40.0×20.0	A・D・H-W
137	記憶は煙となって飛んでいく	1999	40.0×20.0	A・D・H-W
138	子供の夢はいつ叶うか	2000	40.0×20.0	E・A・M・D・H-NW
139	ソクラテスの陰影	2000	40.0×20.0	E・A・M・D・H-NW
140	パラケルスの肖像	2000	40.0×20.0	E・A・H-NW
141	過去の夢	2000	40.0×20.0	E・A・H-NW
142	航路	2000	40.0×20.0	E・A・H-NW
143	天秤を持つ女	2001	40.0×20.0	E・A・H-NW
144	シモーネの楽師	2001	40.0×20.0	E・A・H-NW
145	思索にふけているのは頭でっかちの卵	2001	40.0×20.0	E・A・H-NW
146	予感	2002	40.0×20.0	M・A・G・H-W
147	夢	2003	40.0×20.0	M・G・H-W
148	水栽培する女	2003	80.0×40.0	I・H-NW
149	黒猫	2003	80.0×40.0	I・H-NW
150	ダンプティの実験	2003	80.0×40.0	I・H-NW

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法等
151	みるく(朝)	2011	10.0×9.0	WE・G・H-W
152	よ〜し	2011	10.0×9.0	WE・G・H-W
153	う〜ん	2011	10.0×9.0	WE・G・H-W
154	ほほほ〜ん	2011	10.5×11.0	WE・G・H-W
155	こんどこそ	2011	9.0×9.5	WE・G・H-W
156	ぎりぎりぎり	2011	9.0×10.0	WE・G・H-W
157	ごろごろごろ〜	2011	10.0×11.0	WE・G・H-W
158	ああ おねがい	2011	11.0×10.0	WE・G・H-W
159	くふふ	2011	11.0×10.0	WE・G・H-W
160	ふ〜っ	2011	10.0×9.0	WE・G・H-W
161	いつでも おうえん	2011	11.0×10.0	WE・G・H-W
162	みるく(夜)	2011	10.0×9.0	WE・G・H-W
163	おちゃ	2011	7.0×8.0	WE・G・H-W
164	くふふ	2013	9.0×9.5	WE・G・H-W
165	いらっしやい	2013	8.0×8.5	WE・G・H-W
166	おめでとう	2013	10.5×8.5	WE・G・H-W
167	ありがとう	2013	8.5×8.0	WE・G・H-W
168	No title	2013	8.0×9.5	WE・G・H-W
169	いただきます!	2013	10.0×10.5	WE・G・H-W
170	『ゴオグル&リボンちゃん』版画集	-	-	-
171	His dinner	2010	22.0×26.0×22.0	ゾートロープ
172	なわとび	2010	22.0×26.0×22.0	ゾートロープ
173	空中ブランコ	2010	22.0×26.0×22.0	ゾートロープ
174	珍獣(59点) 貝馬/夜蝶鳥/蛇腹尾/冬ぼっくり/猿殻/羊歯咲/灰毛/微睡羽/ ぼっくり亀/蓮花/キン鳥/天球虫/卷明神/さなぎ象/蜜吸/ 深海執事/冠獅子/雪もぐら/象球根/千里耳/とび使い/ べりかん木/羽ミンク/ガレリオトプス/牙みじんこ/ひよこ旅行/ 草いたち/駒キング/夢ねずみ/古代雲/岩花/まきつむ/岩霞/	-	-	-
232	筒鹿/ラッパ虫/月ベガサス/とび耳/めしべ蛸/まんじゅうイヌ/ 草羽二重/果樹株林/蜻蛉ぼん太/ハナゲシューベルト/ たまごふね/のっそり八脚/はっばプロペラ/カモ宅配/鼻公園/ 竜城/踊子蝶/一本角/四尾やぎ/くちばし入道/花ペロリ/ 綿毛天使/ヨロイネコ/夜かげろ/花咲泉/双葉うさぎ	-	-	-
233	けんきゅうのたし	2012	-	映像作品
234	ゴオグル	2012	-	映像作品
235	リボンちゃん	2010	-	映像作品

*備考

けんきゅうのたし、名嶋憲児、釣谷幸輝、山田詩音、2012
ゴオグル、名嶋憲児、釣谷幸輝、山田詩音、2012
リボンちゃん、作・絵/釣谷幸雄、映像/映音堂、六甲オルゴールミュージアム

*表記について

E=エッチング、A=アクアチント、M=メゾチント、WE=木口木版、I=インタリオ、D=ドライポイント、
G=雁皮刷り(もしくは雁皮紙)、H-NW=ハーネミュレ(ナチュラルホワイト)、H-W=ハーネミュレ(ホワイト)

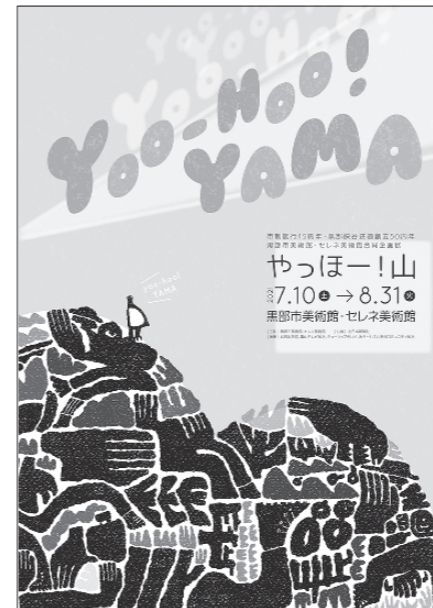
*No.87~99はあすなろ小児歯科医院蔵

2021年度 企画展 ②

市制施行15周年・黒部峡谷鉄道創立50周年

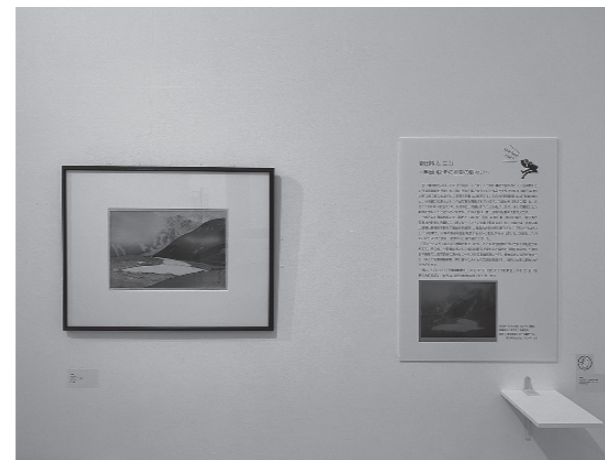
黒部市美術館・セレネ美術館合同企画展

やっほー!山



市制施行15周年・黒部峡谷鉄道創立50周年を記念して、黒部市美術館とセレネ美術館それぞれの収蔵作品から山に魅了された作家たちを紹介する展覧会を開催した。

初期の代表的な山岳書である『日本アルプス』の「表紙絵」や「扉絵」を描き、虫や雑草等の博物学的研究に熱中し登山を楽しんだ織田一磨、自ら「山党」と名乗り登山黎明期から山に挑み、数々の作品を残した吉田博、山の版画家として知られ、山の雑誌『アルプ』への寄稿等、出版物も多く手掛けた畦地梅太郎の版画作品を中心に紹介した。また、近代登山の幕開けに関連する資料や、黒部一帯を全国的に広めることに大きな役割を果たした博物学者の吉沢庄作の業績の一端を併せて展示した。



【会 期】2021年7月10日(土)~8月17日(火)

【開催日数】32日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]・セレネ美術館[黒部市宇奈月国際会館セレネ]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

上映&解説会+鼎談会

日 時：7月17日(土)

第一部/10:30~11:30 第二部/13:30~15:00

会 場：セレネ美術館 ホール

参加料：入場無料(展覧会の鑑賞は有料)

第一部：志水哲也映像作品「黒部」上映&解説会

志水哲也が、自ら操縦し撮影した黒部川流域のドローン映像を上映、解説。

第二部：鼎談会「近代登山と山の芸術」

山を愛し、自ら山に登った画家、版画家、文筆家、写真家たちの活動や、自身が受けた影響について、三者で語る。

出演者：辰野勇(モンベル会長、『岳人』編集長)、

志水哲也(登山家、写真家)、

眞壁陸二(現代美術家)

銅版画教室「枯れ葉を写してみよう -ソフトグランドエッチング」

日 時：7月18日(日) 10:00~16:00

講 師：玉分昭光(版画家)

対 象：中学生以上

定 員：6名

参加料：2,000円(展覧会観覧券含む)

水彩画教室「百合の花を描こう」

日 時：7月24日(土) 10:00~16:00

会 場：生地公民館1階会議室

講 師：安達博文(洋画家)

対 象：中学生以上

定 員：10名

参加料：2,000円(展覧会観覧券含む)

【地域連携企画】

「飲食店特典付きチラシ」を配布

参加店：魚の駅「生地」できたて館 航海灯、きっさ&ざっか ういんく、

ともだっち16、宇奈月麦酒館、カフェモーツァルト、

レストプラザ柏や、有磯きときと庵、焼肉七厘

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	吉田博	マタホルン山	1925	51×36	紙・木版
2	吉田博	マタホルン山 夜	1925	51×36	紙・木版
3	吉田博	グランドキャニオン	1925	24.7×37.2	紙・木版
4	吉田博	日本アルプス十二題 立山別山	1926	24.9×37.1	紙・木版
5	吉田博	日本アルプス十二題 黒部川	1926	37.4×25.1	紙・木版
6	織田一磨	日本名山画譜 黒部峡谷宇奈月温泉夜景	1935	47.6×33	紙・リトグラフ
7	織田一磨	日本名山画譜 富山県医王山からみた立山連峰	1935	33.3×48.3	紙・リトグラフ
8	織田一磨	日本名山画譜 飛騨高山見座沼からみた乗鞍ヶ岳	1935	38.6×53.8	紙・リトグラフ
9	織田一磨	日本名山画譜 信州八ヶ嶽立科山	1934	38.8×53	紙・リトグラフ
10	織田一磨	日本名山画譜 焼岳	1937	38.5×53.4	紙・リトグラフ
11	織田一磨	日本名山画譜 上高地ほだか嶽	1938	38.8×53.5	紙・リトグラフ
12	織田一磨	日本名山画譜 上高地徳沢からみたほだか山	1937	38.7×53.5	紙・リトグラフ
13	織田一磨	日本名山画譜 妙義山	1937	38.9×53.3	紙・リトグラフ
14	織田一磨	日本名山画譜 籠坂峠から富士あざみ咲く富士山	1934	38.9×53.3	紙・リトグラフ
15	織田一磨	日本名山画譜 箱根あしの湖	1937	38.7×53.2	紙・リトグラフ
16	織田一磨	日本名山画譜 筑波山春雨	1937	39.8×53.2	紙・リトグラフ
17	織田一磨	日本名山画譜 伊勢御在所岳	1936	39×53.4	紙・リトグラフ
18	織田一磨	日本名山画譜 西湖から見た富士山	1934	32.5×47.3	紙・リトグラフ
19	織田一磨	日本名山画譜 山梨県倉岳山から見た富士山遠望	1935	39.2×53.6	紙・リトグラフ
20	織田一磨	日本名山画譜 奈良三笠山	1936	38.8×53.1	紙・リトグラフ
21	織田一磨	日本名山画譜 河内金剛山	1936	52.3×38.7	紙・リトグラフ
22	織田一磨	日本名山画譜 雪の伯耆大山	1934	38.9×53.5	紙・リトグラフ
23	織田一磨	日本名山画譜 伯耆大山	1934	38.8×53.2	紙・リトグラフ
24	畦地梅太郎	浅間山	1941	29.9×45.2	紙・木版
25	畦地梅太郎	白い像	1958	69.2×44	紙・木版
26	畦地梅太郎	山男の像	1968	49.3×37.7	紙・木版
27	畦地梅太郎	宴のあと	1965	51.7×36.2	紙・木版
28	畦地梅太郎	凍土	1961	69×44.5	紙・木版
29	岩井新吉	黒部峡谷	1990	71.9×59.6	カンバス・油彩
30	炭田幸一	剣八峰	1951	115.8×90	カンバス・油彩
31	門坂流	早朝の五竜岳	2007	24.6×17.3	紙・銅版(エンブレイヴィング)
32	門坂流	黒部川(釣鐘)	2006	13.9×19.9	紙・銅版(エンブレイヴィング)
33	門坂流	剣岳残照	2007	22.5×33.5	紙・銅版(エンブレイヴィング)
34	門坂流	白馬 鱧ヶ岳	2007	13.8×19.8	紙・銅版(エンブレイヴィング)
35	門坂流	樺平	2006	23.8×17.8	紙・銅版(エンブレイヴィング)

【資料リスト】

No.	筆者名	資料名	制作年	サイズ(cm)	発行・收藏先等
1	吉田博	高山の美を語る	1931	18.5×13	実業之日本社・富山県立図書館蔵
2	志賀重昂	日本風景論第14版	1902	22.5×15	文武堂・[初版1894(M27)]
3	ウォルター・ウェストン	日本アルプス登山と探検	1933	19×13	梓書房・富山県立図書館蔵[原本:Walter Weston, "Mountaineering and Exploration in the Japanese Alps," John Murray, London, 1896]
4	志賀重昂	日本風景論	1902	15×10.5	株式会社岩波書店・個人蔵
5	大井冷光	天の一方より:大井冷光作品集大村歌子編	1997	21.5×15.5	桂書房・黒部市図書館蔵
6	-	破天荒なる我が社の計画・富山日報3面(複写)	1909/7/1	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
7	-	天の一方より2 愈々立山接待所開始・天の一方より3 剣山登攀談・富山日報3面(複写)	1909/7/29	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
8	-	天の一方より13 子兎を生捕る/接待所に救護を求む/洋画家吉田博君/室堂の夕陽・富山日報3面(複写)	1909/8/10	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
9	-	天の一方より18 七夕の日に女の登山/乱雲軍観戦記/けなげな女子軍・富山日報3面(複写)	1909/8/12	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
10	-	天の一方より22 団体引き上げ後の接待所/クサトリの精力/中学生の演説会/欧米高山の設備/十日の気象と登山者・富山日報3面(複写)	1909/8/15	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
11	-	天の一方より24 忽ちにして秋景色/瀕死の老人を救ふ/異例の登山者数・富山日報3面(複写)	1909/8/17	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
12	-	天の一方より32 油絵の大作完成す/今日の気候と気象・天の一方より33 岩魚釣に出発・富山日報3面(複写)	1909/8/25	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
13	-	立山の画は優賞・富山日報3面(複写)	1909/11/1	54×37.5	富山日報・富山県立図書館蔵
14	小杉復堂	東游日録	1912	24×14	玉井義信・富山県立図書館蔵
15	吉沢無外	僧嶽紀行(原稿)	1892	25.7×18	黒部市歴史民俗資料館蔵
16	吉沢無外	僧嶽紀行・日本山岳会 会報8月号	1943	25.5×18.2	黒部市歴史民俗資料館蔵
17	吉沢庄作	黒部方面より剣岳を経て立山に至る記(原稿)	1913頃か	23.5×18	黒部市歴史民俗資料館蔵
18	吉沢庄作	大正5年8月28日登山訂正図(スケッチ)	1916	16.8×50	黒部市歴史民俗資料館蔵
19	吉沢庄作	黒部遊覧	1922	15×10.5	富山県下新川郡役所・黒部市歴史民俗資料館蔵
20	吉沢庄作	黒部峡谷	1916	19×13	富山県下新川郡教育会・黒部市歴史民俗資料館蔵
21	吉沢庄作	立山	1925	18.5×13	北陸出版社・富山県[立山博物館]蔵
22	吉沢庄作	立山遊覧(原稿)	1922	24.5×18	黒部市歴史民俗資料館蔵
23	吉沢庄作	立山遊覧	1922	17×10	中田書店・富山県立図書館蔵
24	田部重治	日本アルプスと秩父巡礼	1920	18×10	北星堂・富山県立図書館蔵
25	小島烏水	日本アルプス第1巻	1910	23×16	前川文栄閣
26	小島烏水	日本アルプス第4巻	1915	23×16	前川文栄閣
27	-	立山室堂の内部・石崎光瑠氏撮影・山岳 第5年第2号	1910/7	24×16(書物サイズ)	日本山岳会・富山県[立山博物館]蔵
28	-	剣岳初登頂の記念写真・石崎光瑠撮影(デジタルデータ)	1909/7/24	-	安曇野市豊科近代美術館蔵
29	-	立山室堂より頂上を望む・富山日報附録	1909/9/5	27.5×39.5	富山日報・富山県[立山博物館]蔵
30	大井信勝(大井冷光)	立山案内	1908	19×13	清明堂書店・黒部市歴史民俗資料館蔵

No.	筆者名	資料名	制作年	サイズ(cm)	発行・収蔵先等
31	-	登山の注意	1917	22×15	日本山岳会・黒部市歴史民俗資料館蔵
32	吉沢庄作編纂	立山	1925	22×15.5	富山県・黒部市歴史民俗資料館蔵
33	-	日本北アルプス登山案内	1924	17.5×10	鉄道省・富山県[立山博物館]蔵
34	矢澤米三郎・河野齡蔵	日本アルプス登山案内	1923	16.5×10	岩波書店・富山県[立山博物館]蔵
35	-	日本北アルプス 白馬+燕+立山	1926	17×9.2 (閉じ)	名古屋鉄道局運輸課・富山県[立山博物館]蔵
36	-	天下の秘境黒部峡谷(リーフレット)	1926	18×11 (閉じ)	黒部保勝会・黒部市歴史民俗資料館蔵
37	-	黒部峡谷と宇奈月温泉(リーフレット)	1931	11×37	黒部鉄道株式会社・黒部市歴史民俗資料館蔵
38	-	最新実測 立山登山地図	1923	55×38	五日会・富山県[立山博物館]蔵
39	-	立山線の栞	1921	39.5×54	立山鉄道株式会社・富山県[立山博物館]蔵
40	-	黒部峡谷より立山連峰及び白馬行通概略図	1923	22.7×33.3	黒部保勝会・黒部市歴史民俗資料館蔵
41	-	越中立山・大阪毎日新聞日曜附録	1923	37.5×27 (閉じ)	大阪毎日新聞・富山県[立山博物館]蔵
42	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ牛小屋にて-昼食後の一服(写真)	1920/7/23 /14:45	55×72.5	富山県[立山博物館]蔵
43	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ愛用のテントの前で-鳳次郎とヒサ(南沢野営)(写真)	1920/7/23 /17:25	61×46	富山県[立山博物館]蔵
44	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ黒部川-徒渉する郁之助(写真)	1920/7/24 /9:40	37×46	富山県[立山博物館]蔵
45	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ浄土山忠魂碑にて-ヒサと郁之助(写真)	1920/7/27 /15:15	46×61	富山県[立山博物館]蔵
46	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ室堂山中腹にて-ヒサと郁之助(写真)	1920/7/27 /16:15	46×61	富山県[立山博物館]蔵
47	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ劔沢、平蔵谷出合にて-ヒサと郁之助(写真)	1920/7/29 /16:40	61×46	富山県[立山博物館]蔵
48	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻劔岳へ劔岳頂上のにぎわい(写真)	1920/7/30 /12:20	46×61	富山県[立山博物館]蔵
49	吉沢庄作	立山及大連華山植物目録	1913	24×17.5	黒部市歴史民俗資料館蔵
50	吉沢庄作	立山連峰産植物目録(4冊)(写真)	1917/1934	各25×18程度	黒部市歴史民俗資料館蔵
51	吉沢庄作	ユキグニミツバツツジ 採取場所:僧ヶ岳(植物標本、長井真隆・吉沢庄作植物コレクションより)	1951	40×27.5	富山市立科学博物館蔵
52	吉沢庄作	キクザキイチゲ 採取場所:僧ヶ岳(植物標本、長井真隆・吉沢庄作植物コレクションより)	1929	44×30	富山市立科学博物館蔵
53	吉沢庄作	ハクサンフウロ 採取場所:朝日岳(植物標本、長井真隆・吉沢庄作植物コレクションより)	1935	40×27.7	富山市立科学博物館蔵
54	吉沢庄作	ツクモグサ 採取場所:白馬岳(植物標本、長井真隆・吉沢庄作植物コレクションより)	1909	39.5×27.6	富山市立科学博物館蔵
55	吉沢庄作	チャボヤハズトウヒレン 採取場所:雪倉岳(植物標本、長井真隆・吉沢庄作植物コレクションより)	1935	44×30	富山市立科学博物館蔵
56	吉沢庄作	立山と青年(原稿)	1917	27×18.5	黒部市歴史民俗資料館蔵
57	-	学校登山/吉沢庄作写真資料より	年代不詳	9.4×13.7	黒部市歴史民俗資料館蔵

No.	筆者名	資料名	制作年	サイズ(cm)	発行・収蔵先等
58	吉沢庄作	国立公園候補地としての立山と黒部(1)~(4)(新聞切り抜き)	1931/1932頃か	各17.5×12程度	黒部市歴史民俗資料館蔵
59	吉沢庄作	国立公園候補地としての立山(原稿)	1931/1932頃か	26×18	黒部市歴史民俗資料館蔵
60	-	黒部保勝会 会則	1922	18.2×39.3	黒部保勝会・黒部市歴史民俗資料館蔵
61	-	集合写真/吉沢庄作写真資料より	年代不詳	14.6×11.5	黒部市歴史民俗資料館蔵
62	-	劔岳山頂/吉沢庄作写真資料より	年代不詳	15.2×11	黒部市歴史民俗資料館蔵
63	-	黒部川本流/吉沢庄作写真資料より	年代不詳	15.2×11	黒部市歴史民俗資料館蔵
64	-	劔岳/吉沢庄作写真資料より	年代不詳	13.5×11.5	黒部市歴史民俗資料館蔵
65	-	雄山山頂/吉沢庄作写真資料より	1913頃か	11×15.2	黒部市歴史民俗資料館蔵
66	-	文部省映画「黒部峡谷探検」(集合写真)/吉沢庄作写真資料より	1927	16.5×12	黒部市歴史民俗資料館蔵
67	-	吉沢庄作肖像/吉沢庄作写真資料より	年代不詳	7.5×11.3	黒部市歴史民俗資料館蔵
68	-	佐伯八郎の小屋/吉沢庄作写真資料より	1921頃か	10×7.5	黒部市歴史民俗資料館蔵
69	吉沢庄作	魚津中学校後方より東南望したる立山連山(スケッチ)	年代不詳	7.5×21	黒部市歴史民俗資料館蔵
70	吉沢庄作	富山市外西田地方より東望したる立山連山(スケッチ)	年代不詳	8.5×17.8	黒部市歴史民俗資料館蔵
71	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻鹿島槍から針ノ木へ冷池野営-テントとヒサ(写真)	1920/7/12 /16:00	46×61	富山県[立山博物館]蔵
72	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻鹿島槍から針ノ木へ雪のバルコニーにて(写真)	1920/7/14 /12:40	61×46	富山県[立山博物館]蔵
73	-	竹内鳳次郎とヒサ夫妻鹿島槍から針ノ木へ鳴沢岳より劔岳を望む-ヒサ(写真)	1920/7/14 /14:15	46×61	富山県[立山博物館]蔵
74	織田一磨	喰える雑草	1943	18.5×13.5	駈々堂
75	織田一磨	武蔵野の記録 自然科学と藝術	1944	26.3×19.5	挑林堂書房
76	-	「アルプ」1号~5号	1958	各21×15	創文社・富山県立図書館蔵



眞壁陸二

北方からの光／Northern Light

眞壁陸二(1971年、金沢市生まれ)は、自然の摂理や捉えることのできない全容に畏怖や憧れを抱きながら深遠な森を描いている。美術館やギャラリーでの発表の他、瀬戸内国際芸術祭(2010年男木島、2016年本島)や、奥能登国際芸術祭(2017年)等で大規模なインスタレーションを手掛けてきた。また、公共施設等のコミッションワーク等、絵画の内外の空間や環境を意識した制作活動を精力的に続けている。本展では、「北方からの光」シリーズに加え、2011年以降、活動拠点を金沢に戻し、風土への関心から制作された新シリーズ「雨あがり空のむこう」も併せて展示した。

【印刷物】

パンフレットB3変形十字折

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵先
1	北方からの光-sg	2020	65.2×53	キャンバスにカシュー漆・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
2	北方からの光-sa	2020	65.2×53	キャンバスにカシュー漆・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
3	北方からの光-C-R-d	2019	30×43.7	キャンバスにアクリリック	個人蔵
4	time and space-my	2019	65×53	キャンバスに油彩	個人蔵
5	話の話	2015	78×53	アッシュ紙に油彩	個人蔵
6	沈黙の森	2019	170×273	キャンバスに油彩	個人蔵
7	北方からの光-bw	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック	個人蔵
8	time and space-VO	2019	65.2×53	キャンバスに油彩	個人蔵
9	北方からの光-gb	2020	65.2×53	キャンバスにカシュー漆・アルミニウム箔	個人蔵
10	北方からの光-ss	2020	65.2×53	キャンバスにカシュー漆・アルミニウム箔	個人蔵
11	北方からの光-bl	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック	個人蔵
12	北方からの光-Lavender	2020	162×112	キャンバスに油彩	個人蔵
13	北方からの光-blue	2019	162×112	キャンバスに油彩	個人蔵
14	北方からの光-green	2019	162×112	キャンバスに油彩	個人蔵
15	time and space-blue forest	2019	130×97	キャンバスに油彩	個人蔵
16	time and space-green forest	2019	130×97	キャンバスに油彩	個人蔵
17	北方からの光-silver	2019	145×112	キャンバスに油彩	個人蔵
18	霧	2019	65×53	キャンバスにアクリリック	個人蔵
19	雨あがり空のむこう-OP	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
20	雨あがり空のむこう-VG	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
21	雨あがり空のむこう-PV	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
22	雨あがり空のむこう-WR	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
23	雨あがり空のむこう-TB	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
24	雨あがり空のむこう-BTG	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
25	雨あがり空のむこう-VB	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
26	雨あがり空のむこう-BWK	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
27	雨あがり空のむこう-GB	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
28	雨あがり空のむこう-SB	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
29	雨あがり空のむこう-TB	2020	65.2×53	キャンバスにアクリリック・アルミニウム箔・真鍮箔	個人蔵
30	クロノスとアイオンTGS	2020	91×91	キャンバスに油彩・アルミニウム箔	個人蔵



山下麻衣+小林直人 「蜃気楼か。」



山下麻衣+小林直人はビデオインスタレーションを中心にメディアを横断した制作を行い、国際的に活動しているアーティストユニットである。いわゆる一般的価値の代替案を探るような豊かなアイデアを、非経済的で非効率的、また労働のような行為を伴うユニークな手法等で実現し、世界との関係や社会の構造を再考してきた。その視点は、他者との共生、エコロジーの意識がますます必要とされる現在においてなお一層の示唆に富んでいる。

本展では、会期中に黒部の海岸に「∞」を蜃気楼で浮かび上がらせることに挑む屋外プロジェクト作品《infinity~mirage》(2021年)、山あいの限界集落で撮影されたパフォーマンスビデオ作品《人()自然》(2021年)等の新作を含め、美術館近隣の自然環境の下、自然と人とのゆらぐ境界について考察した。

【印刷物】

カタログB5 56ページ

【会 期】 2021年9月25日(土)～12月19日(日)

【開催日数】 72日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送

【助 成】 芸術文化振興基金助成事業、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人野村財団

【協 力】 魚津埋没林博物館、海の駅 蜃気楼、Takuro Someya Contemporary Art、魚津蜃気楼研究会、黒部市歴史民俗資料館

【関連企画】

【vol.1星編】 宇宙の中のインフィニティ

展示作品《infinity~mirage》に関連し、プラネタリウムドームで体感する蜃気楼の世界。

日 時：10月30日(土) 15:00～16:00

会 場：黒部市吉田科学館プラネタリウム

ガイド：中瀬公子(黒部市吉田科学館学芸員)、佐藤真樹(魚津埋没林博物館学芸員)、尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)

定 員：70名(当日販売、先着順)

参加料：大人300円、高校大学生150円、中学生以下無料

共 催：黒部市吉田科学館

【vol.2山編】 アート&サイエンスツアー

本展作品鑑賞と、展示作品《人()自然》の舞台となった富山県朝日町の大平地区周辺の歴史や植物を学ぶバスツアー。

日 時：11月7日(日) 10:30～17:00

集合場所：朝日町立埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN、黒部市美術館

ガイド：川端典子(朝日町立埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN学芸員)、尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)、他

定 員：10名

参加料：850円(施設入場料、保険料)

共 催：朝日町立埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN

【vol.3海編】 見て!感じて!作品鑑賞ツアー

本展作品鑑賞と、展示作品《infinity~mirage》のモチーフとなった蜃気楼と地域の海の生物を学ぶバスツアー。

日 時：11月26日(金) 12:15～17:00

集合場所：黒部市美術館

ガイド：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)、佐藤真樹(魚津埋没林博物館学芸員)、他

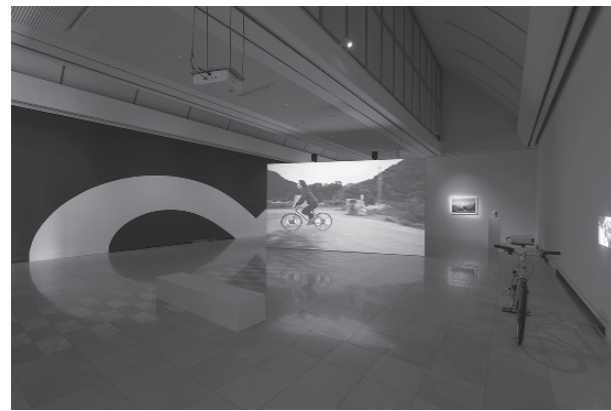
定 員：15名

参加料：1,820円(施設入場料)

共 催：黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	Release of mineral water	2004	サイズ可変・ 写真 190×128・ ビデオ 5分33秒	ビデオ・インクジェットプリント・ ウォーターサーバー(黒部川扇状地の地下水)
2	人()自然	2021	サイズ可変	4Kビデオ・ スライドプロジェクション(58枚、撮影:柳原良平)・ LEDホイールライト付き自転車
3	infinity	2006	ビデオ4分38秒	HDビデオ
4	How to make a mountain sculpture -Japanese Mountains 剣岳	2013	写真 58×87・ 木彫 27×15×16	ラムダプリント・木(白樺)
5	考える葦/考えない葦	2021	ビデオ 3分46秒	4Kビデオ
6	infinity~mirage	2021	サイズ可変・ 絵画 31.8×41・ m型看板 230×1410	ライブ配信映像・m型看板(生地海岸堤防)・ キャンバスにアクリル・テキスト・ ウォールドローイング・ウェブサイト



撮影:柳原良平



撮影:柳原良平



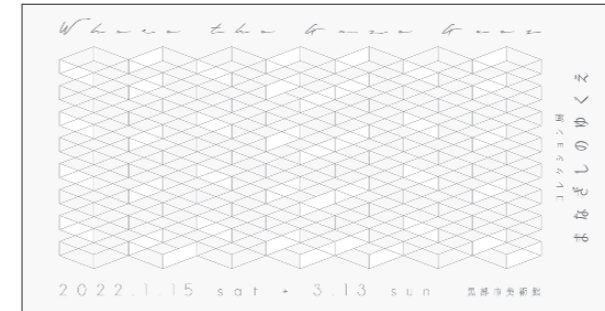
m型看板設置風景 撮影:柳原良平



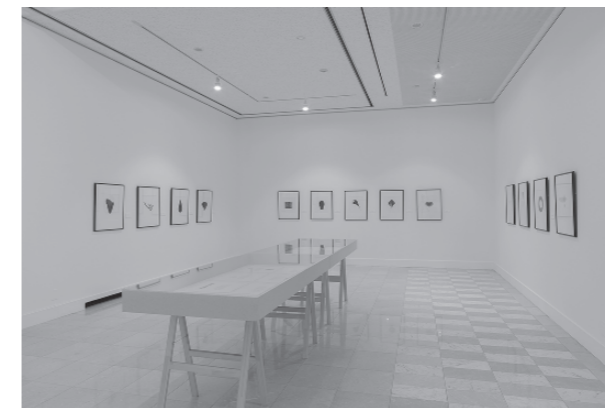
山下麻衣+小林直人 (infinity~mirage) 2021年、ライブ配信スチル (2021/11/13)

2021年度 企画展 ④

コレクション展 まなざしのゆくえ



当館の所蔵品より、「まなざし」をテーマに作品を紹介した。私たちが日常の中で出会う様々なものや情景を作家たちはどのような目でみつめていたのだろうか。植物・石ころ・詩・メロディ・冬の空など、身近な題材を取り上げた作品、詩と音楽に関わりのある作品、そして移りゆく季節の風景を描いた作品を通して、その「まなざしのゆくえ」を探る。版画作品を中心に詩文集などを展示した。



撮影:柳原良平

【会 期】 2022年1月15日(土)～3月13日(日)

【開催日数】 50日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

海辺のスヴェニール -石に絵を描こう-

日 時: 会期中、常時開催

参加料: 1個100円



撮影:柳原良平

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	丹阿弥丹波子	さざんか92	1992	24.5×35.8	紙・銅版(メゾチント)
2	丹阿弥丹波子	花75(アルシュ92)	1975	29.3×35.8	紙・銅版(メゾチント)
3	浜口陽三	緑のぶどう	1958	24.7×19.7	紙・銅版(メゾチント)
4	浜口陽三	22のさくらんぼ	1988	54.6×23.8	紙・銅版(メゾチント)
5	若山八十氏	石たち	1966	36.0×48.0	紙・孔版(謄写版)
6	野田哲也	Diary Dec 18th 91	1991	50.0×36.5	紙・木版・孔版(シルクスクリーン)
7	野田哲也	Diary, Aug. 1976 (B)	1976	65.5×45.0	紙・木版・孔版(シルクスクリーン)
8	中東剛	田園圃	2002	58.0×58.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
9	池田満寿夫	色の中の婦人	1960	18.2×15.9	紙・銅版(ドライポイント・アクアチント)
10	駒井哲郎	時間の迷路	1952	24.2×22.4	紙・銅版(アクアチント・エッチング)
11	森岡完介	Beethoven at the beach -Message'86-10N	1986	70.0×105.0	紙・孔版(シルクスクリーン)
12	浜田知明	愛の唄	1957	20.0×19.5	紙・銅版(エッチング)
13	二見彰一	青のトリオ	1990	22.3×29.1	紙・銅版(アクアチント)
14	二見彰一	浮ぶ花(1)	1983	30.4×23.5	紙・銅版(アクアチント)
15	清原啓子	詩人・クセノファネス	1981	54.3×33.4	紙・銅版(エッチング)
16	恩地孝四郎	たあいもないロマンス	1949	29.0×20.0	紙・木版・マルチブロック
17	恩地孝四郎	Poème No.15 過去	1950	44.1×34.3	紙・マルチブロック
18	福井良之助	枯木	1959	36.1×24.0	紙・孔版(謄写版)・銅版
19	南桂子	冬	1965	33.4×22.8	紙・銅版(エッチング)
20	南桂子	冬(鶴)	1987	42.5×35.5	紙・銅版(エッチング)
21	斎藤清	会津の冬(111)柳津	1995	47.0×60.5	紙・木版
22	古谷博子	冬の音	1995	77.0×82.0	紙・木版
23	岩井新吉	雪の朝	1938	33.3×24.2	キャンバス・油彩
24	岩井新吉	白い花の咲く頃	1963	145.5×97.0	キャンバス・油彩
25	柄澤齊	詩画集 植物の睡眠 (詩/岡田隆彦、版画/柄澤齊)	1996	40.0×35.0	紙・木口木版

2022年度 企画展 ①

Kurobe Art Research vol.1

富山県三 木とめぐり、つづく道



富山県三は、1970年代中頃以降の目覚ましい活動が県内外の公募展で高く評価され、また「選ばれた俊英15人展」や「ART IN FRONT 'TOYAMA」等、第一線で活動する作家の作品を紹介してきた県内の展覧会に出品するなど、当時、地域で芽吹いていた新たな動向の渦中で着実に成長を遂げてきた。

素材そのものに強い関心を持ち、主に木材の質に寄り添った彫刻やインスタレーション作品を制作している。また、大地に根付いた木々に様々な形や用途が与えられていく「変容」に心を寄せ、一部の作品もまたその「めぐり」の過程に存在させてきた。

本展では、現存するこれまでの彫刻等作品、写真等資料、あるいは私的な創作から活動を体系的に俯瞰し、作家の精神や思想に触れる機会とした。

【会 期】 2022年4月16日(土)～6月26日(日)

【開催日数】 62日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送

【協 力】 生地公民館、生地小学校、黒部市民会館

【印刷物】

カタログB5 42ページ



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵先・備考
1	無題(室内装飾のために作られたもの)	1998頃	167×104×29	木(ケヤキ)	
2	無題(ランプシェードになりかけたもの)	2000頃	60×55×55	イチョウの枝	
3	おらのかくれが	2022	13×24×7.5	木(クス)	
4	新しい希望	1974	72×51.5×59	木白・鉄	
5	木 81-2	1981	157.5×60×42	木(カツラ)・鉄	
6	木シリーズ	1981頃	156×52.5×42	木(カツラ)・鉄	
7	合意 83-5/木-限界からの出発No.5	1983	210×70×32	木(セイヨウホウ)	生地公民館蔵
8	意 82-4/限界からの出発 83-2	1982	174×175×38	木(マツ)・鉄	
9	作品 8-5/木 80-5/木 80-8	1980	162.5×43×20	木(セン)・鉄	黒部市民会館蔵
10	限界からの出発シリーズ	1985頃	56×90×48	木	
11	意 83-4/木-限界からの出発No.6	1983	187.5×60×30	木(セイヨウホウ)	生地公民館蔵
12	詩の通りみち'88	1985頃か	260×60×60	木(マツ)・砥粉	生地小学校蔵
13	Mr.Happyのひとりごと-1	1995	150×120×60	木(御影の廃屋にあったこけら板(栗や杉の廃材))・ベニヤ合板・ボルト	
14	Mr. HappyのHappyな時間-1	1995	152×78×84	木(御影の廃屋にあったこけら板(栗や杉の廃材))・ベニヤ合板・ボルト	
15	おらのかくれが 94-5	1994	高さ210、幅・奥行き可変	木(セイヨウホウ)・合板・イチョウの枝・オイルステイン・砥粉	
16	おらのかくれが	2011頃か	25×17×6	木(ヒノキ)	
17	おらのかくれが	2022	28×8×8	木(ケヤキ)	
18	みちくさのひろいもの	2020頃	24.5×32×8.5	薪ストーブの鉄の欠片・木(廃材)	
19	タチツテト/みちくさのひろいもの	2019	38.5×26×22.5	鉄工所でひろった鉄・木(廃材)	
20	みちくさのひろいもの	2020頃	29×20×10.5	ひろった木・高岡の工場でもらったアルミ	
21	みちくさのひろいもの	2021頃	23.5×5×6	友人の友人からめぐるってきた木	
22	みちくさのひろいもの	2019頃	27×17×9	人からもらった材木にまじっていた木・高岡の工場でもらったアルミ	
23	みちくさのひろいもの	2019	45.5×17×11	薪の中からひろった木	
24	みちくさのひろいもの	2010頃	高さ34.5、幅・奥行き可変	チェーンソーの歯・薪の中からひろった木	
25	みちくさのひろいもの	2010頃	高さ37.5、幅・奥行き可変	チェーンソーの歯・木	
26	みちくさのひろいもの	2019頃	21×11×9.5	薪の中からひろった木	
27	みちくさのひろいもの	2011頃	44.5×16×14.5	ビッケル・木	
28	みちくさのひろいもの	2020頃	25×13×13	薪の中からひろった木・1993年頃に下山芸術の森発電所美術館の前身施設の解体後の掃除をした時に拾った歯車	
29	みちくさのひろいもの	2021頃	27.5×6×10	薪の中からひろった木	
30	みちくさのひろいもの	2021頃	39.5×10.5×10.5	薪の中からひろった木・高岡の工場でもらったアルミ	
31	無題(アトリエの壁)	2022	121.5×166×14	木(廃材)・道具等	
32	みちくさのひろいもの	2021	57×62.5×36	木(廃材)・使い終わった道具	
33	木 2013-1	2013頃	31×8.8×8.5	自然に穴の開いた木・アクリルペイント	
34	木 2013-2	2013頃	26×8.5×8.5	自然に穴の開いた木・アクリルペイント	
35	木 81-10	1981	45.5×38.5×4.3	木(セン)・和紙	
36	みちくさのひろいもの	2019頃	21×48×3.5	アトリエ周辺でひろった木・高岡の工場でもらったアルミ	

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵先・備考
37	みちくさのひろいもの	1995～2000頃か	22.5×28×4.5		1993年頃に下山芸術の森発電所美術館の前身施設の解体後の掃除をした時拾った鉄板・木(廃材)
38	おらのかくれが	1998頃	56×19×33	イチョウの枝・木(廃材)	
39	おらのかくれが	1998頃か	57×11×4	イチョウの枝	
40	おらのかくれが	1998頃か	83×32.5×12.5	イチョウの枝	
41	おらのかくれが 砧	1999頃	80×50×4.5	アトリエにあった古い砧・イチョウの枝	
42	おらのかくれが 95-3	1995	162×23×23	木(ケヤキ)	黒部市美術館蔵
43	おらのかくれがシリーズ	2015頃	40×61.5×26	木(クス)・イチョウの枝・エマルジョンペイント	
44	おらのかくれがシリーズ	2015頃	50×45×28	木(クス)・イチョウの枝・エマルジョンペイント	
45	おらのかくれが	2010頃	73.5×35×13.5	アトリエにあった古い砧・イチョウの枝・エマルジョンペイント	
46	無題(木白を利用した机とイス)	不明	50×90×72 各41×30×30程度	木白・木(ケヤキ、クス等)	
47	妖精たちの遊び場	2022	サイズ可変	古い梯子・民具・イチョウの枝(別の作品に使用されていたもの)・エマルジョンペイント	

【資料リスト】

No.	媒体	年	備考
1	記録写真	-	アトリエの制作機と道具棚の風景(撮影:柳原良平)
2	記録写真	-	アトリエ横のイチョウの木の風景(撮影:柳原良平)
3	記録写真	1985	〈限界からの出発〉「富山県三展」(新桜町ギャラリー・富山)での展示風景
4	記録写真	1986	〈折り〉「'86富山の美術」(富山県立近代美術館)での展示風景
5	記録写真	1988	〈8-7=おらのかくれが〉「'88富山の美術」(富山県立近代美術館)での展示風景
6	記録写真	1990	〈おらのかくれが〉「富山県三・松田一戯展」(ギャラリー白・大阪)での展示風景
7	記録写真	1993	〈おらのかくれが-View Level-〉「アートイベント'93-解体から再生へ」(下山芸術の森・富山)での展示風景
8	記録写真	1995	〈Mr.Happyの憂鬱〉「富山県三展、木-そのいとおしきもの」(下山芸術の森発電所美術館)での展示風景
9	記録写真	1998	〈マリーニから森へ〉「城南公園フェスティバル'98」(城南公園・富山)での展示風景
10	記録写真	2015	〈トレチトテン〉「太閤山ピエンナーレ富山の芸術家たちの今」(県民公園太閤山ランド・富山)での展示風景
11	記録写真	1977	〈雫〉「第23回一陽展」(上野公園都美術館)で特待賞受賞
12	記録写真	1978	〈そこに何かが〉「第24回一陽展」(東京都美術館)で青麦賞受賞
13	記録写真	1979	〈木 79-6〉他1点「'79選ばれた俊英15人展」(高岡市美術館)での展示風景
14	記録写真	1981	左〈意 81-2/限界からの出発〉、右〈支 81-3〉「第27回一陽展」(東京都美術館)で〈支 81-3〉は会友賞受賞
15	記録写真	1983	「木とのかかわり 富山県三彫刻展」(文藝春秋画廊・東京)での初個展の外観
16	記録写真	1984	〈限界からの出発No.5〉「宮野運動公園 野外彫刻展」(宮野運動公園・富山)での展示風景
17	記録写真	1984	〈限界からの出発No.6/限界からの出発 84-5〉「'84とやまの作家展」(高岡市立美術館)での展示風景

No.	媒体	年	備考
18	記録写真	1985	〈木 85-5/限界からの出発85-5〉「'85とやまの作家展」(高岡市立美術館)での展示風景
19	展覧会案内状	1984	「木とのかかわり 富山省三彫刻展」(富山県民会館)、紹介文:小川正隆
20	記録写真	1985	〈木 85-2〉「第3回吉原治良美術コンクール」(大阪府立現代美術センター)への出品作品
21	記録写真	1985	〈限界からの出発〉「富山省三個展」(新桜町ギャラリー・富山)での展示風景
22	展覧会案内状	1985	「富山省三個展」(新桜町ギャラリー・富山)、紹介文:津山昌
23	展覧会リーフレット	1985	「ART IN FRONT 'TOYAMA」(砺波市文化会館)
24	記録写真	1986	〈祈り〉「'86富山の美術」(富山県立近代美術館)での展示風景
25	記録写真	1986	〈祈り〉制作風景
26	記録写真	1987	〈木 87 おらのかくれが〉「富山省三展」(秋山画廊・東京)での展示風景
27	展覧会案内状	1987	「富山省三展」(秋山画廊・東京)
28	展覧会リーフレット	1988	「富山省三展」(ギャラリー白・大阪)、紹介文:鳥敦彦、 掲載写真:〈8-7=おらのかくれが〉「'88富山の美術」(富山県立近代美術館)での展示風景
29	展覧会案内状	1988	「富山省三展」(新桜町ギャラリー・富山)
30	記録写真	1989	〈おらのかくれが〉「富山省三展」(秋山画廊・東京)での展示風景
31	記録写真	1990	〈おらのかくれが〉「第1回現代彫刻とやま」(松村外次郎記念町立庄川美術館)での展示風景
32	クライアントワーク記録写真	1990	シティーホテル・ニチマ倶楽部の内装風景
33	クライアントワーク記録写真	1991	〈限界からの出発'91〉富山県砺波警察署前にモニュメント設置
34	クライアントワーク記録写真	1993	富山県黒部青少年の家に「カリヨンの塔」を設置
35	北日本新聞記事13面	1995年 8月21日	「木・そのいとおしきもの 富山省三展」(下山芸術の森発電所美術館)での展示風景、 紹介文:長縄宣
36	記録写真	1995	〈おらのかくれが-View Level 95-1〉 「'95 びわこ現代造形展」(大津港イベント広場・滋賀)での展示風景
37	記録写真	1997	〈おらのかくれが〉「水と造形 '97おらのかくれが-カラーレの水辺」 (黒部市国際文化センターカラーレ)での夜間展示風景
38	展覧会印刷物	1997	〈Mr. Happy 憂鬱・樹・木・奇〉「アートギャラリーin婦中'97(GONIN展)」 (安田城址 歴史の公園・富山)での展示風景
39	記録写真	1999	〈おらのかくれが閑乗寺'99〉「いなみ国際木彫りキャンプ'99」 (井波町閑乗寺公園・富山)での展示風景
40	記録写真	2008	〈タイトル不詳(ロックとそら豆シリーズか)〉 「NATSUBAE・夏映-岩瀬に集う」(旧馬場家・富山)での展示風景
41	記録写真	2015	〈おらのかくれが〉「こぶし記」(毛利武士郎記念館シーラカンス・富山)での展示風景
42	旅の記録写真	2012	六郎君とペルーの旅、ワイナピチュ山、マチュピチュ遺跡
43	旅の記録写真	2016	○郎君とネパール・カトマンズの旅、郊外の古都
44	旅の記録写真	2016	八郎君とスイスの旅、マッターホルン山
45	旅の記録写真	2017	八郎君と北イタリアの旅、世界遺産ドロミテのトレチーメ
46	旅の記録写真	2008	二郎君と南イタリアの旅、サロモネの風景、ポンペイ遺跡
47	旅の記録写真	2015	八郎君とカンボジアとベトナムの旅、世界遺産タ・プローム(ガジュマルが侵食する遺跡)
48	旅の記録写真	2022年3月	八郎君やC君とアトリエ付近の冬山散策
49	旅の記録写真	2014	八郎君と四国の旅、四国巡礼
50	旅の記録写真	2014	○郎君と島根県の旅、西ノ島 通天橋
51	山のスケッチ3点(ハガキ)	-	-
52	記録写真	-	アトリエの制作機とつくりかけの作品の風景(撮影:柳原良平)
53	記録写真	-	廃材を利用したアトリエの壁の風景(撮影:柳原良平)
54	記録写真	-	廃材を利用したアトリエの壁の風景(撮影:柳原良平)
55	マケット	-	〈詩の通りみち'88〉マケット
56	マケット	-	〈詩の通りみち'88〉マケット
57	-	-	アトリエにあった作品になる前の木材4点

2022年度 企画展 ②

永田萌 ー夢みるチカラ展



「カラーインクの魔術師」と称され、イラストレーター、絵本作家として活躍する永田萌(兵庫県加西市生まれ、京都市在住)。愛くるしい妖精や花々が色とりどりの画面から語りかけるような心温まる作品は、世代や国境を越え、多くの人びとを魅了してきた。1978年に出版した初めての絵本『もえと妖精たち』以来、絵本やエッセイなど著書は170冊余となり、まもなく画業50年を迎える現在も精力的に活躍している。本展ではイラストレーションを中心に、絵本原画や絵画作品など夢と色彩あふれるモエ・ワールドを紹介した。



撮影:柳原良平



撮影:柳原良平

【会 期】2022年7月16日(土)～8月28日(日)

【開催日数】36日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】射水市大島絵本館、黒部市立図書館、北日本放送、
富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、
新川コミュニティ放送

【企画協力】株式会社 妖精村

【関連企画】

永田萌 サイン会

日 時:7月23日(土) 14:00～

定 員:40名

永田萌 講演会「夢みる力」

日 時:7月24日(日) 13:30～14:45頃(開場13:00)

会 場:黒部市国際文化センターカラーレ

定 員:100名

永田萌 サイン会

日 時:7月24日(日) 15:00～

会 場:黒部市国際文化センターカラーレ

定 員:40名

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	スイートピーだより	1996	紙・カラーインク
2	あじさい色の雨あがり	2006	紙・カラーインク
3	なかよく雨やどり	1993	紙・カラーインク

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	材質・技法
4	アリスといっしょにお茶会へ	2010	紙・カラーインク
5	かもめの水兵さん	2004	紙・カラーインク
6	きつねの嫁入り	2004	紙・カラーインク
7	ゴールはどっち?	2002	紙・カラーインク
8	木の葉が色づく頃	1985	紙・カラーインク
9	いそいで冬じたく	1985	紙・カラーインク
10	港街幻想	1996	紙・カラーインク
11	地球を守る子どもたち	1997	紙・カラーインク
12	白いらくがき	1978	紙・カラーインク
13	花の協奏曲	1998	紙・カラーインク
14	桜月夜に	2012	紙・カラーインク
15	花ざかりのりんご	1999	紙・カラーインク
16	ひなたぼっこねこ	1988	紙・カラーインク
17	六月の白い香り花	2007	紙・カラーインク
18	つゆくさの丘	2002	紙・カラーインク
19	こねこの冒険	1988	紙・カラーインク
20	夜に語る花	2002	紙・カラーインク
21	銀朱色の夏	2000	紙・カラーインク
22	ひまわり畑で	1989	紙・カラーインク
23	とんがりぼうし	2007	紙・カラーインク
24	笑顔でおでむかえ	2005	紙・カラーインク
25	キンモクセイの香る頃	2001	紙・カラーインク
26	さざんか抄	2001	紙・カラーインク
27	小さなえ	1978	紙・カラーインク
28	こすもす色の願いごと	1989	紙・カラーインク
29	ミモザの森で	2011	紙・アクリル絵具
30	春恋の花	2010	紙・アクリル絵具
31	春の贈りもの	2011	紙・アクリル絵具
32	まどろみの午後	2011	紙・アクリル絵具
33	森の風韻	2012	紙・アクリル絵具
34	初夏の旅立ち	2012	紙・アクリル絵具
35	風の翼	2012	紙・アクリル絵具
36	サンクチュアリ	2012	紙・アクリル絵具
37	星におやすみ	2012	紙・アクリル絵具
38	明日への手紙	2011	紙・アクリル絵具
39	夕焼け色のコンチェルト	2011	紙・アクリル絵具
40	時のはざま	2011	紙・アクリル絵具
41	喜びの朝	2012	紙・アクリル絵具
42	雲の海	2022	キャンバス・アクリル絵具

絵本

- 『クリコさんと笑わないクマ』より6点
- 『おやゆびひめ』より8点
- 『しらゆきひめ』より1点
- 『オズの魔法使い』より1点
- 『ジャングルブック』より1点
- 『うみのいろのパケツ』より10点
- 『かぐやひめ』より8点

2022年度 企画展 ③

小林耕平 テレポーターション



小林耕平は、非人称的でミニマルなモノクロ映像作品を起点として、2007年頃には、空間に配置するオブジェクトや日用品、自身が出演する映像等に表現を展開させる。そして、モノや事象の関係性やその認識についての世界観を問い直し、変革を与えるような取り組みを行ってきた。それは、映像を撮影者に委ねる姿勢、他者の思考に応答する手法、対話者と問答するデモンストレーションにも表れており、作家主体の認識や問いをもずらしつつ、思考の領域を拡張させてきた。

本展では、切り離し、移動し、再度接続するという、概念的なテレポーターションを通してモノや意味の交換について考察した。地域の風景や文化を題材として制作された作品は、民俗学者の折口信夫のいう「類化性能」という類推能力を足掛かりとして「観光案内」と「造形指南」をパラレルに提示する。その二つの観点を行き来する過程で起こるアクシデントやエラーを取り込み、内容はさらに多面化していく。絵画のこと、地域のこと、世界のこと、外側のこと、そのアナロジーにまつわる広域的なイメージを旅するような展覧会を目指した。



撮影：大西正一

- 【会 期】 2022年9月23日(金・祝)～12月18日(日)
- 【開催日数】 72日
- 【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
- 【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社
- 【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらいTV、新川コミュニティ放送
- 【協 賛】 ANOMALY
- 【助 成】 公益財団法人花王芸術・科学財団
- 【協 力】 ANOMALY、ARTISTS'GUILD、須原額縁製作所

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク
日 時：9月23日(金) 14:00～14:45

見て!感じて!作品鑑賞ツアー

本展作品鑑賞と、展示作品《テレポーターション》のモチーフの一つである不動堂遺跡見学と縄文時代の植物と自然素材の編み物体験バスツアー。

日 時：10月15日(土)
集合場所：黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」、黒部市美術館

集合時間：9:45/黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」、10:20/黒部市美術館

ガイド：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)、川端典子(朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶんKAN学芸員)

定 員：15名
参加料：2,000円(入館料、昼食代、材料費)
共 催：黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」

小林耕平「テレポーターション」に関する対談

日 時：10月27日(木) 18:15～19:45
場 所：富山大学高岡キャンパス講堂
講 師：三輪健仁(東京国立近代美術館美術課長)、小林耕平
コーディネーター：松田愛(富山大学芸術文化学部講師)
主 催：富山大学芸術文化学部 松田研究室

とみだい☆べけべけアートショップ

「テレポーターションしようぜっ!〜クイズでたのしむしゅんかんいどう」
日 時：11月12日(土)
午前の部/10:00～12:00 午後の部/13:00～15:00

定 員：各部10名
対 象：小学校1年生～6年生
後 援：黒部市教育委員会
企画・運営：富山大学教育学部 隅研究室

【印刷物】

カタログB5変形 64ページ

【出品リスト】(インスタレーション)

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法等
	テレポーテーション	2022	ビデオ 1時間31分	ビデオ・インスタレーション(1本のビデオ、オブジェクト) 構成・オブジェクト・テキスト=小林耕平 デモンストレーター=小林耕平、山形育弘 撮影=渡邊寿岳 ハンドアウトテキスト(「観光案内」「造形指南」)=小林耕平

【詳細】

No.	オブジェクト名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法等
1	個と全:鑑賞者の設定 下立駅とおおべっさま迎え	2022	126.5×97.0×195.0	キャンバス・ホース・ワイヤー・粘土・紐・ T字型木材・石(2個)
2	イメージの所在:閃き方 生地中橋/源兵衛の清水	2022	129.0×183.0×100.0	スタイロフォーム(立方体6枚)・丸棒(大1本、小3本)・ 塩ビパイプ・靴下
3	運動するベース:イメージと支持体 宇奈月温泉(黒部峡谷トロッコ電車)と ジルコン	2022	サイズ可変	ジグソーパズル日本地図(1枚)・ ジグソーパズル世界地図(2枚)・ ベニヤ板(3枚)・ゴム・紐・宇奈月温泉のジルコン
4	運動の分け方:モチーフと解釈 東山円筒分水槽	2022	28.5×25.0×36.0・ 40.0×34.5×24.0	炊飯ジャー・しゃもじ(3本)・クーラーボックス・ スタイロフォーム・木
5	切り取りとテレポート:点と線 僧ヶ岳(雪絵)黒部川左岸河口付近	2022	キャンバスサイズ 各38.0×45.5×2.0	キャンバスに油性ペン(4枚)
6	二方向へのパス:ネガとポジ 不動堂遺跡と瓦痕レプリカ法	2022		
6-a	埼玉の路地		9.0×22.5×20.0	粘土・埼玉の路地のアスファルト・他
6-b	アトリエ		9.0×22.5×19.0	粘土・紐・ボールペンのキャップ・ アイスクャンディーの棒・包み紙つきガム
6-c	生地中橋		10.0×19.0×19.5	粘土・生地中橋のアスファルト・他
6-d	宇奈月温泉新山彦橋		9.0×23.5×21.0	粘土・宇奈月温泉新山彦橋の砂屑・他
6-e	不動堂遺跡		8.0×26.5×23.0	粘土・不動堂遺跡の草屑・他
7	忘却による未来との接続:展示マケット 魚津埋没林博物館	2022	85.0×56.0×50.0・ 100.5×80.0×60.0	セメント・木・写真9枚・粘土
8	境界としての輪郭:地と図 僧ヶ岳(雪絵)片貝川左岸	2022	183.0×45.5×19.0	キャンバスに油性ペン(4枚)・角材・ プラスチック製容器・セメント
9	リンクの解除:作品の設置 黒部川河口	2022	各 158.0×45.5×178.0	《タンギー爺さんの肖像》(印刷)・ アクリルボード(5枚)・ソーホース・方位磁石・ 《東海道五拾三次之内 大磯 虎ヶ雨》(印刷)・ アクリルボード(5枚)・ソーホース、方位磁石・ 「ガリガリ君の箱」・ アクリルボード(5枚)・ソーホース・方位磁石
10	重力からの解放:視点の階層 下山芸術の森発電所美術館 展望塔	2022	サイズ可変	ピクニックシート・黒いビニールシート・磁石(複数)・ パチンコ玉(複数)・小さな魚の写真が貼られたカップ・ 金属パイプ(3本)・小さな魚の写真(4枚)・紐・ ボルト(2本)・ナット(2個)
11	身体の拡張:立体視 僧ヶ岳(雪絵)魚津水族館	2022	各 38.0×45.5×2.0	キャンバスに油性ペン(4枚)
12	物体とイメージ:イメージの持ち運び方 黒部市歴史民俗資料館 (愛本別橋復元模型)お光伝説とゴッホ	2022	53.8×71.2×3.0・ 188.0×186.0×54.0	「おりたて」観光案内マップ・額・ホワイトボードにホ ワイトボードマーカー・「おりたて」観光案内マップか ら切り取られた写真の張り付いたキーホルダー(25 個)・磁石(32個)
13	テレポーテーションキャップ	2022	各 15.0×20.0×25.0	キャップに油性ペン(2個)・紐

2022年度 企画展 ④

コレクション展 夢のつづき、物語のはじまり



本展では当館の所蔵品より、「夢」と「物語」をテーマに作品を紹介した。幻想的な世界を描いた作品や、物語の一ページのような作品は、人間の想像力の豊かさや、思考の深さを私たちに教えてくれる。「ここではない場所」へ。ささやかな心の旅を提供した。



撮影:柳原良平

【会 期】2023年1月14日(土)~3月12日(日)

【開催日数】49日

【主 催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】北日本新聞社

【後 援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

スタンドグラス教室 - 幻想的なひかりを感じよう

日 時: 2月25日(土)

1回目/10:00~12:00 2回目/13:30~15:30

講 師: 越坂志ほ(スタンドグラス作家)

定 員: 各回6名 ※小学生以下の方は保護者同伴

参加料: 2,000円

銅版画教室 - 詩的なシュガーチントの世界

日 時: 3月4日(土) 9:30~16:00

講 師: 堀田恵理(銅版画家)

定 員: 6名

参加料: 2,000円



【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	斎藤カオル	白い街(そのII)	1975	26.0×21.5	紙・銅版(メゾチント)
2	秀島由己男	われらにさきかけてきたりしものV	1997	16.0×23.9	紙・銅版(エッチング・アクアチント)・赤染雁皮紙貼
3	坂東壮一	星降る窓	1978	35.7×22.5	紙・銅版(エッチング・アクアチント)
4	釣谷幸輝	夢	2003	40.0×20.0	紙・銅版(メゾチント)
5	小林ドンゲ	ダンテルの夢	1966	23.5×32.3	紙・銅版(アクアチント・エングレーヴィング)
6	清原啓子	絵画	1979	28.7×21.3	紙・銅版(エッチング・アクアチント)
7	栗田政裕	記憶の館	1997	25.0×20.0	紙・木口木版
8	栗田政裕	アルカディア・考	1998	17.4×17.6	紙・木口木版
9	駒井哲郎	夜の魚	1951	12.4×15.3	紙・銅版(エッチング・メゾチント)
10	駒井哲郎	毒又は魚	1962	25.8×35.7	紙・銅版(エッチング)
11	清宮賢文	われむかしの日 いにしえの年をおもえり	1982	15.2×13.0	紙・木版
12	柄澤齊	死と変容II-10 洪水A	1990	25.4×20.4	紙・木口木版
13	岩切裕子	月曆図~may pole	1996	44.0×38.0	紙・木版
14	岩切裕子	Seven doors Hotel	1992	90.0×73.6	紙・木版
15	柳澤紀子	水邊の庭V	2000	62.5×108.0	紙・銅版(エッチング・メゾチント・アクアチント)手彩色・雁皮紙刷り
16	藤田嗣治	黙示録	1960	40.5×32.0	紙・銅版(エッチング)・水彩手彩色
17	中山正	蒼き午後の走馬	1991	58.5×91.5	紙・木版
18	八木なぎさ	向かい合う山	1987	69.0×93.5	紙・リトグラフ
19	坪内好子	mener qu en bateau VIII	1997	45.0×101.0	紙・銅版(エッチング)
20	坪内好子	王国への鍵 その8-約束-	1999	90.0×59.5	紙・銅版(エッチング・アクアチント)・金箔・手彩色

会期中同時開催 小企画展

堀田恵理 銅版画展

「ほとりで、光をみたよ」

富山県在住の銅版画家、堀田恵理による小企画展。

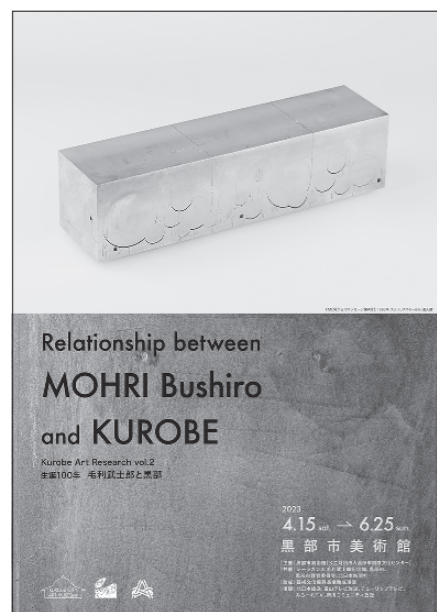


撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	ノマド	2021	アクアチント・エッチング
2	対岸の街	2020	アクアチント・エッチング
3	漂うひかり	2020	アクアチント・エッチング
4	帰り道	2020	アクアチント・エッチング
5	まぞらいろ	2020	アクアチント・エッチング
6	天体観測	2020	アクアチント・エッチング
7	深い夜	2018	アクアチント・エッチング
8	空の名前	2020	アクアチント・エッチング
9	深呼吸	2020	アクアチント・エッチング
10	夜汽車	2020	アクアチント・ドライポイント
11	まにまに	2013	アクアチント・エッチング
12	ヨルノミチ	2020	アクアチント
13	空にうつる影	2020	アクアチント・エッチング
14	冬の銀河	2022	アクアチント・シュガーチント
15	小さい孤独	2022	アクアチント
16	そこは暗闇?	2022	アクアチント・エッチング
17	音のない世界	2022	アクアチント・エッチング
18	真夜中の散歩	2022	アクアチント・エッチング
19	あかね色の空	2020	アクアチント・エッチング
20	The land of dreams	2020	アクアチント・ドライポイント
21	つかの間のさよなら	2020	アクアチント・ソフトグラウンド
22	霧の中を 森を	2013	アクアチント・エッチング
23	マジックアワー	2013	エッチング
24	おみょうにちおしづかに	2013	アクアチント・エッチング
25	ひかり	2011	ムーレット・手彩色
26	クルージング	2015	アクアチント・エッチング
27	Twinkle	2011	アクアチント・エッチング
28	窓	2022	陶器

生誕100年 毛利武士郎と黒部



黒部市にゆかりのある作家を紹介するシリーズKurobe Art Researchの第2回目は、生誕100年を迎える毛利武士郎である。毛利は1992年からの晩年の約12年間、黒部市の山側地域にアトリエと自宅を構え、制作活動に没頭した。彼に黒部移住の契機をもたらしたのは、富山県立近代美術館で開催された『現代日本美術の展望—立体造形』展で毛利を担当した黒部市出身の学芸員の柳原正樹だった。そして、毛利没後には、そのアトリエを「シーラカンス 毛利武士郎記念館」として運営してきた。そこは今でもなお、地域の芸術活動を支える重要な拠点となっている。

本展は、「シーラカンス 毛利武士郎記念館」と共催で、毛利作品の初期から晩年までの創作を俯瞰的に振り返るとともに、富山や黒部との関わりについて紹介した。

【会 期】 2023年4月15日(土)～6月25日(日)

【開催日数】 62日

【主 催】 黒部市美術館 [公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 シーラカンス 毛利武士郎記念館、黒部市、黒部市教育委員会、北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【助 成】 芸術文化振興基金助成事業

【企画協力】 柳原幸子 (造形作家、シーラカンス 毛利武士郎記念館) メイボン尚子 (研究者、フリーランスキュレーター)

【関連企画】

オープニングセレモニー

日 時：4月15日(土) 14:00～14:30

クロージングイベント

「疑問からひろげてつなぐ毛利武士郎」

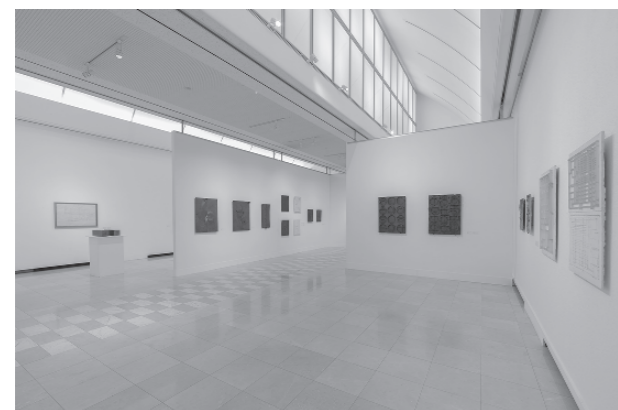
日 時：6月25日(日) 16:30～17:30

登壇者：メイボン尚子 (毛利武士郎研究者、フリーランスキュレーター)、柳原幸子 (造形作家、シーラカンス 毛利武士郎記念館)、尺戸智佳子 (黒部市美術館学芸員)

定 員：25名

【印刷物】

カタログB5 68ページ



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	収蔵先その他
1	シーラカンス マケット	1953頃か	16.5×17.0×5.0	石膏	
2	不死鳥	1951	55.0×16.5×15.5	石膏・彩色	
3	無名政治犯	1952	58.5×9.0×9.0	ブロンズ	
4	抵抗	1953	12.0×58.0×14.0	石膏・彩色	
5	テクノロジー	1954	41.0×67.5×41.0	ブロンズ	
6	手の中の眼	1957	66.0×21.5×14.5	ブロンズ	黒部市美術館蔵
7	無題(ネコ)	1979	76.0×42.0×5.0	石膏・黒鉛	
8	無題(DNA1)	1979	50.0×38.0×4.5	石膏・黒鉛	
9	無題(DNA2)	1980	50.0×37.5×4.0	石膏・黒鉛	
10	無題(DNA3)	1980	55.5×41.5×4.5	石膏	
11	無題(DNA3)	1980	55.5×41.5×3.5	石膏・黒鉛	
12	無題(DNA4)	1980	55.0×41.5×3.0	石膏	
13	無題(DNA4)	1980	55.0×41.5×5.0	石膏・黒鉛	
14	無題(マサイの盾)	1980	78.0×37.0×5.5	石膏・黒鉛	
15	無題(大6点シリーズ3)	1981	84.5×62.5×5.0	石膏・黒鉛	
16	無題(大6点シリーズ4)	1981	86.0×63.0×5.5	石膏・黒鉛	
17	無題(スクラップ スクラップA)	1981	86.5×64.5×5.0	石膏・黒鉛	
18	無題(スクラップ スクラップB)	1981	86.0×64.5×5.5	石膏・黒鉛	
19	開かれた棺A	1979	51.0×37.5×5.5	石膏・黒鉛	黒部市美術館蔵
20	開かれた棺B	1980	52.0×37.5×5.5	石膏・黒鉛	黒部市美術館蔵
21	無題(白い格子大-1)	1981	85.0×63.5×4.0	石膏	
22	無題(白い格子大-2)	1981	85.0×63.5×4.5	石膏	
23	月面のダイ・インA	1980	50.0×41.0×3.0	石膏・黒鉛	
24	月面のダイ・インB	1980	50.5×41.5×3.5	石膏・黒鉛	
25	”マーク”-俯瞰されるもの 黒	1982	86.0×64.5×4.5	石膏・黒鉛	
26	”マーク”-俯瞰されるもの 白	1982	86.0×64.5×5.5	石膏・黒鉛	
27	1/2Mr.阿の誕生(胎児)	1983	85.0×22.0×10.0	石膏・黒鉛	
28	1/2Mr.阿の誕生(マント)	1984	87.0×22.0×10.5	石膏・黒鉛	
29	無題(下腹がイタイ…)	1982	86.5×42.0×6.0	石膏・黒鉛	
30	無題(ルドンの終末)	1982	39.5×28.5×3.0	石膏・黒鉛	
31	幻覚シリーズ 弧と空	1984	111.0×10.5×5.5	石膏・黒鉛	
32	幻覚シリーズ 弧と空	1984	111.5×10.5×4.0	石膏・黒鉛	
33	幻覚シリーズ 弧と空	1984	111.0×10.5×4.0	石膏・黒鉛	
34	幻覚シリーズ 弧と空	1984	111.0×10.8×5.0	石膏・黒鉛	
35	幻覚シリーズ 弧と空	1984	111.0×10.8×6.0	石膏	
36	幻覚シリーズ 弧と空	1984	111.0×10.7×4.5	石膏・黒鉛	
37	無題(黒の帷子A)	1982	176.5×39.5×9.0	石膏・黒鉛	
38	無題(黒の帷子B)	1982	175.0×41.5×10.0	石膏・黒鉛	
39	1/2Mr.阿の誕生(観音開)	1981	87.5×87.0×7.0	石膏・黒鉛	
40	開かない扉A	1982	86.0×64.5×3.5	石膏・黒鉛	
41	開かない扉B	1982	85.0×61.5×4.0	石膏・黒鉛	
42	ジャコモッティな茨1(太)	1985	176.0×17.5×9.0	石膏・黒鉛	
43	ジャコモッティな茨2(中)	1985	172.5×9.5×9.0	石膏	
44	ジャコモッティな茨3(細)	1985	176.5×3.0×8.0	石膏・黒鉛	
45	Mr.阿からのメッセージNo.0	1992	8.8×39.9×8.7	ステンレススチール	
46	阿の肖像	1997	左各14.2×14.2×17.5・ 中央各14.2×48.5×14.5・ 右各14.3×14.3×14.3	ステンレススチール	

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	収蔵先その他
47	Mr.阿からのメッセージ第1信 第2信	1995	第1信13.1×51.0×13.6・ 第2信13.0×51.0×13.2	真鍮・銅・ ステンレスチール	
48	Mr.阿からのメッセージ第4信	1996	12.8×51.0×12.8	ステンレスチール	
49	彼の/地球への/置手紙その4	2000	各6.9×55.5×7.0	ステンレスチール・ アルミニウム	
50	「未完成作品」	2000以降か	27.0×27.0×29.5	鋼鉄	
51	「未完成作品」	2000以降か	27.4×29.3×25.0	鋼鉄	

【資料リスト】

No.	資料名	年	備考
1	「毛利武士郎アトリエ/シーラカンス毛利武士郎記念館」写真	-	撮影:柳原良平・黒部市美術館
2	《無名政治犯》スケッチ(複製)	1952頃	41.5×29.5・紙
3	「世界近代彫刻日本シンポジウム-1963」カタログ	1963	朝日新聞社主催
4	「毛利武士郎展」展覧会カタログ	1999	富山県立近代美術館・ 資料提供:シーラカンス毛利武士郎記念館
5	アトリエの道具類	-	尺を中心に展示
6	「時・空計算尺 Gulliverガリバー」本体と説明書	1994	(財)相模中央化学研究所・ 考案者和田昭允(生物物理学者)
7	「作家の制作ノート類」、ノート2冊・ファイル2冊・ クリアファイルやクリップで束ねられた制作時の資料	1979～ 2004頃	-
8	《Mr.阿からのメッセージ第1信 第2信》の図面	1995	59.2×84.0・トレーシングペーパー・鉛筆
9	未完成作品の図面	2000以降か	53.8×78.5・紙・鉛筆
10	作業台に残された最後の図面	2004頃か	54.0×79.3・紙・鉛筆
11	「情熱の扉 新しい時代を拓いた彫刻家 黒部からの発信 ～辛夷忌～偉業を振り返って第17回 毛利武士郎」みら-れTV	2006年 7月放送分	画像提供:みら-れTV
12	「ART NEWS インタビュー毛利武士郎DNAの碑、地下埋蔵大作戦」	2001	雑誌『芸術新潮』第52巻5号5月号・ 黒部市美術館
13	「作業台にむかう毛利さん」写真	-	-
14	「辛夷忌 毛利武士郎-黒部からの発信」展覧会DM	2006	企画:柳原正樹・ 資料提供:シーラカンス 毛利武士郎記念館
15	「黒部移住の彫刻家 故毛利さんアトリエ 若手集う展示空間に 柳原県水墨美術館長 遺志受け継ぎ改装」北日本新聞朝刊28面	2014年 12月27日	黒部市美術館
16	「シーラカンス 毛利武士郎記念館」パンフレット	2015	シーラカンス 毛利武士郎記念館・ 資料提供:シーラカンス 毛利武士郎記念館
17	開館記念展「毛利武士郎の宇宙」「こぶし記」展覧会チラシ	2015	シーラカンス 毛利武士郎記念館・ 資料提供:シーラカンス 毛利武士郎記念館
18	「武士郎 手仕事の系譜」展覧会チラシ	2017	シーラカンス 毛利武士郎記念館・ 資料提供:シーラカンス 毛利武士郎記念館
19	「武士郎 手仕事の系譜」展示風景写真	-	写真提供:メイボン尚子
20	武士郎 手仕事の系譜」展覧会に出品された、 株式会社七彩工芸で制作した記念品等	-	-
21	「現代日本美術の展望-立体造形」展覧会カタログ	1983	富山県立近代美術館
22	柳原正樹「現代日本美術の展望-立体造形」 『富山県立近代美術館ニュース』おむ10号』	1983	富山県立近代美術館・柳原正樹資料・ 資料提供:柳原幸子

No.	資料名	年	備考
23	柳原正樹「思い出の展覧会 毛利武士郎展」 『美術館連絡協議会会報美連協ニュース』96号11月号	2007	資料提供:美術館連絡協議会
24	「毛利武士郎展」展覧会チラシ	1999	富山県立近代美術館
25	「毛利武士郎展」展覧会ポスター	1999	富山県立近代美術館・資料提供:メイボン尚子
26	「毛利武士郎展」展示風景写真	1999	柳原正樹資料・写真提供:柳原幸子
27	柳原正樹「沈黙の彫刻家 毛利武士郎の軌跡1」 北日本新聞朝刊15面	1999年 5月31日	柳原正樹資料・資料提供:柳原幸子
28	柳原正樹「沈黙の彫刻家 毛利武士郎の軌跡2」 北日本新聞朝刊14面	1999年 6月1日	柳原正樹資料・資料提供:柳原幸子
29	柳原正樹「沈黙の彫刻家 毛利武士郎の軌跡3」 北日本新聞朝刊11面	1999年 6月3日	柳原正樹資料・資料提供:柳原幸子
30	柳原正樹「沈黙の彫刻家 毛利武士郎の軌跡4」 北日本新聞朝刊12面	1999年 6月4日	柳原正樹資料・資料提供:柳原幸子
31	柳原正樹「沈黙の彫刻家 毛利武士郎の軌跡5」 北日本新聞朝刊13面	1999年 6月7日	柳原正樹資料・資料提供:柳原幸子
32	「七彩に集った作家たち」展覧会ポスター	2016	京都国立近代美術館・企画:柳原正樹 資料提供:シーラカンス 毛利武士郎記念館



撮影:柳原良平



撮影:柳原良平

梟が鳴けば、晴れ。



【会 期】 2023年7月15日(土)～9月18日(月・祝)

【開催日数】 56日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：7月15日(土) 10:00～

【印刷物】

パンフレット105×15mm 6ページ(ポストカード6枚付)

漁業者にとって天気を見定めることは重要なことで、「梟が鳴けば晴」もまた、黒部市生地町に伝わる気象ことばとされてきた。今日のようにまだ気象観測技術が発展していない時代、漁業者は自ら浜辺に立ち、空模様をみて、これまでの経験と併せて天気を推定していたといわれている。本展では、自然をみつめること、表現すること、現象、予測などをテーマに3組の作家を紹介した。自然と共に過ごし、享受することの豊かさについて考察できる機会となった。



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法
1	小田橋昌代	FloatingII	2009	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
2	小田橋昌代	In my HandsIII	2023	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
3	小田橋昌代	雲海より望む-夜明け前-	2023	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
4	小田橋昌代	夜の海を渡る	2023	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
5	小田橋昌代	風によって	2020	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)・ ドライリーフ
6	小田橋昌代	In my DreamII	2019	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
7	小田橋昌代	私とわたし	2022	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
8	小田橋昌代	Day-dreaming	2020	ガラス(キャストイング・エナメル着彩)
9	高慶敬子	潮の香り-波	2012	水彩・色鉛筆・アクリル
10	高慶敬子	シロツメクサ	2019	油彩
11	高慶敬子	潮の香り-石	2017	水彩・色鉛筆・アクリル
12	高慶敬子	潮の香り-砂浜	2012	水彩・色鉛筆・アクリル
13	高慶敬子	潮の香り-生地漁港	2023	水彩・色鉛筆・アクリル・パステル
14	高慶敬子	潮の香り	2014	水彩・色鉛筆・アクリル
15	高慶敬子	潮の香り-漁港	2016	水彩・色鉛筆・アクリル・パステル
16	高慶敬子	潮の香り-砂浜の貝	2020	水彩・色鉛筆・アクリル
17	高慶敬子	くずの葉-梟が鳴けば晴れ	2023	水彩・色鉛筆・アクリル
18	neutral production	particle	2023	発砲ビーズ・ファン・プロジェクター
19	neutral production	ripple	2023	水・スピーカー・LEDライト



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

キュンチョメ 魂の色は青



キュンチョメは、制作行為を「新しい祈り」と捉え、様々な社会問題や自然災害、そこに携わる人々と正面から向き合い、複雑に絡まる感情や交錯する意見を反映させながら真摯に作品に昇華させてきた。2022年以降は、フィリピンやハワイに滞在し現地の圧倒的な自然や、多様な価値観に触れ、思考を大きく更新させた。そして現在、海や大地、あるいは地域そのものに全身全霊で関わりながら「新しい幸福」の在り方を模索している。

展示作品11点は全て新作で、海で制作された作品を中心に構成された。数々の自然体験と共につくられた作品は、詩的でユーモラスな行為を通して幸福の探求へとつながっていく。本展覧会で提示される「新しい幸福」が、様々な不安や緊張が存在するこの時代を、共にしなやかに生きるための一つの指針となることを期待した。

【印刷物】

カタログB5変形 136ページ



撮影：柳原良平

【会 期】 2023年10月7日(土)～12月17日(日)

【開催日数】 60日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会

【後 援】 北日本新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【助 成】 一般財団法人自治総合センター、公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人熊谷正寿文化財団

【協 力】 ARTISTS'GUILD、富山ガラス工房、北洋の館

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：10月7日(土) 11:00～11:45

ワークショップ 深呼吸を持ち帰る/地球コーヒー

日 時：10月14日(土)、21日(土)、11月11日(土)、12月9日(土) 各日16:30～17:30

講 師：山本さとみ(ヨガインストラクター)

定 員：各日10名

参加料：10月/各日1,500円(キュンチョメ参加)、11月・12月/各日1,000円

見て!感じて!作品鑑賞ツアー

日 時：10月27日(金) 10:00～15:30

ガイド：キュンチョメ、尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)

定 員：20名

参加料：1,200円(入館料、昼食代)

共 催：黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」

キュンチョメ講演会(高校生対象/非公開)

日 時：10月19日(木)

会 場：入善高校

キュンチョメ作品鑑賞会(高校生対象/非公開)

日 時：11月2日(木)

協 力：入善高校観光ビジネスコース

とみだい☆べけべけアートショップ

「黒部の自然をつかまえよう!～どうする君たち?」

日 時：11月18日(土)

午前の部/10:00～12:00 午後の部/13:00～15:00

定 員：各部10名

対 象：小学校1年生～6年生

後 援：黒部市教育委員会

企画・運営：富山大学教育学部 隣研究室

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法・備考
1	へそに合う石	2023	-	石・ドローイング・台座
2	ためいきでうかぶ	2022	ビデオ4分36秒	シングルチャンネルビデオ・2チャンネルオーディオ
3	海の中に祈りを溶かす	2022-2023	ビデオ13分42秒	シングルチャンネルビデオ・2チャンネルオーディオ
4	「死なないで」 「幸せでいて」 「海が青いままでありますように」	2023	各A1サイズ	写真
5	曖昧なランドマーク	2022	A2サイズ	写真5点
6	金魚と海を渡る	2022	ビデオ6分2秒	シングルチャンネルビデオ・2チャンネルオーディオ
7	一粒の海と歩く	2023	-	海水・ガラス鉢・台座
8	洗濯物美術館	2022-2023	-	洗濯物6枚・タオル2枚・物干し台2台
9	地球コーヒー	2023	サイズ可変	40ヶ国70地域から集めたコーヒー豆 協力：北洋の館
10	記憶のアイスクリーム	2023	サイズ可変	パニラアイスクリーム・チョコチップアイスクリーム・紙・ペン・アイスクリームの屋台
11	深呼吸を持ち帰る	2023	-	ヨガワークショップ 協力：山本さとみ(ヨガインストラクター)
12	いま、すべての生き物が呼吸している	2023	700×60	木製看板



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

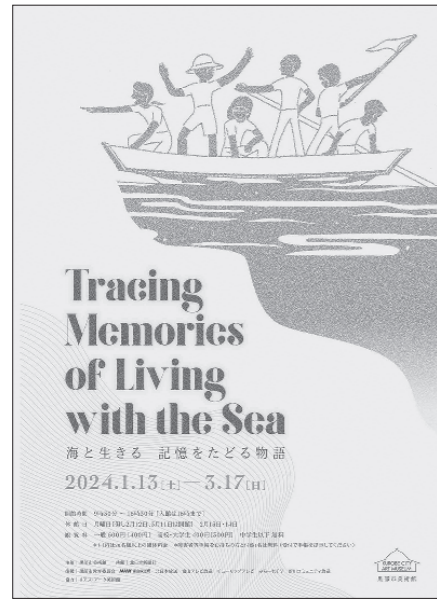


撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

海と生きる、記憶をたどる物語



2011年3月11日に発生した、東日本大震災。宮城県気仙沼市にあるリアス・アーク美術館は、震災発生直後から約2年間にわたり震災被害記録と調査活動を行った。撮影された写真は約30,000点、収集した被災物は約250点におよぶ。津波によって失われた日常と、あの日から変わり続ける風景。調査員自らも被災者という過酷な状況のもとで撮影・収集された写真と被災物は、震災以前の記憶を未来に繋ぐ役割を担いながら、現在同館の常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」にて公開されている。本展では、同リアス・アーク美術館協力のもと、その写真と被災物を日本海側の地域において初めて公開する。あの日から、13年。今回、展覧会にあわせて黒部市の方を中心、記憶や大切なものをテーマに作品募集をしたところ、多くの方にご賛同いただき作品が集まった。気仙沼と黒部。どちらも古くから漁業を生業とし、海とともに生きてきた町である。本展を通して、時間と場所を越え、大切な記憶をたどる機会とした。

【出品リスト】

I 東日本大震災の記録

リアス・アーク美術館所蔵/被災写真40点、被災物11点

II わたしたちの場所から

募集作品・出前授業作品

- ①未来に残したい風景 ②私の大切なもの ③思い出の時間
- ④海のめぐみ ⑤再生と希望

をテーマに作品募集・作品制作を行った

参加者125名

募集作品：57点(絵画41点、立体造形4点、写真12点)

出前授業作品：黒部市立生地小学校5年/25点(絵画)

黒部市立石田小学校6年/41点(立体造形)

- 【会 期】 2024年1月13日(土)～3月17日(日)
- 【開催日数】 56日
- 【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
- 【共 催】 北日本新聞社
- 【後 援】 黒部市教育委員会、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送
- 【協 力】 リアス・アーク美術館

【関連企画】

オープニングセレモニー&ギャラリートーク

日 時：1月13日(土) 11:00～

講 師：山内宏泰(リアス・アーク美術館館長)

くろびフレンズ企画

「生地まち歩きガイド松野均さんの話を聞く会」

黒部市生地で生まれ育ち、古くから漁業を営んできた丸中水産株式会社の松野均社長をお迎えして、津波に関する生地の歴史や伝説について聞く会。

日 時：3月15日(金)

1部/13:00～ 2部/14:00～

会 場：1部/黒部市美術館 2部/北洋の館

講 師：松野均(丸中水産株式会社社長、生地まち歩きガイド)

参加料：1部/展覧会観覧料(500円) 2部/ドリンク代(各自)

主 催：くろびフレンズ

【印刷物】

カタログA5 66ページ



撮影：柳原良平

《infinity~mirage》プロジェクト



《infinity~mirage》は、黒部市生地海岸に大きな「m」型看板を置き、対岸の魚津市から見ると、看板の「m」と、蟹気楼で「m」が反転した像とが繋がって、風景の中に「∞」を描く山下麻衣+小林直人の屋外アート作品。

その様子はライブ配信され、地域特有の現象でありながら、世界中から鑑賞/観察できる。富山湾の蟹気楼と共に作る作品をライブ配信や屋外で楽しむために、魚津埋没林博物館と共に実行委員会を作り、観光や教育への活用を含めた様々な可能性に向けたプロジェクトを開始した。

山下麻衣+小林直人《infinity~mirage》展示

「m」型看板設置&ライブ配信

2023年4月28日(金)～2024年3月31日(金)



山下麻衣+小林直人《infinity~mirage》2021年、2023年～ライブ配信スチル(2023/9/29)

- 【会 期】 2023年4月28日(金)～2024年3月31日(日)
- 【主 催】 黒部市美術館・魚津埋没林博物館《infinity~mirage》実行委員会
- 【共 催】 黒部市、魚津市、黒部市教育委員会、魚津市教育委員会
- 【助 成】 一般社団法人北陸地域づくり協会、一般財団法人WNI気象文化創造センター
- 【協 力】 日本蟹気楼協議会、魚津蟹気楼研究会、生地自治振興会、立山黒部ジオパーク協会、魚津市観光協会、黒部・宇奈月温泉観光局、海の駅蟹気楼、魚津水族館、ありそドーム、ミラージュランド、北洋の館、黒部市吉田科学館、YKKセンターパーク、富山大学理学部青木研究室



【関連イベント】

∞謎解きスタンプラリー

・スタンプスポット

魚津市内：魚津埋没林博物館、魚津水族館、海の家 蟹気楼、ありそドーム

黒部市内：北洋の館、黒部市吉田科学館、YKKセンターパーク、黒部市美術館

・景品

オリジナルグッズ：特製ペーパー双眼鏡、《infinity~mirage》キーホルダー

何処から見よう!?インフィニティミラージュ[ミニ企画展]

日付：2023年7月1日(土)~

会場：魚津埋没林博物館

開館時間：9:00~17:00

《infinity~mirage》つづきフォト

レンタル双眼鏡

貸出場所：黒部市美術館、魚津埋没林博物館

《infinity~mirage》ワークシートを使ってもっと楽しもう! /

自由研究を見てもらおう!

発表会：10月15日(日) 10:00~12:00

会場：魚津埋没林博物館

成果展示：10月14日(土)~11月30日(木)

会場：魚津埋没林博物館(10月中)& 黒部市吉田科学館(11月中)

《infinity~mirage》夏休み!ワークシート相談会

日時：8月5日(土) 10:00~15:00

会場：魚津埋没林博物館

日時：8月6日(日) 9:00~16:00

会場：黒部市吉田科学館

とみだい☆ペけペけアートショップ

「ひっくり返しアート~インフィニティ~ミラージュを見て…」

日時：12月16日(土)

午前の部/10:00~12:00 午後の部/13:00~15:00

定員：各部15名

会場：魚津埋没林博物館

対象：小学校1年生~3年生

参加料：一人100円

共催：富山大学教育学部 隅研究室

作家xカメラマン 蟹気楼クロストーク

日時：3月3日(日) 10:00~12:00

会場：北洋の館カフェ

講師：山下麻衣+小林直人(現代美術作家)、大野隆雄(写真家)

定員：30名程度

参加料：ワンドリンク制400円

インフィニティミラージュツアー Eバイクでしんぎろう!

日時：3月30日(土)

午前コース/10:00~12:20 午後コース/13:00~15:20

定員：各コース6名

対象：150cm以上の一般から小学生

※小学生の場合は保護者同伴

参加料：1,000円(保険料、交通費)

共催：黒部市吉田科学館



2024年度 企画展 ①

黒部市美術館開館30周年

-画業50年のあゆみ- 黒井健 絵本原画展



絵本作家・イラストレーターとして長きにわたり第一線で活躍してきた黒井健(1947~)の画業50周年を記念する個展を開催した。新潟県出身の黒井は東京の出版社で絵本の編集に携わったのち、イラストレーターとして独立。1976年に初めての絵本『あめつてあめ』(矢崎節夫・作)を出版して以降、新美南吉の『ごんぎつね』や『手ぶくろ』の買いに、宮沢賢治の『猫の事務所』、間所ひさこの『ころわん』シリーズなど、300冊以上の児童文学や絵本の挿絵を描き続けてきた。また挿絵だけでなく自ら文章を書いた『ミシシッピ』などの画集も出版している。

本展ではこうした代表作のほか、初期に手掛けた貴重なカットから、子供の創造力とは何かを問いかけ話題となった『まっくろ』(高崎卓馬・作)などの近作絵本の原画を通して、長く愛され続けてきた黒井健の世界の魅力に触れる機会となった。



撮影：柳原良平

【会期】2024年4月27日(土)~6月23日(日)

【開催日数】48日

【主催】黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共催】北日本新聞社

【後援】北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【協力】黒井健絵本ハウス

【企画制作】オフィス渋谷

【関連企画】

オープニングセレモニー

日時：4月27日(土) 10:00~

黒井健サイン会

日時：4月27日(土) 10:30~

定員：70名

【同時開催】

「黒井健さんのえほん」

黒井さんが絵を描いた絵本を展示・貸出。

「銀河鉄道の夜と地学」

銀河鉄道の夜に登場する鉱石にちなんで、石や地学の本を展示・貸出。

期間：4月27日(土)~6月23日(日)

会場：黒部市立あおよ図書館

「よみきかせボランティア(すまいる◎スマイル)によるよみきかせ会」

黒井さんの絵本を各回1~2冊よみきかせ。

日時：期間中、毎週土曜日10:00~

会場：黒部市立あおよ図書館

プラネタリウム特別放映「宮沢賢治が見た星空」

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」にちなんだプラネタリウムの解説と、作品に登場する鉱物(サファイア・トパーズ)などの展示。

日時：5月19日(日)、6月2日(日)

各日15:00~15:50

会場：黒部市吉田科学館

定員：140名

参加料：一般300円、大学・高校生150円、中学生以下無料

プラネタリウム割引特典

「黒井健 絵本原画展」鑑賞券の半券提示で、プラネタリウムの観覧料を割引。

期間：4月27日(土)~6月23日(日)

場所：黒部市吉田科学館

【出品作品】

絵本・原画

- 『あめつてあめ』
- 『ふたりのおばあさん』
- 『どんぐりたろうのき』
- 『うさこのサンタクロース』
- 『ゆうびんうさぎとしろくまサンタ』
- 『ヤンときいろいブルル』
- 『たぬきのえきちようさん』
- 『ころわんはおにいちゃん』
- 『ころわんとふわふわ』
- 『よなかのころわん』
- 『ころわんとかがががが』
- 『ころわんとしろいくも』
- 『あきいろのころわん』
- 『しろいしろいころわん』
- 『ごんぎつね』
- 『ぶたのモモコはバレリーナ』
- 『ぶたのモモコとフルーツパーラー』
- 『手ぶくろを買いに』
- 『おかあさんの目』
- 『あのね、サンタの国ではね』
- 『ミシシッピ 900マイル カヌーの旅』
- 『SWEET TIMES』
- 『LONG NIGHT』
- 『猫の事務所』
- 『雲の信号』
- 『私のイーハトヴ』
- 『水仙月の四月』
- 『「銀河鉄道の夜」に描く(オリジナル原画)』
- 『しなの川』
- 『ふる里へ』
- 『またたびトラベル』
- 『天の町やなぎ通り』
- 『だれかがぼくを』
- 『リアン』
- 『うまれてきてくれて ありがとう』
- 『ハナミズキのみち』
- 『こすずめとゆき』
- 『ふうせん』金子みすゞのひら詩集
- 『あるとき』金子みすゞのひら詩集
- 『まっくろ』
- 『すずばあちゃんのおくりもの』

その他

カット絵、切手、木彫1点等



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平



撮影：柳原良平

2024年度 企画展 ②

黒部市美術館開館30周年

たねをとばす



黒部市美術館は、展覧会づくりの過程において作家によるリサーチを通じた周辺の自然環境からの学びを重ね、脱人間中心的な観点や、相依相関する世界に意識を巡らすような展覧会をしばしば開催してきた。加えて、美術館の活動においても、作品收藏や展覧会によってもたらされる知のたねを外側へと飛ばし続けるイメージを大切にしている。本展でもまた、大地にしっかりと根をはりながらも他者との関わりの中で遠くにたねを飛ばすことのできる植物を起点として、生命への思索を続けた。当館のコレクションや北陸地域の風土を共有する作家とともに、様々な「もの/こと」の発生の源としての「たね/アート」の可能性と、それらを取り巻く有機的なつながりに想像を巡らす機会となった。



撮影：柳原良平

【会 期】 2024年7月20日(土)～10月6日(日)

【開催日数】 65日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【イベント協力】 KAYA DO!フリー実行委員会

【関連企画】

オープニングセレモニー&アーティストトーク

日 時：7月20日(土) 14:00～15:15

作 家：岡本健児、佐々木類、佐直麻里子、森田志宝

種子から出会う植物の世界

ーパッシブタウンのお庭ツアーとボタニカルアート体験ー

日 時：8月2日(金) 10:00～15:00

会 場：パッシブタウンコミュニティセンター

絵画講師：清河恵美(日本画家)

お庭ガイド：飛世裕香(株式会社野上緑化)

定 員：10名

参加料：3,000円(本展チケット、ハーブティー&お菓子付き)

共 催：KAYA DO!フリー実行委員会

【印刷物】

パンフレットB5 18ページ



撮影：柳原良平

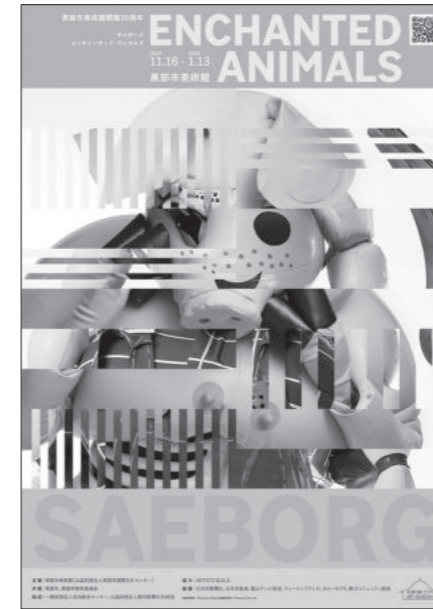
【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	所蔵先その他
1	小川幸一	青い球体V-F”2(Y)	1988	44.5×58.0	紙・シルクスクリーン	黒部市美術館蔵
2	小川幸一	生物No.5	2001	65.0×90.0	紙・シルクスクリーン	黒部市美術館蔵
3	小川幸一	赤い球体No.12	1990	65.0×90.0	紙・シルクスクリーン	黒部市美術館蔵
4	山口啓介	孢子を蒔く船	1990	77.7×96.0(4枚)・ 77.7×88.5(2枚)	紙・エッチング	黒部市美術館蔵
5	山口啓介	無題	1994	54.3×64.6	紙・エッチング	黒部市美術館蔵
6	河口龍夫	関係 -縄文時代3	2018	72.7×51.5	圧痕レプリカ(シソ属 果実・ エゴマ)・鉛・鉛筆・厚紙	黒部市美術館蔵・参考資料/下 山新遺跡出土縄文土器・下山 新遺跡土器の圧痕レプリカ(ア ズキ)・朝日町埋蔵文化財保存 活用施設まいぶんKAN蔵
7	河口龍夫	関係 -時のフロッタージュ	2018	4.2×46.5×36.3	ジュラ紀の植物もしくは生殖 器の化石・和紙・鉛筆・蜜蝋・ 天然黄土・スチレンボード	黒部市美術館蔵
8	河口龍夫	関係 -時のフロッタージュ	2018	4.2×46.5×36.3	ジュラ紀の植物もしくは生殖 器の化石・和紙・鉛筆・蜜蝋・ 天然黄土・スチレンボード	黒部市美術館蔵
9	河口龍夫	一粒の種子から (地下から空間へ)	2006	43.0(高さ可変)× 10.0×17.0	蓮の種子・蜜蝋・導線・ 段ボール・塗料	
10	河口龍夫	ちのこや そして一冊の本	2018	35.0(高さ可変)× 98.5×56.4	黒部市美術館展覧会カタロ グ・蓮の種子・蜜蝋・銅線・銅 パイプ・黒部市美術館展示室 模型(硫化カドミウム・塗料)	黒部市美術館蔵
11	佐直麻里子	スケッチ12	2023	13.5×20.5	和紙・顔彩・岩絵具	
12	佐直麻里子	スケッチ21	2024	24.5×19.5	和紙・顔彩	
13	佐直麻里子	スケッチ17	2024	140.0×97.0	和紙・顔彩・折り紙・岩絵具	
14	佐直麻里子	スケッチ19	2024	79.0×104.0	和紙・顔彩	
15	佐直麻里子	スケッチ16	2024	55.0×57.0	和紙・顔彩	
16	佐直麻里子	スケッチ18	2024	133.0×107.0	和紙・顔彩・折り紙・岩絵具	
17	佐直麻里子	スケッチ13	2024	24.1×33.2	水彩紙・透明水彩	
18	佐直麻里子	スケッチ14	2024	24.1×33.2	水彩紙・透明水彩	
19	佐直麻里子	スケッチ15	2024	110.0×80.0	水彩紙・透明水彩	
20	岡本健児	綿花の絵	2024	18.0×18.0	キャンバス・油彩	
21	岡本健児	綿花の絵	2024	27.3×22.0	キャンバス・油彩	
22	岡本健児	綿花の絵	2024	45.5×45.5	キャンバス・油彩	
23	岡本健児	綿花の絵	2024	259.0×194.0	キャンバス・油彩	
24	岡本健児	絵を描く	2017～ 2024	サイズ可変 (作品7点)	綿・土・リンシードオイル・膠・種・ 綿織り機・スピンドル・織り機	
25	岡本健児	描く手	2024	53.0×53.0	キャンバス・油彩	
26	富山省三	木-2013-1	2013頃	31×8.8×8.5	自然に穴のあいた木・ アクリルペイント	黒部市美術館蔵
27	富山省三	木-2013-2	2013頃	26×8.5×8.5	自然に穴のあいた木・ アクリルペイント	黒部市美術館蔵
28	森田志宝	Return to the tree	2024	サイズ可変 (約360×400×300)	漆・絹糸	
29	佐々木類	忘れじの庭/ 記憶をめぐる	2024	サイズ可変 (作品19点)	ガラス・植物(アトリエや自宅 の周りなど作家のいた場所で 2020～2024採取)・天気・太 陽光・ライト	

2024年度 企画展 ③

黒部市美術館開館30周年

サエボーグ ENCHANTED ANIMALS



サエボーグは、ラテックス製のボディースーツで自身の身体を拡張させて家畜等のキャラクターに扮しパフォーマンスを行っている。そして、牧場や家という生活世界を舞台に彼らの役割を演じることで、生きることの関係や構造を開示してきた。本展は代表作である《Slaughterhouse(スローターハウス)》、《Pigpen(ピッグペン)》、《Pootopia(プートピア)》で構成され、そこに、「Enchanted Animals(魔法にかかった動物たち)」という新たな世界を立ち上げた。家畜に変身した鑑賞者の各々の実践を通して、他者と共に生きる自らの価値観や生き方が作り直されていくような一つの世界を創出した。



撮影：柳原良平

- 【会 期】 2024年11月16日(土)～2025年1月13日(月・祝)
- 【開催日数】 46日
- 【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]
- 【共 催】 黒部市、黒部市教育委員会
- 【後 援】 北日本新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、
チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送
- 【助 成】 一般財団法人自治総合センター、
公益財団法人朝日新聞文化財団
- 【協 力】 ARTISTS'GUILD

【関連企画】

オープニング/公演&アーティストトーク

- 日 時：11月16日(土)
13:30～13:45/セレモニー
13:45～14:15/30周年記念公演vol.1「Slaughterhouse」
14:45～15:15/アーティストトーク

見て!感じて!作品鑑賞バスツアー

- 日 時：11月22日(金) 10:00～15:30
- ガイド：サエボーグ 尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)
- 定 員：20名
- 参加料：2,800円(各施設入館料、昼食代)
- 共 催：黒部市生涯学習文化スクエア「ぶらっと」

とみだい☆ペケペケアートショップ

- 「どうぶつにへんしん!なに思う?」
- 日 時：11月23日(土)
午前の部/10:00～12:00 午後の部/13:00～15:00
- 対 象：小学校1年生～6年生
- 定 員：各部10名
- 参加料：無料(但し保護者の方は入館料が必要)
- 企画・運営：富山大学教育学部 隅研究室

特別講義「サエボーグとは何者か?」

- 日 時：11月29日(金) 13:00～14:30
- 会 場：富山大学高岡キャンパス講堂
- 講 師：サエボーグ
- 共 催：富山大学芸術文化学部 長田堅二郎研究室、
平田昌輝研究室、松田愛研究室

30周年記念公演vol.2「Pigpen」

- 日 時：1月4日(土) 11:00～11:40

【印刷物】

カタログA5 64ページ

【出品リスト】(インスタレーション)

作品名	制作年	サイズ	材質・技法
Enchanted Animals	2024	サイズ可変	ラテックス製オブジェクト・プラスチック製オブジェクト・木製オブジェクト・背景幕・塗料(壁面:黄・緑・水色)・人工芝・4チャンネルオーディオ・マイク・LEDスポットライト・カラーフィルム(ピンク・青・緑・黄)・シナリオハンドアウト

【詳細】

オブジェクト名	サイズ(cm)	材質
PSYCHIATRIC HELP スタンド	約227×150×70	家畜変身グッズ(耳・鼻・尻尾・手足等パーツ)・鏡・ラテックス・木
ガラス	18×12×39・8×53×39	プラスチック
もみの木(大)	約600×φ310	ラテックス・バルブ・ファスナー・空気
もみの木(中)	約400×φ250	ラテックス・バルブ・ファスナー・空気
木(中)	約250×190×145(2本)	ラテックス・バルブ・空気
木(小)	約200×φ130	ラテックス・バルブ・空気
母豚	約200×650×370	ラテックス・バルブ・ファスナー・空気
柵	110×313×4.5(2本)・ 110×296×4.5・ 110×290×4.5	木・塗料
搾乳機	約58×φ48(本体)	硬質ウレタンフォーム・塗料・ビニールチューブ
トラック	76×213×56	プラスチック
FROZEN SPERMと看板	184×82×3.5(看板)・ 77×φ34(FROZEN SPERMタンク)	ラテックス・硬質ウレタンフォーム・木・プラスチック
哺乳瓶	37×φ10(4本)	プラスチック・ゴム
藁マット(大)	約25×315×210(2枚)	ラテックス・バルブ・空気・エアマット
藁マット(中)	約20×210×160(2枚)	ラテックス・バルブ・空気・エアマット
切り株/マイク	約69×φ57	ラテックス・硬質ウレタンフォーム・マイク・マイクスタンド
切り株/マイク	約103×57×60	ラテックス・硬質ウレタンフォーム・マイク・マイクスタンド
吊り豚	約240×85×70	ラテックス・バルブ・ファスナー・空気・硬質ウレタンフォーム・塗料・金属バケツ
プートピア	約247×600×460	ラテックス・バルブ・ファスナー・空気
うんち(大)	約64×220×120(2個)	ラテックス・バルブ・空気
うんち(中)	約39×105×58(2個)	ラテックス・バルブ・空気
うんち(小)	約30×106×27(2個)	ラテックス・バルブ・空気
蠅	約36×43×34(11匹)	ラテックス・バルブ・プラスチック・空気
動物日記	A4サイズ	ノート
太陽	約100×100×20	ラテックス・タイヤチューブ・バルブ・空気

【映像展示】

作品名	制作年	サイズ	材質・技法等
Slaughterhouse	2019	22分11秒	ビデオ・Dark Mofa2019 (Avalon Theatre、ホバート、オーストラリア)
Pigpen movie	2016	11分20秒	ビデオ
Soultopia 記録映像	2023	50分19秒	ビデオ・シアターコモンズ'23(東京)

【展覧会協力】

背景幕及びシナリオハンドアウトイラスト、デザイン協力：ゴッホ今泉
背景幕制作協力：川越健太
音楽：DJ TKD
ラテックス制作協力：Kurage(大塚沙紀・加藤香代・大石麻央・Tentoku・カブキ・タニオ・キド)
小道具：ピコピコ

【公演】

黒部市美術館開館30周年公演
Slaughterhouses/pigpen
2024年11月16日/2025年1月4日

構成・演出・美術：サエボーグ
着ぐるみパフォーマー：ayaka・安藤茜里・カミーユ・ちえりあ・露木妙・野村淑子・平林穂乃佳・ゆづこ
着ぐるみサポートスタッフ：平陸美・柳原幸子
パフォーマー(参加者)：子豚役で参加して下さったみなさま
音楽：DJ TKD
イラスト・美術協力：ゴッホ今泉
美術(小道具)：ピコピコ
美術(背景幕イラスト)：ゴッホ今泉
美術(背景幕制作協力)：川越健太
美術(ラテックス制作協力)：Kurage(大塚沙紀・加藤香代・大石麻央・Tentoku、カブキ・タニオ・キド)
会場施工・会場照明：糟谷健三
会場施工補助：大村大吾・佐々和広
舞台照明：菊池昌弘(公益財団法人黒部市国際文化センター コラレ)
チラシデザイン：原田晋
写真提供：IREI Taro・ZIGEN・TAKAHASHI Kenji・蓮沼昌宏・釣井泰輔
記録映像：石倉一昭
記録写真：柳原良平
制作：黒部市美術館
企画担当：尺戸智佳子(黒部市美術館)



展示風景 撮影：柳原良平



展示風景 撮影：柳原良平



Slaughterhouses公演 撮影：柳原良平



pigpen公演 撮影：柳原良平

黒部市美術館開館30周年 コレクション展vol.1

木々の語らい -木版画と彫刻と



木々は私たちの身近に存在し、美術作品の素材や題材としてもこれまで数多く取り上げられてきた。本展では木版画を中心に、木々を描いた油彩画や木彫刻作品も併せて展示する。特に木版画作品では、当館の約700点に及ぶ日本の近現代版画コレクションの中から厳選し、素材の特性を感じることが出来る作品を紹介した。

【会 期】 2025年1月25日(土)～3月16日(日)

【開催日数】 39日

【主 催】 黒部市美術館[公益財団法人 黒部市国際文化センター]

【共 催】 北日本新聞社

【後 援】 北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、みらーれTV、新川コミュニティ放送

【関連企画】

紙版画をつくろう

日 時：3月1日(土) 13:00～16:30

講 師：谷あかり(版画家)

定 員：8名

参加料：1,800円(材料費、観覧会観覧料込)

【出品リスト】

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法
1	岩井新吉	雪の朝	1938	33.3×24.2	パネル・油彩
2	吉田博	日本アルプス十二題の内 立山別山	1926	24.9×37.1	紙・木版
3	吉田博	日本アルプス十二題の内 黒部川	1926	37.4×25.1	紙・木版
4	畦地梅太郎	浅間山	1941	29.9×45.2	紙・木版
5	畦地梅太郎	白い像	1958	69.2×44.0	紙・木版
6	山口源	作品	1957	37.0×28.0	紙・木版
7	山口源	コンポジション	1965	48.0×38.5	紙・木版
8	前田藤四郎	薫風	1962	38.5×58.0	紙・木版
9	恩地孝四郎	たあいもないロマンス	1949	31.0×24.0	紙・木版・マルチブロック
10	福井良之助	枯木	1959	35.8×23.4	紙・孔版(謄写版)・銅版
11	萩原英雄	Composition W	1958	18.0×30.5	紙・木版
12	萩原英雄	鎧える人々(C)	1962	35.5×59.0	紙・木版
13	清宮質文	夕日の静物(『暗い夕日』9)	1972	14.0×22.0	紙・木版
14	清宮質文	われむかしの日 いにしへの年をおもえり	1982	15.2×13.0	紙・木版
15	清宮質文	5月の夜明け	1984	14.5×14.2	紙・木版
16	内間安理	FOREST BYOBU	1981	53.3×21.0	紙・木版
17	吹田文明	浮遊	1962	39.0×45.0	紙・木版
18	吹田文明	重い空間	1962	51.0×51.5	紙・木版
19	柄澤齊	詩と変容II-10 洪水A	1990	25.4×20.4	紙・木口木版
20	栗田政裕	記憶の館	1997	25.0×20.0	紙・木口木版
21	住吉由佳子	月夜に徊す	2012	130.3×162.0	紙・木版
22	藤田和十	風花	1996	70.5×49.5	紙・木版
23	富山省三	新しい希望	1974	72.0×51.5×59.0	木白・鉄
24	富山省三	おらのかくれが 95-3	1995	162.0×23.0×23.0	木(樺)
25	中谷唯一	相-109	1979	60.0×100.0×28.0	木
26	中谷唯一	M-50	1970	63.0×37.0×37.0	木



撮影：柳原良平



谷あかり 版画展

いつかの囁

富山県在住の版画家、谷あかりによる小企画展。



撮影：柳原良平

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	ねむれないさめ	2006	ソフトグランドエッチング
2	恩返しにくるよ	2007	ソフトグランドエッチング
3	餅のしらとり	2008	ソフトグランドエッチング
4	海のおもひで	2009	ソフトグランドエッチング
5	ふきだまり	2010	ソフトグランドエッチング
6	きつねのはなし	2011	エッチング
7	落下傘部隊	2012	エッチング
8	十二星座	2013~2014	エッチング・凸版摺り
9	海辺の一族	2014	エッチング・アクアチント
10	お星様食べる	2015	エッチング・凸版摺り
11	パパパレード	2015	エッチング・アクアチント
12	テーブルサンゴ	2016	エッチング・アクアチント
13	雪見	2017	エッチング
14	星座の授業	2018	ドライポイント
15	プリマアンブレラ	2019	エッチング
16	牛小屋	2020	ドライポイント
17	みずうみ	2020	エッチング・凸版摺り
18	常世辺	2021	ドライポイント
19	長いお返事	2023	エッチング・凸版摺り
20	うみ	2024	紙版画
21	夜舟	2024	紙版画
22	快適空間	2024	紙版画
23	雨の領域	2024	紙版画
24	水枕	2024	紙版画
25	盆の海	2024	紙版画
26	月がみていた	2024	紙版画
27	ご覧ください	2024	ドライポイント
28	ちょっと遠い	2024	ドライポイント
29	夏の国から	2024	紙版画・エッチング
30	たこあたま	2024	紙版画(帽子)
31	ねこかぶり	2024	紙版画(帽子)

*No.30,31は谷帽子さん(利賀)とのコラボレーション企画

《infinity~mirage》プロジェクト



本プロジェクトは2021年に黒部市美術館において行われた展覧会「山下麻衣+小林直人「蜃気楼か。」」で出品された《infinity~mirage》を2023年に再び設置したことから始まった。富山湾の蜃気楼とともに風景の中に「∞」を描くことを期待し、制作された本作を通して、芸術と科学の多面的な学びの機会を創出するほか、地域環境と観光を結ぶなど、私たちの日常生活を包む海や自然との新たな接点を生み出す無限の可能性を秘めたプロジェクト。毎日、24時間、YouTubeでライブ配信をしているほか、様々なイベントを開催した。



山下麻衣+小林直人(infinity~mirage)ライブ配信映像のスクリーンショット、2021、2023年～(2024/4/7)

- 【会 期】 2024年4月1日(月)～2025年3月31日(月)
*2025年度継続予定
- 【主 催】 黒部市美術館・魚津埋没林博物館《infinity~mirage》実行委員会
- 【共 催】 黒部市、魚津市、黒部市教育委員会、魚津市教育委員会
- 【協 賛】 株式会社中川ケミカル
- 【助 成】 「世界で最も美しい富山湾」活用事業、一般財団法人WNI気象文化創造センター
- 【協 力】 日本蜃気楼協議会、魚津蜃気楼研究会、生地自治振興会、立山黒部ジオパーク協会、魚津市観光協会、黒部・宇奈月温泉観光局、魚津総合公園内無料休憩所「みんなのみなと」、海の駅蜃気楼、ありそドーム、ミラージュランド、北洋の館、黒部市吉田科学館、YKKセンターパーク、富山大学理学部 青木研究室他

【関連イベント】

デジタル∞スタンプラリー

- 期 間：2024年9月13日(金)～2025年3月16日(日)
- 景 品：スタンプ8コ / オリジナル「m」単眼鏡(先着3名様)
スタンプ8コ / オリジナル「m」サコシュ
スタンプ3コ / オリジナル「m」キーホルダー

スタンプスポット：

- ・魚津市内 / 魚津埋没林博物館、魚津総合公園内無料休憩所「みんなのみなと」、海の駅 蜃気楼、ありそドーム
- ・黒部市内 / 北洋の館、黒部市吉田科学館、YKKセンターパーク、黒部市美術館
- 景品交換所：
・単眼鏡(魚津埋没林博物館)
・キーホルダー、サコシュ(魚津埋没林博物館、黒部市美術館、黒部市吉田科学館)

E-Bikeレンタル

設置場所：魚津駅前観光案内所、海の駅蜃気楼

双眼鏡レンタル

貸出・返却場所：黒部市美術館、魚津埋没林博物館



E-Bikeでしんきろう!

魚津と黒部の海沿いをE-Bikeで走り(約20km)ながら、富山湾の蟹気楼と《infinity~mirage》を鑑賞・観察し、楽しむイベント。

日時：10月14日(月・祝) 9:00~14:30

集合場所：海の駅蟹気楼

ガイド：黒部市吉田科学館(國香正稔、長谷川憲二、野寺凜)、
魚津埋没林博物館(石須秀知、佐藤真樹)、
黒部市美術館(尺戸智佳子)

定員：10名

参加料：3,500円(昼食、E-Bikeレンタル、保険等)

共催：黒部市吉田科学館

その他：E-Bike適応身長154cm以上、雨天中止、ドリンク持参



オリジナルペーパー双眼鏡を作ろう!

日時：9月21日(土) 10:00~16:00、
9月22日(日) 10:30~16:00

会場：新川文化ホール

定員：各日25名

とみだい☆ペケペケアートショップ in 魚津埋没林博物館

「ひっくり返りアートに挑戦」

日時：2024年10月19日(土)

午前の部/10:00~12:00 午後の部/13:00~15:00

会場：新川文化ホール

対象：小学校1年生~3年生

定員：各部15名

企画・運営：富山大学教育学部 隅研究室



《infinity~mirage》入善高校実施研修会

日程：2024年10月31日(木)

場所：生地コミュニティセンター、m型看板、魚津埋没林博物館付近

対象：入善高校観光ビジネスコース

講師：尺戸智佳子(黒部市美術館学芸員)、
佐藤真樹(魚津埋没林博物館学芸員)



《infinity~mirage》観察会

日時：9月14日(土)、10月12日(土)、1月18日(土)、2月15日(土)
各日11:00~15:00(約30分)

会場：魚津埋没林博物館(集合)

何処から見よう!?インフィニティミラージュ[ミニ企画展]

会期：2023年7月1日(土)~

会場：魚津埋没林博物館

開館時間：9:00~17:00



企画展別入館者一覧

No	回	展覧会タイトル	期間	開館日数	入館者数
----	---	---------	----	------	------

平成27年度(2015年度)

1	1	北陸新幹線開業記念 黒部市美術館・小山市立車屋美術館共同企画 岩崎貴宏展 山も積もればチリとなる	4月25日(土)~6月28日(日)	54日	1,168
2	2	北陸新幹線開業記念 恋スル工芸展	7月11日(土)~8月30日(日)	43日	874
3	3	北陸新幹線開業記念 トーチカ展 -ひかりあそび	9月12日(土)~11月8日(日)	47日	897
4	4	コレクション展 建物と人々	11月21日(土)~3月21日(月・祝)	67日	359
小計				211日	3,298

平成28年度(2016年度)

5	1	いわむらかずお 絵本原画展	4月23日(土)~6月26日(日)	56日	3,252
6	2	下道基行展 -風景に耳を澄ますこと	7月23日(土)~10月10日(月・祝)	66日	1,522
7	3	くろべ・そぶれたわあ〜とど くら〜と、しろ〜と、ぐれ〜と モノツクリの人々展	11月3日(木・祝)~12月27日(火)	46日	901
8	4	コレクション展 -風景をとらえる方法	1月28日(土)~3月26日(日)	49日	456
小計				217日	6,131

平成29年度(2017年度)

9	1	素材の息吹 -発展する工芸のかたち-	4月22日(土)~7月2日(日)	62日	806
10	2	コレクション展 身体表現/リズム/記憶	7月15日(土)~9月3日(日)	43日	921
11	3	佐々木愛展 -風景と物語のあいだに	9月16日(土)~12月17日(日)	77日	1,001
12	4	CONTACT -交換する物語の部屋	1月20日(土)~3月25日(日)	54日	586
小計				236日	3,314

平成30年度(2018年度)

13	1	生誕120年 森義利展	4月21日(土)~6月24日(日)	55日	1,014
14	2	コレクション展 見えないものと、いろ、かたち	7月7日(土)~9月2日(日)	49日	1,172
15	3	河口龍夫 -ちのこうや-	9月15日(土)~12月16日(日)	77日	1,116
16	4	寄贈記念特別展 彫刻家中谷唯一の世界	1月12日(土)~3月16日(土)	54日	601
小計				235日	3,903

平成31年度/令和元年度(2019年度)

17	1	この世界で生きる、日々のかたち -桂樹舎の民藝品とともに-	4月20日(土)~6月23日(日)	56日	1,035
18	2	黒部市美術館開館25周年 葉祥明展 今、僕はここにいる	7月20日(土)~9月23日(月・祝)	55日	3,935
19	3	黒部市美術館開館25周年 風間サチコ展 コンクリート組曲	10月12日(土)~12月22日(日)	59日	1,219
20	4	コレクション展 ひかりと風と、夜のあいだ	1月18日(土)~3月8日(日)	42日	525
小計				212日	6,714

企画展別入館者一覧

No	回	展覧会タイトル	期間	開館日数	入館者数
----	---	---------	----	------	------

令和2年度(2020年度)

21	1	ふるさと再考 -田中冬二と3人の作家たち-	5月16日(土)~8月30日(日)	91日	1,392
22	2	風景と食設計室ホー 台所に立つ、灯台から見る	10月3日(土)~12月20日(日)	66日	987
小 計				157日	2,379

令和3年度(2021年度)

23	1	ケルプ博士の奇妙なコレクション -釣谷幸輝 版画展-	4月17日(土)~6月20日(日)	55日	1,729
24	2	市制施行15周年・黒部峡谷鉄道創立50周年 黒部市美術館・セレネ美術館合同企画展 やっほー!山 (同時開催:眞壁陸二 北方からの光/Northern Light)	7月10日(土)~8月17日(火)	32日	736
25	3	山下麻衣+小林直人 「蜃気楼か。」	9月25日(土)~12月19日(日)	72日	668
26	4	コレクション展 まなざしのゆくえ	1月15日(土)~3月13日(日)	50日	481
小 計				209日	3,614

令和4年度(2022年度)

27	1	Kurobe Art Research vol.1 富山省三 木とめぐり、つづく道	4月16日(土)~6月26日(日)	62日	1,372
28	2	永田萌 -夢みるチカラ展	7月16日(土)~8月28日(日)	36日	2,246
29	3	小林耕平 テレポーテーション	9月23日(金・祝)~12月18日(日)	72日	935
30	4	コレクション展 夢のつづき、物語のはじまり (同時開催:堀田恵理 銅版画展「ほとりで、光をみたよ」)	1月14日(土)~3月12日(日)	49日	682
小 計				219日	5,235

令和5年度(2023年度)

31	1	Kurobe Art Research vol.2 生誕100年 毛利武士郎と黒部	4月15日(土)~6月25日(日)	62日	902
32	2	鳥が鳴けば、晴れ。	7月15日(土)~9月18日(月・祝)	56日	1,271
33	3	キュンチョメ 魂の色は青	10月7日(土)~12月17日(日)	60日	1,545
34	4	海と生きる、記憶をたどる物語	1月13日(土)~3月17日(日)	56日	800
35	5	《infinity~mirage》プロジェクト	4月28日(金)~3月31日(日)	-	-
小 計				234日	4,518

令和6年度(2024年度)

36	1	黒部市美術館開館30周年 -画業50年のあゆみ- 黒井健 絵本原画展	4月27日(土)~6月23日(日)	48日	2,016
37	2	黒部市美術館開館30周年 たねをとばす	7月20日(土)~10月6日(日)	65日	1,231
38	3	黒部市美術館開館30周年 サエボーグ Enchanted Animals	11月16日(土)~1月13日(月・祝)	46日	1,182
39	4	黒部市美術館開館30周年 コレクション展vol.1 木々の語らい -木版画と彫刻と (同時開催:谷あかり 版画展「いつかの囁」)	1月25日(土)~3月16日(日)	39日	568
40	5	《infinity~mirage》プロジェクト	4月1日(月)~3月31日(月)	-	-
小 計				198日	4,997

新収蔵品一覧

版画
/
絵画
/
彫刻

版画

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質(技法・支持体)	受入方法
1	玉分昭光	He Lives	2017	各80.0×60.0 (2点1組)	紙、銅版画(エッチング、アクアチント、シンコレ、スピリットバイト、ハードグラウンド)	寄贈
2	河口龍夫	関係 -時のフロッタージュ	2018	4.2×46.5×36.3	ジュラ紀の植物もしくは生殖器の化石、和紙、鉛筆、蜜蝋、天然黄土、スチレンボード	寄贈
3	河口龍夫	関係 -時のフロッタージュ	2018	4.2×46.5×36.3	ジュラ紀の植物もしくは生殖器の化石、和紙、鉛筆、蜜蝋、天然黄土、スチレンボード	寄贈
4	河口龍夫	関係 -時のフロッタージュ	2018	4.2×46.5×36.3	ジュラ紀の球果植物(珪化木)の化石、和紙、鉛筆、蜜蝋、天然黄土、スチレンボード	寄贈

絵画

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質(技法・支持体)	受入方法
1	岩井幸子	冬の序	2005	84.0×158.0	紙(越前和紙)、木版	購入
2	河口龍夫	関係 -縄文時代3	2018	72.7×51.5	圧痕レプリカ(シソ属 果実、エゴマ)、鉛、鉛筆、厚紙 *圧痕レプリカは朝日町埋蔵文化財保存施設まいぶんKAN提供	寄贈
3	河口龍夫	ポスターのなかの種子	2018	72.5×51.2	「河口龍夫 -ちのこうや-」ポスター、種子(蓮)、蜜蝋	寄贈
4	河口龍夫	記憶からの発芽	2018	37.0×50.0(可変) ×21.6	印刷された個展チラシ、種子(蓮)、蜜蝋	寄贈
5	河口龍夫	ちのこうやへの招待	2018	25.7×36.5	招待券、種子(蓮)、蜜蝋	寄贈
6	岩井新吉	菊人形	1980	127.2×101.5	キャンバス、油絵具	寄贈
7	炭田幸一	不明	不明	40.0×45.0	キャンバス、油彩	寄贈
8	東一雄	ミラノ公園	不明	43.0×52.0	キャンバス、油彩	寄贈
9	東一雄	アテネの三文化	不明	56.0×34.0	キャンバス、油彩	寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質(技法・支持体)	受入方法
10	松倉唯司	城趾	不明	43.0×52.0	キャンバス、油彩	寄贈
11	松倉唯司	白華	不明	52.0×43.0	キャンバス、油彩	寄贈
12	松倉唯司	山	不明	36.0×40.0	紙本着色	寄贈
13	松倉唯司	山湖	不明	36.0×40.0	紙本着色	寄贈

彫刻

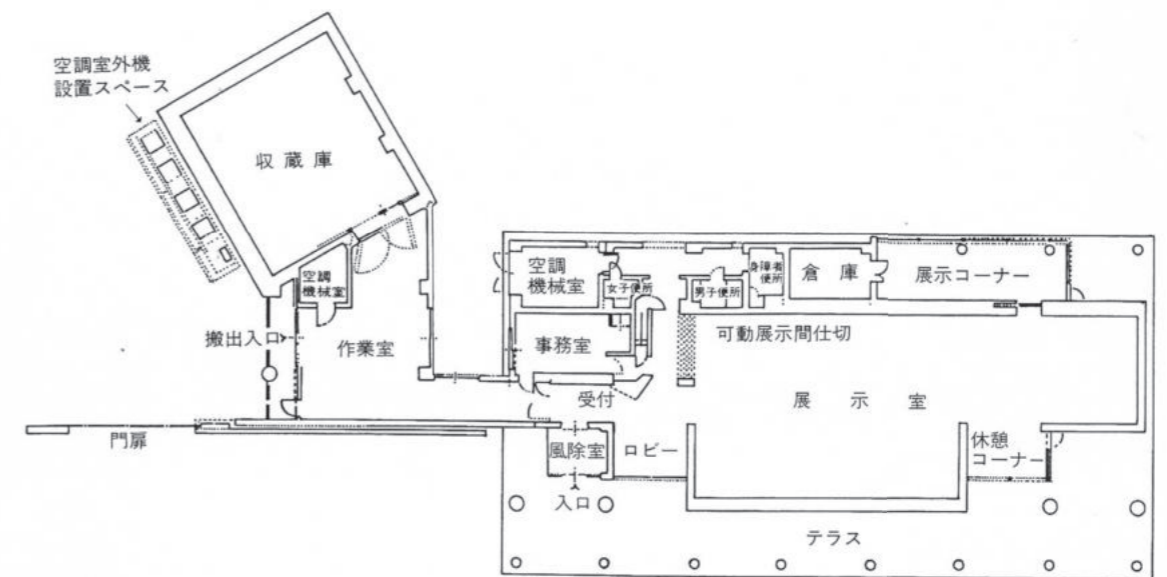
No.	作者名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質(技法・支持体)	受入方法
1	河口龍夫	ちのこうや そして一冊の本	2018	14.7×98.5×56.4 (模型サイズ)	『河口龍夫-ちのこうや-』展覧会カタログ(黒部市美術館)、種子(蓮)、蜜蝋、銅線、銅パイプ、硫化カドミウム、ステンボード、銅クギ	寄贈
2	河口龍夫	関係-図録からの発芽/ 言葉・時間・生命	2018	41.6×23.4×31.0	東京近代美術館展覧会図録(『河口龍夫展 言葉・時間・生命』)、種子(蓮)、蜜蝋、銅線、銅パイプ	寄贈
3	河口龍夫	字引のなかの石	2017	4.0×16.0×17.0	『イロハで引ける英語の字引』(昭和2年8月20日)修文社発行、ガーネットを含む緑色片岩*、蜜蝋、銅線、*圧縮されて誕生した石	寄贈
4	富山省三	新しい希望	1974	72×51.5×59	木白、鉄	寄贈
5	富山省三	「木」シリーズ	1981頃	156×52.5×42	木(カツラ)、鉄	寄贈
6	富山省三	木-2013-1	2013頃	31×8.8×8.5	自然に穴の開いた木、アクリルペイント	寄贈
7	富山省三	木-2013-2	2013頃	26×8.5×8.5	自然に穴の開いた木、アクリルペイント	寄贈

管 理

概 要
黒部市美術館平面図
運営審議委員名簿
職員名簿
関係規則

黒部市美術館の概要

【黒部市美術館平面図】



【美術館本体】

展 示 室	229.99㎡
休 憩 コ ー ナ ー	12.39㎡
展 示 コ ー ナ ー	37.47㎡
倉 庫	13.92㎡
風 除 室	9.51㎡
ロ ビ ー 通 路	38.82㎡
廊 下	17.32㎡
事 務 室	29.51㎡
空 調 機 械 室	16.08㎡
女 性 便 所	3.67㎡
男 性 便 所	5.22㎡
身 障 者 便 所	5.84㎡
掃 除 用 具 庫	1.61㎡
延 床 面 積	421.35㎡
テ ラ ス 面 積	156.83㎡
建 築 面 積	578.18㎡

【収蔵庫】

収 蔵 庫	112.06㎡
作 業 室	71.45㎡
空 調 機 械 室	10.83㎡
延 床 面 積	194.34㎡
搬 出 入 口 面 積	17.59㎡
建 築 面 積	211.93㎡

【美術館全体】

延 床 面 積	615.69㎡
建 築 面 積	790.11㎡

運営審議委員

平成27年度（2015年度）		令和2年度（2020年度）	
◎安達博文 ○若松 基 能登容子 寺島 衛 能勢 実 朝野淳子 館 知宏	富山大学芸術文化学部教授 富山県立近代美術館普及課長 華道家 洋画家 黒部市宇奈月国際会館運営委員長 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会	◎麻生恵子 ○長田堅二郎 橋本文良 能登恭子 佐竹康子 吉本和準	富山県美術館普及課長 富山大学芸術文化学部講師 版画家 黒部市国際文化センター評議員 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会
平成28年度（2016年度）		令和3年度（2021年度）	
◎若松 基 ○安達博文 寺島 衛 能勢 実 竹内美登里 中野欣弥	富山県立近代美術館普及課長 富山大学芸術文化学部教授 元社会教育委員 黒部市宇奈月国際会館運営委員長 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会	◎麻生恵子 ○長田堅二郎 橋本文良 能登恭子 佐竹康子 吉本和準	富山県美術館普及課長 富山大学芸術文化学部講師 版画家 黒部市国際文化センター評議員 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会
平成29年度（2017年度）		令和4年度（2022年度）	
◎若松 基 ○安達博文 能登恭子 寺島 衛 能勢 実 金三津ひろみ 高島克明	富山県立近代美術館普及課長 富山大学芸術文化学部教授 YASUKOハウスオーナー 元社会教育委員 黒部市宇奈月国際会館運営委員長 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会	◎長田堅二郎 ○麻生恵子 橋本文良 能登恭子 朝倉美音子 開澤千明	富山大学芸術文化学部講師 富山県美術館普及課長 版画家 黒部市国際文化センター評議員 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会
平成30年度（2018年度）		令和5年度（2023年度）	
◎麻生恵子 ○高島圭史 能登恭子 寺島 衛 佐竹康子 西出健介	富山県美術館普及課長 富山大学芸術文化学部准教授 黒部市国際文化センター評議員 元社会教育委員 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会	◎長田堅二郎 ○麻生恵子 橋本文良 能登恭子 寺島紀子 谷聡美	富山大学芸術文化学部講師 富山県美術館普及課長 版画家 YASUKOハウスオーナー 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会
平成31年度/令和元年度（2019年度）		令和6年度（2024年度）	
◎麻生恵子 ○高島圭史 能登恭子 寺島 衛 佐竹康子 宮崎信行	富山県美術館普及課長 富山大学芸術文化学部准教授 黒部市国際文化センター評議員 元社会教育委員 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会	◎麻生恵子 ○長田堅二郎 橋本文良 能登恭子 寺島紀子 高村美智子	富山県美術館普及課長 富山大学芸術文化学部講師 版画家 YASUKOハウスオーナー 小学校校長会 黒部市PTA連絡協議会

◎会長、○副会長

職 員

年 度	館 長	学 芸 員		年 度	館 長	学 芸 員	
平成27年度(2015年度)	杉田 欣次	尺戸智佳子	樋口真理子	令和2年度(2020年度)	野入 潤	尺戸智佳子	樋口真理子
平成28年度(2016年度)	杉田 欣次	尺戸智佳子	樋口真理子	令和3年度(2021年度)	野入 潤	尺戸智佳子	樋口真理子
平成29年度(2017年度)	杉田 欣次	尺戸智佳子	樋口真理子	令和4年度(2022年度)	野入 潤	尺戸智佳子	樋口真理子
平成30年度(2018年度)	杉田 欣次	尺戸智佳子	樋口真理子	令和5年度(2023年度)	野入 潤	尺戸智佳子	樋口真理子
平成31年度(2019年度)	杉田 欣次	尺戸智佳子	樋口真理子	令和6年度(2024年度)	野入 潤	尺戸智佳子	樋口真理子

黒部市美術館条例

平成18年3月31日
黒部市条例第176号

(設 置)

第1条 市民の美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 黒部市美術館
- (2) 位置 黒部市堀切1035番地

(事 業)

第3条 黒部市美術館(以下「美術館」という。)は、次の事業を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の収集、保管、展示及び供用
- (2) 美術に関する専門的な調査研究及び知識の普及に資するために必要な事業
- (3) 前2号に掲げるもののほか、黒部市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める事業

(指定管理者による管理)

第4条 教育委員会は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に美術館の管理を行わせるものとする。

(平25条例47・追加)

(指定管理者が行う業務)

第5条 前条の規定により指定管理者に行わせる管理の業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条に規定する事業(美術品の収集に関するものを除く。)の実施に関すること。
 - (2) 美術館の施設及び附属設備等の維持管理に関する業務
 - (3) 第9条第1項及び第10条第3項に規定する観覧料及び特別観覧料の徴収に関する業務
 - (4) 第10条第1項及び第11条第1項に規定する特別観覧の許可及び許可の取消し等に関する業務
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し教育委員会が必要と認める業務
- (平25条例47・追加)

(職 員)

第6条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(平25条例47・旧第4条繰下)

(休 館 日)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日以外の日に休館し、又は休館日に開館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その週の水曜日とする。)
 - (2) 休日の翌日
 - (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- (平25条例47・旧第5条繰下・一部改正)

(開館時間)

第8条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。ただし、入館できる時間は、午後4時までとする。

- 2 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、前項の開館時間を臨時に変更することができる。
- (平25条例47・旧第6条繰下・一部改正)

(観 覧 料)

第9条 美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に別表第1に定める美術館の利用に係る料金(以下「観覧料」という。)を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要な場合は、1,000円の範囲内においてあらかじめ教育委員会の承認を受けて、その都度観覧料を定めることができる。
 - 3 観覧料は、指定管理者がその収入として収受する。
- (平25条例47・旧第7条繰下・一部改正)

(特別観覧)

第10条 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造又は熟覧(以下「特別観覧」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可には、美術品等の管理のため必要な範囲内で条件

を付することができる。

- 第1項の許可を受けた者は、指定管理者に別表第2に定める美術館の利用に係る料金(以下「特別観覧料」という。)を納付しなければならない。
- 特別観覧料は、指定管理者がその収入として収受する。(平25条例47・旧第8条繰下・一部改正)

(特別観覧の許可の取消し等)

第11条 指定管理者は、特別観覧の許可を受けた者(以下「特別観覧者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、特別観覧の許可の条件を変更し、特別観覧を停止し、又は特別観覧の許可を取り消すことができる。

- この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
 - 許可された特別観覧の目的に違反したとき。
 - 特別観覧の許可の条件に違反したとき。
 - 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認めるとき。
- 前項の措置によって特別観覧者に損害が生じても、市及び指定管理者は、その賠償の責めを負わない。(平25条例47・旧第9条繰下・一部改正)

(観覧料等の減免)

第12条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。(平25条例47・旧第10条繰下・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第13条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。(平25条例47・旧第11条繰下・一部改正)

(入館の拒否及び制限)

第14条 指定管理者は、美術館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- 他の入館者に迷惑となる行為をするおそれがあるとき。
- 施設設備、美術品等を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。
- 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があるとき。(平25条例47・旧第12条繰下・一部改正)

(美術館協議会)

第15条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、美術館に黒部市美術館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

2 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- 学校教育及び社会教育の関係者
- 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 学識経験を有する者
- 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 委員は、再任されることができる。(平24条例17・一部改正、平25条例47・旧第13条繰下、令5条例13・一部改正)

(委 任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。(平25条例47・旧第14条繰下)

附 則

(施行期日)

- この条例は、平成18年3月31日から施行する。

(経過措置)

- この条例の施行の日の前日までに、合併前の黒部市美術館条例(平成5年黒部市条例第11号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成24年3月22日条例第17号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年9月20日条例第47号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月17日条例第72号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月22日条例第30号)

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則(令和5年3月24日条例第13号)

(施行期日)

- この条例は、令和5年4月1日から施行する。(黒部市各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 黒部市各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例(平成18年黒部市条例第38号)の一部を次のように改正する。〔次のよう〕略

別表第1(第9条関係)

(平25条例47・一部改正)

区分	種別	観覧料の額(1人1回につき)	
	個人	20人以上の団体	
一般		200円	150円
高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者		150円	100円

備考 中学生以下及び団体引率者は、無料とする。

別表第2(第10条関係)

(平25条例72・全改正)

区 分	単 位	金 額	
熟 覧	1回1点につき	510円	
複 写 又 は 模 造	1回1点につき	1,030円	
撮 影	学術研究を目的とするもの	1回1点につき	510円
	そ の 他	1回1点につき	3,130円

備 考

- びょうぶは、1双を1点とする。
- 巻物は、1巻を1点とする。
- 小型のもので1組又は1箱となっているものは、1組又は1箱を1点とする。
- 多数のもので一そろい又は1組となっているものは、数量に応じて数点に分かつものとする。

黒部市美術館条例施行規則

平成18年3月31日
黒部市教育委員会規則第32号

(趣 旨)

第1条 この規則は、黒部市美術館条例(平成18年黒部市条例第176号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(特別観覧許可申請の手続)

第2条 条例第10条第1項の規定により特別観覧の許可を受けようとする者は、黒部市美術館特別観覧許可申請書(様式第1号)を条例第4条に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- 前項の場合において、美術品が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得た書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得た書面をそれぞれ必要に応じて添付しなければならない。

- 指定管理者は、特別観覧を許可したときは、黒部市美術館特別観覧許可書(様式第2号)を交付するものとする。(平25教委規則7・一部改正)

(観覧料等の減免)

第3条 条例第12条の規定により観覧料を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に基づく身体障害者手帳を所持する者及びその付添者が観覧するとき 全額
 - 障害者支援施設、身体障害者社会参加支援施設等の福祉施設に入所している者及びこれらの引率者が観覧するとき 全額
 - 前2号に掲げるもののほか、市長が特別の理由があると認めるとき その都度市長が定める額
- 条例第12条の規定により特別観覧料を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- 国又は地方公共団体が行う教育、学術若しくは文化の事業又はこれらの事業の普及の用途に供することを目的とするとき 全額
- 美術館、博物館、図書館、学校、研究所等が行う教育又は研究の用途に供することを目的とするとき 全額
- 前2号に掲げるもののほか、市長が特別の理由があると認めるとき その都度市長が定める額(平25教委規則7・一部改正)

(減免申請)

第4条 前条の規定により観覧料等の減免を受けようとする者は、黒部市美術館観覧料減免申請書(様式第3号)又は黒部市美術館特別観覧料減免申請書(様式第4号)を指定管理者に提出しなければならない。ただし、指定管理者が必要がないと認めるときは、この限りでない。(平25教委規則7・一部改正)

(観覧料等の還付)

第5条 条例第13条ただし書の規定による観覧料等の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

- 観覧しようとする者の責めに帰することのできない理由によって観覧することができなくなったとき。

- 前号に掲げるもののほか、指定管理者が特別の理由があると認めるとき。(平25教委規則7・一部改正)

(入館者の遵守すべき事項)

第6条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと。
 - 展示品に触れないこと。
 - 展示室の展示品を汚損し、又は損傷するおそれのある物品を持ち込まないこと。
 - 指定された場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- 指定管理者は、美術館に入館した者が前項の規定に違反したとき、又は美術館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に退館を命ずることができる。(平25教委規則7・一部改正)

(美術館協議会)

第7条 条例第15条に規定する黒部市美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。(平25教委規則7・令5教委規則6・一部改正)

(会 議)

第8条 協議会は、会長が招集し、その議長は会長が務める。

- 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。(令5教委規則6・一部改正)

(そ の 他)

第9条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- この規則は、平成18年3月31日から施行する。

(経過措置)

- この規則の施行の日の前日までに、合併前の黒部市美術館条例施行規則(平成5年黒部市教育委員会規則第2号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成25年9月27日教委規則第7号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月28日教委規則第6号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

様式第1号(第2条関係)

		*受付番号	第	号
黒部市美術館特別観覧許可申請書				
年 月 日				
指定管理者 あて				
住 所 氏 名 電 話				
次のとおり、特別観覧を許可されるよう申請します。				
美術品等の名称	点 数	作 者 名	備 考	
特別観覧の日時	年 月 日 時 分から 時 分			
特別観覧の目的				
特別観覧の方法	撮影・模写・模造・熟覧・その他 ()			
内 容	学術研究を目的とするもの	点	円	計 円
	その他	点	円	*減免額 円
	模写・模造	点	円	*差額 納付額 円
	熟 覧	点	円	円

- 注 1 特別観覧の方法の欄は、該当するものを○で囲んでください。
 2 寄託された美術品については寄託者の同意書を、他に著作権者がいる美術品等については著作権者の同意書をそれぞれ必要に応じて添付してください。
 3 *印欄は、記入しないでください。

様式第2号(第2条関係)

黒部市美術館特別観覧許可書				
住 所 氏 名				
年 月 日付けで申請のあった特別観覧は、次のとおり許可します。				
年 月 日				
指定管理者				
美術品等の名称	点 数	作 者 名	備 考	
特別観覧の日時	年 月 日 時 分から 時 分			
特別観覧の目的				
特別観覧の方法	撮影・模写・模造・熟覧・その他 ()			
内 容	学術研究を目的とするもの	点	円	計 円
	その他	点	円	*減免額 円
	模写・模造	点	円	*差額 納付額 円
	熟 覧	点	円	円

注 この許可書は、特別観覧をする関係員に提示し、利用時間中携帯してください。

様式第3号(第4条関係)

		*受付番号	第	号
黒部市美術館観覧料減免申請書				
年 月 日				
指定管理者 あて				
住 所 氏 名 電 話				
次のとおり、観覧料を減免されるよう申請します。				
観 覧 年 月 日	年 月 日			
観 覧 の 人 員	人			
引 申 者 氏 名				
申 請 事 由				
* 減 免 額	観覧料の額	減 免 額	差引納付額	
	円	円	円	

注 *印の欄は、記入しないでください。

様式第4号(第4条関係)

		*受付番号	第	号
黒部市美術館特別観覧料減免申請書				
年 月 日				
指定管理者 あて				
住 所 氏 名 電 話				
次のとおり、特別観覧を減免されるよう申請します。				
美術品等の名称	点 数	作 者 名	備 考	
特別観覧の日時	年 月 日 時 分から 時 分			
申 請 事 由				
* 減 免 額	特別観覧料の額	減 免 額	差引納付額	
	円	円	円	

注 *印欄は、記入しないでください。

注 *印欄は、記入しないでください。



黒部市美術館10年のあゆみ 2015-2024

2025年4月発行

発行・編集 黒部市美術館
〒938-0041 富山県黒部市堀切1035
TEL (0765)52-5011

制作 中神明夏

印刷 株式会社グラフィック



KUROBE ART MUSEUM